

## IV 委員会活動報告

### 1. 学生センター部門

#### A：教育活動支援

##### (1) 全学教務委員会（構成員：教員9名・事務局員7名 計16名）

全学部選出委員および教務課職員を構成員とする全学教務委員会は、短期大学部も含めた教学に関わる学部横断的課題・事項に関する審議・決定機関である。日常的には教務関連事項の円滑かつ適切な運営を基本に力を注ぎつつ、学内外の動向を的確に捉え教学の充実に必要な諸課題を把握し対応に努めることおよび各種報告事項についても適宜扱い、教学に関わる各種情報の全学的共有を図るべき努めている。

今年度(2019年度)もまた、日常的な教務事項の円滑な推進に取り組むとともに、それに伴って生じた諸課題について慎重に審議・決定することを中心に、各種報告事項についても適宜・適切に周知を図るべき努めてきた。

以下、「(a)今年度実施した事業・活動」として(1)全学的に共通する教学関連事項の検討・決定、(2)次期認証評価および私立大学等改革総合支援事業への対応、(3)教学関連事項、(4)その他日常業務の4点にまとめ、今年度の活動状況の概略について記述する。また、「(b)委員会開催」として、年間を通じた各界の会議において審議・承認された事項および主たる報告事項を挙げておく。

#### (a) 今年度実施した事業・活動

##### (1)全学的に共通する教学関連事項の検討・決定

- ・サポーター教員制度の見直しの検討・決定
- ・東新大学との交換留学について検討・決定
- ・専門員の派遣制度や学内および学外業務の検討および申し合わせ事項の策定
- ・単位の実質化を実現するための授業時間や各期の開講週の検討
- ・履修抹消制度の見直しの検討
- ・LMS導入の検討と決定

##### (2)次期認証評価および私立大学等改革総合支援事業への対応

- ・全学的な3つのポリシーの見直しの検討
- ・シラバスの形式の見直しの検討
- ・カリキュラム・ツリー・履修モデル等の見直しの検討

##### (3)教学関連事項

###### ①共通教養

- ・次期認証評価・教育学部完成年度以降等を見据えた共通教養科目の見直しについて、WGごとに検討することを決定
- ・地域企業特論の廃止の決定と今後の展開の検討

###### ②資格取得支援

- ・支援する資格基準と、奨励金基準の検討と決定

###### ③キャリア教育

- ・今年度はなし

##### (4)その他日常業務

- ・各種オリエンテーションの企画と実施
- ・入学式当日の新入生保護者対象説明会の実施
- ・入学前セミナー・新入生保護者アンケート・プレイスメントテストの実施と分析

- ・学期末試験実施に関わるルールの検討や成績発表後の学生指導等についての確認
- ・出席登録・オフィスアワー実施記録の提出催促と整理
- ・適正な出欠管理を含めた授業実施に関わる全学共通ルールの審議と決定・周知
- ・年度別卒業・退学・留年等の状況把握と分析
- ・次年度の各学部のカリキュラムと時間割の情報交換および兼任依頼等に関する調整
- ・転学部・転学科試験の実施
- ・年間予定のうち開講日の検討と決定および次年度準備

## (b) 委員会開催

第1回 2019年4月18日(木)17:00～18:00 欠席なし

〔審議事項〕

- (1)2019年度の課題
- (2)留学生の辞書持ち込みについて
- (3)留学希望者に対する長期履修について
- (4)オフィスアワーについて
- (5)サポーター教員制度について

〔報告事項〕

- (1)全学共通科目の履修状況について
- (2)2020年度年間予定表について
- (3)ニューカッスル大学語学研修の引率者について
- (4)2018年度卒業状況について
- (5)欠席調査について

第2回 2019年5月8日(水)17:00～18:40 欠席なし

〔審議事項〕

- (1)次期認証評価対応について
- (2)東新大学との交換留学について
- (3)ニューカッスル大学語学研修の引率者について
- (4)専門員の派遣について
- (5)履修者5名未満の閉講について
- (6)履修抹消制度について
- (7)資格取得支援センターで支援する資格の基準について
- (8)授業評価アンケートについて

〔報告事項〕

- (1)留学希望者に対する長期履修について
- (2)2019年度後期オリエンテーション日程案について
- (3)プレイスメントテスト結果について
- (4)入学前セミナー等アンケート結果について
- (5)2018年度オフィスアワー実施記録集計結果について
- (6)次年度準備について
- (7)欠席調査について
- (8)メール配信先の変更について

第3回 2019年6月5日(水)17:00～19:20 欠席1名

〔審議事項〕

- (1)次期認証評価対応について
- (2)松本大学修業年限を超えた留年生の学費に関する内規の一部変更について

- (3) 東新大学との交換留学について
- (4) 履修抹消制度について
- (5) 社会教育主事養成課程の設置について
- (6) 共通教養のカリキュラムについて
- (7) 2020年度の地域企業特論について
- (8) 支援する資格の基準について
- (9) 2021年度年間予定について

〔報告事項〕

- (1) 定年を迎える非常勤講師について
- (2) 次年度準備について

第4回 2019年7月3日(水) 17:00～19:10 欠席なし

〔審議事項〕

- (1) 次期認証評価対応について
- (2) 松本大学修業年限を超えた留年生の学費に関する内規の一部変更について
- (3) 東新大学との交換留学について
- (4) 履修抹消制度について
- (5) 社会教育主事養成課程の設置について
- (6) 共通教養のカリキュラムについて
- (7) 2020年度の地域企業特論について
- (8) 2020年度年間予定について
- (9) 2021年度年間予定について
- (10) 基礎教育センター所属の専門員学外業務について
- (11) その他

〔報告事項〕

- (1) 今年度の私学助成および教学改革状況について
- (2) 2018年度退学率について
- (3) 前期試験について
- (4) 学生指導の徹底について
- (5) 出欠登録・オフィスアワー実施記録の徹底について
- (6) 後期復学相談について
- (7) 教職センター報告について
- (8) 基礎教育センター報告について
- (9) その他
- (10) 次年度準備について

第5回 2019年8月7日(水) 10:00～11:00 欠席2名

〔審議事項〕

- (1) 次期認証評価対応について
- (2) 東新大学との交換留学について
- (3) 社会教育主事養成課程の設置について
- (4) 共通教育のカリキュラムについて
- (5) 2020年度の地域企業特論について
- (6) 2021年度年間予定について
- (7) その他

〔報告事項〕

- (1) 2019年度改革総合支援事業について

(2)次年度準備

第6回 2019年9月4日(水)16:00～17:30 欠席1名

〔審議事項〕

- (1)次期認証評価対応について
- (2)2020年度兼任依頼および各学部のカリキュラム検討状況について
- (3)2021年度共通教養カリキュラムについて
- (4)2020年度前期オリエンテーション日程について
- (5)2019年度改革総合支援事業について

〔報告事項〕

- (1)後期オリエンテーションについて
- (2)学内TOEIC IP結果について
- (3)English Cafe利用状況について
- (4)次年度準備について
- (5)その他

第7回 2019年10月2日(水)17:00～18:30 欠席なし

〔審議事項〕

- (1)次期認証評価対応について
- (2)2020年度兼任依頼について
- (3)2020年度各学部のカリキュラム案について
- (4)2021年度共通教養のカリキュラムについて
- (5)シラバス入稿マニュアル案について
- (6)定期試験時の持ち込み情報の伝達方法について

〔報告事項〕

- (1)後期履修状況について
- (2)教職課程履修者状況について
- (3)後期欠席調査について
- (4)次年度準備について

第8回 2019年11月6日(水)17:00～18:30 欠席なし

〔審議事項〕

- (1)転学部転学科試験について
- (2)2020年度兼任依頼について
- (3)共通教養のカリキュラムについて
- (4)2020年度カリキュラム案について
- (5)2020年度時間割案について
- (6)次期認証評価対策について

〔報告事項〕

- (1)履修抹消状況について
- (2)成績評価FD・シラバス入稿FD・ICT活用FDについて
- (3)LMS導入について
- (4)災害ボランティアについて
- (5)全国学生調査(試行実施)の実施について
- (6)社会教育主事養成課程の届出について
- (7)次年度準備について

第9回 2019年12月3日(火)17:00～18:00 欠席3名

〔審議事項〕

- (1)2020年度兼担依頼について
- (2)2020年度共通教養カリキュラムについて
- (3)2020年度カリキュラム案について
- (4)2020年度時間割案について
- (5)2021年度3ポリシーのカリキュラムとシラバス変更について
- (6)認証評価の対応について
- (7)2020年度教務委員会スケジュールについて
- (8)2020年度資格取得奨励金について
- (9)試験監督要領の変更について
- (10)授業の対応について

[報告事項]

- (1)第2回欠席調査について
- (2)2020年度シラバス入稿について
- (3)資格取得時の賞状について
- (4)次年度オリエンテーション日程について

第10回 2020年1月8日(水)17:00~18:20 欠席なし

[審議事項]

- (1)2020年度兼担依頼について
- (2)2020年度共通教養カリキュラムについて
- (3)2021年度以降の共通教養カリキュラムについて
- (4)2020年度カリキュラム案について
- (5)2020年度時間割案について
- (6)海外研修の非常勤講師について
- (7)2021年度以降のシラバスについて
- (8)2020年度奨励金一覧について
- (9)その他

[報告事項]

- (1)次期認証評価について
- (2)後期試験について
- (3)成績不振者の全学的な対応および指導記録・OH記録の提出について
- (4)復学相談について
- (5)2020年度シラバス入稿について
- (6)就職活動に伴う証明書の発行について
- (7)次年度準備について

第11回 2020年2月5日(水)17:00~18:30 欠席なし

[審議事項]

- (1)2020年度時間割案について
- (2)2020年度カリキュラム・ツリー・履修モデルについて
- (3)2020年度シラバスの点検について
- (4)2021年度以降の共通教養カリキュラムについて
- (5)2020年度年間予定について
- (6)2021年度以降のシラバスについて
- (7)教員ポータルシステムへのアクセス環境について
- (8)長野県次世代サポート課からの提案について

[報告事項]

- (1) English Cafe 実施報告について
- (2) 成績不振者の全学的な対応および指導記録・OH記録の提出について
- (3) 新年度に向けた学籍異動について
- (4) 専門員の学外業務および本学における非常勤講師の申し合わせについて
- (5) 定期試験時の不正行為について
- (6) 適正な出欠管理について
- (7) LMSについて
- (8) 奨励金について
- (9) 次年度準備について

第12回 2020年3月11日(水) 10:00~11:50 欠席1名

[審議事項]

- (1) 2021年度以降の共通教養カリキュラムについて
- (2) 2021年度以降のシラバスについて
- (3) LMSについて
- (4) 適正な出欠管理について
- (5) その他

[報告事項]

- (1) 新年度オリエンテーションについて
- (2) 専門員の学外業務および本学における非常勤講師の申し合わせについて
- (3) 教員ポータルシステムへのアクセス環境について
- (4) 長野県次世代サポート課からの提案について
- (5) その他

## 1) 基礎教育センター（構成員：教員8名・センター専門員4名、事務局員2名 計14名）

基礎教育センターは、4名の専門員と1名の事務局員が常駐し業務を行っていることから、その円滑な遂行のために「スタッフ会議」と称する打合せと調整を主たる内容とする会議を別途設け、専門員による授業補助や各種課題の実施希望および提出・返却方法などについて確認するなど、各学部・学科との円滑な関係の確保に努めた。また、センターの活動状況については、スタッフ会議報告を通じて直近の全学教務委員会でも情報の共有化が図られた。

今年度の基礎教育センターでの活動実績について以下に概要および「スタッフ会議」の審議事項・報告事項を記述する。

### (a) 活動実績

#### ①朝の学習講座

前期70回・後期70回実施され、参加者は、前期：学部527名、短大149名、後期：学部285名、短大87名であり、来室人数は4月～1月までで学部1,016名、短大176名であった。

#### ②各学部・学科から依頼のあった授業

授業として全部で15講座、また、授業以外において4講座、さらにプリント・テスト作成が3件であった。

#### ③課題の作成・回収・返却

春期課題4件、入学前課題5件、夏期5件(単位は学部または学科または学年)作成・回収・返却を行った。

#### ④その他

- ・短大部在生および卒業予定者アンケートでのセンター関連項目結果の紹介とその対策についての意見交換を行い、入室しづらいとこの意見の対策としてドアの変更を要望し実施した。
- ・専門員の学内における非常勤講師の申し合わせの確認を行った。
- ・学習行動調査における基礎教育センターおよび基礎教育における学生の自己評価について、情報共有

および意見交換を実施した。

## (b) スタッフ会議

第1回 2019年6月27日(木)16:50~17:30 欠席2名

〔審議事項〕

- (1)基礎教育センター専門員の学外業務について  
2019年度の専門員の学外業務について審議・承認

〔報告事項〕

- (1)朝の学習講座について  
2019年度のこれまでの実施報告
- (2)基礎教育センターの関わる授業について  
2019年度に実施予定の授業の報告
- (3)各課題の提出状況と返却方法について  
2019年度の春期課題および入学前課題の提出状況の報告
- (4)「夏季課題問題集」の実施について  
2019年度に実施予定の夏期課題の報告
- (5)2019年度センターの休日設定について  
予定されている休日について報告

〔意見交換〕

- (1)短大部学生アンケートより  
短大部在学学生および卒業予定者アンケートでのセンター関連項目結果の紹介とその対策についての意見交換。ドアの変更を要望することとした。

第2回 2020年2月7日(金)10:00~11:00 欠席なし

〔審議事項〕

- (1)基礎教育センター専門員の学外業務について(2020年度)  
2020度の専門員の学外業務について審議・承認
- (2)基礎教育センター専門員の学内における非常勤講師について(2020年度)  
専門員の学内における非常勤講師の申し合わせの確認および次年度における非常勤講師の審議・承認
- (3)課題の内容について  
長期休暇中の課題を今後LMSに移行する計画に合わせて内容の見直しの確認

〔報告事項〕

- (1)次年度以降の基礎教育センターの体制について  
定年退職する専門員の後任の報告
- (2)朝の学習講座、センター利用について  
2019年度の利用人数についての報告
- ・朝の学習講座  
月曜：英語、火・水曜：数学、木曜：社会、金曜：国語  
前期 70回／学部 527名 短大 149名  
後期 70回／学部 285名 短大 87名
  - ・来室人数4月~1月まで 学部 1,016名 短大 176名
- (3)今年度の基礎教育センターの関わった授業、課題について  
授業15件、授業以外4件、プリント・テキスト作成4件、課題：夏期5件・春期4件・入学前5件
- (4)来年度の確認について  
次年度の授業サポート・課題についての確認
- (5)学修行動調査について

学習行動調査における基礎教育センターおよび基礎教育における学生の自己評価について、情報共有および意見交換

(6) 意見交換

スタッフ会議の在り方や授業での要望等について意見交換

## (2) インターンシップ推進委員会

### (a) 委員会開催

#### ①4月22日(月)

##### ・インターンシップ事業について

委員長より、2019年度の総合経営学部、人間健康学部1年次カリキュラム、短期大学部1年次カリキュラムに、正規の全学共通教養科目として「インターンシップ」を設置し単位化することが決定されていること、並びに本委員会は、そのインターンシップ事業を運営するために新たに設立され、委員はその運営を担うことが役目となることなどについて説明がなされた。その上で、信州産学官連携のインターンシップ等、本学主催以外で外部から依頼されるものを含めた全てを、本委員会で取り扱うことが確認された。

##### ・インターンシップ事業スケジュールについて

短期大学部については今年度から履修がスタートするため計画が急務であること、学部については2年後の履修を想定した上で現3年生を対象に参加希望者を募り実施することが確認された。それを踏まえ、スケジュール案が示され、審議の結果承認され活動を進めることとした。また、教育学部については、現行カリキュラムにはインターンシップの科目の配置がないことから、完成年度を迎えた後の対応について今後検討を進めることとし、学部の意向についても確認を行うこととした。

##### ・インターンシップ実施の際の企業に課す条件について

企業に依頼するプログラムの条件等について審議を行った。その結果、インターンシップ期間は5日間とすること、教育的視点を取り入れ、単純作業等のみにならないよう配慮頂くことなど、基本的な事柄について承認がなされた。なお、さらに、細かい点について意見や提案がある場合は、4月26日までに委員長宛に連絡することとした。この他、賃金については基本的に無償とすること、交通費の支給は各社に任せることとし、次回以降の委員会では協定書(案)についても検討することとした。

##### ・依頼企業について

2018年度秋のアンケート調査に基づき、5日間のインターンシップの受入およびプログラムを本学と協議頂けると回答のあった企業67社のリストが示され、各業種より1~3社に絞り約30社を今年度の依頼相談先としたいとの提案がなされ、審議の結果、異議なく承認された。各社には、入稿シートを元に参画の確認と学生へ周知する情報を確認することとした。なお、依頼にあたり企業の追加や変更は、委員長に一任することが確認された。

##### ・学生への周知・応募条件等について

学生の応募条件および参加条件、選考やマッチングのルール等については、次回の委員会で審議のうえ、6月の学生告知に間に合うよう準備を行うこととした。

##### ・単位認定・履修について

短大部の科目については、3学期および4学期で単位認定となっているが、開講に関しては、集中講義と同等とし履修に関わるルールも他の短大部の集中講義と同様の手続きで行う予定で計画していることが報告された。これを受け、学部の科目に関しては2年後の実施に向け、履修に関わる条件や制度等を教務委員会と協議が必要であるため、今後調整を図ることが確認された。その際、本委員会としては、科目の事情を鑑みた対応を望むこととする。

##### ・目標とする実施件数について

今期は初の試みとなることにも鑑み、現段階では大学、短大合わせて20名から30名を目標とし、依頼企業の調整を図ることとした。

#### ②5月27日(月)



・2019年度インターンシップ参加学生の選考方法について

案が示され審議の結果承認された。大学は、A)書類選考、B)企業マッチングを行う。短大はA)書類選考、B)面談、C)企業マッチングを行うこととなった。書類選考にあたっては、提出書類の内容(志望動機・自己PR等)、学業への取り組み状況と結果(出席状況とGPA)、学生生活の状況、健康状態、各学科の意見を基に総合的に判断することとした。これに伴い、各学科長、教務課、学生課、健康安全センターへ情報提供を依頼することとした。なお、短大については今年度から正規科目であることを踏まえ、履修者数を制限したうえで、履修者全員を必ず何れかの企業のインターンシップに参加するものとした。また、マッチング案は、大学短大間の調整を行いつつ、委員長が原案を作成し、次回委員会において審議を行う。

・今年度のインターンシップ事業の詳細日程案について

事務局より提案がなされ、審議の結果承認された。

- ・学生に対するインターンシップ参加の際の各種条件等を示す募集要項(案)が提案され、審議を行った。その結果、A)実施スケジュールの優先順位として、申請者は申請時点において本学のインターンシップの日程を優先できる者とする、B)ただし、正課の集中講義等の日程と重複する場合は調整できる範囲(企業側の受入れ可能期間が長い等)であれば正課の日程を優先しつつ申請できること、C)なお、本学以外のインターンシップ日程やプライベートの都合を理由に日程調整が困難になる状況は認めないものとする、以上のことを追加で盛り込むことを条件に承認された。
- ・インターンシップ先で使用する実習ノート(案)について提案がなされ、審議の結果、ノートの仕様等が承認された。本年度はこの冊子で対応し利用の上、次年度に向け修正等が必要な場合は修正を加えるなど工夫を行う。

③7月1日(月)

- ・応募者について、各学科長および各部署から提供された、成績(GPA)、出席状況、賞罰の有無、学科における評価等をまとめた一覧表が示され、これに基づき、委員長よりマッチング案が提示された。審議の結果、一部修正の上、マッチング案を承認した。なお、今回の選考に漏れた学生に対しては、学科でのフォローを依頼するとともに、キャリアセンター窓口においても対応することとした。応募者へのマッチング結果の発表は7/2(火)となった。
- ・本学が企業と結ぶ「協定書(案)」について示され、審議を行った。条文の数カ所について修正意見が出された。再度修正後に案を委員全員へメール配信し、これをもって承認することとした。
- ・学生が企業に提出する「誓約書(案)」について2案が示され、審議の結果、未成年の学生の場合には保護者の署名捺印を必須とする案で承認された。
- ・学生が企業に提出する「自己紹介書(案)」について3案が示され、審議の結果、志望動機・自己PRとも250字程度を記す第2案に決定した。併せて自己紹介書の下書きに対する添削への協力依頼がなされた。

④11月18日(月)

- ・キャリアセンターより、資料に基づいて、2020年度年間スケジュール案が示され、審議の結果、A)学生へは、2年生後期からの周知が必要であること、B)短大生については入学前セミナーで周知すること、C)短大の2次面接は不要であることなどの意見が付されたうえで承認された。
- ・委員長より、学生の作成した資料((A)自己紹介書、(B)PPT資料、(C)体験報告書)について、2020年度より委員の先生方に添削をお願いしたい旨の提案があり、異議なく承認された。
- ・キャリアセンターより、資料に基づいて、2020年度新規開拓企業リスト案が示され、委員長より、A)原案はたたき台であり追加、削除が可能であること、B)学部学科ごとに希望があれば受け付けることの2点が補足されたうえで承認された。
- ・委員長より、学部学科を限定したインターンシッププログラムの可否について提案がなされ、学部学科ごとに希望がある場合はあらかじめ承諾を得たうえでキャリアセンターにつないでほしいとの意見が付されたうえで承認された。

⑤2月18日(火)

- ・キャリアセンターより、資料に基づいて、2020年度年間スケジュールが示され、前回の委員会からの変

更点について説明された。主な変更点として、A)説明会と参加申し込みの間に相談会の日程を設けること、B)一次、二次選考を取りやめ、選考を1回で済ませること、C)履修登録について、説明会実施前の4月12日までに済ませる必要があることが報告された。A)B)については異議なく承認され、C)については、その旨を説明会の開催告知時にしっかりと周知することという条件が付されたうえで承認された。

- ・委員長より、2020年度の報告発表会の日程、内容について提案があり、議論の結果、A)学園祭で、パネル展示は行わず発表のみを1教室で行うこと、B)PPT資料は参加者全員が作成するが、発表する10名前後の学生のみが企業に機密確認を行い、発表しない学生については、機密確認は行わずに事後研修会でのグループ発表のみとすること、③報告書は全員作成し機密確認を行ったうえで冊子にすること、が承認された。なお、発表する学生の数、時間等の詳細については継続審議とされた。
- ・委員長より、資料に基づき新規企業の開拓結果が報告された。新規に62企業に依頼を行い、その内37企業より学生受け入れの内諾をいただいた。これを踏まえたうえで2020年度の受入企業一覧が示され、昨年度受け入れていただいた23企業と合わせて、計60企業の受け入れ体制となることが報告され、異議なく承認された。

## (b) 事業活動

- ①年度内の松本大学インターンシップ派遣先企業23社
- ②年度内の松本大学インターンシップ派遣学生数43名
- ③松本大学インターンシップ報告会に参加した一般学生数(インターンシップ参加学生を除く)80名

## (3) 公務員試験対策講座運営委員会 (構成員：教員5名・事務職員5名 合計10名)

本委員会は教員5名(委員長1名、各学部1名、短大部1名)と事務職員5名によって構成されており、公務員を目指す学生を支援することを目的に公務員試験対策講座(以下、「対策講座」という)を開講し、その円滑な運営を目的としている。公務員試験対策講座については(株)Lec東京リーガルマインドと提携して運営を行っている。

今年度は2回の委員会を開催し、さらに(株)Lec東京リーガルマインド担当者と5回のミーティングを行って意思疎通を図り、学生の学力向上と公務員試験合格のために活動を行った。以下、1)委員会開催と、2)事業・活動として本委員会の活動について報告する。

### (a) 委員会開催

第1回 2019年6月6日(木)4限(15:10～) 欠席1名

〔報告事項〕

- ①2019年度公務員試験対策講座受講者について
- ②公務員採用試験状況について
- ③本委員会の取組みについて

第2回 2019年11月27日(水)2限(11:20～)欠席0名

〔審議事項〕

- ①次年度の講座編成について

〔報告事項〕

- ①2019年度公務員採用試験状況について
- ②2019年度講座運営報告について

### (b) 事業活動

## ①(株)Lec東京リーガルマインドとの提携講座

講座名	開講期間	対象学部・学年	コマ数
SPI入門講座	前期5/12～7/14、後期10/1～1/21	学部1年	25
教養講座A	前期5/8～8/18、後期9/28～1/18	学部2年、短大1年	30
教養講座A(集中)	夏期9/7～9/18、春期2/10～2/24	学部2年、短大1年	30
教養講座B	前期5/7～8/19、後期10/1～1/21	学部3年	30
専門講座B	前期5/13～8/20、後期9/30～2/3	学部3年	40
実践講座	前期5/11～8/27	短大2年	25
合格講座	前期2/22～6/22	学部4年	40

## ②公務員試験ガイダンス：学部生、短大生対象

4月5日、4月8日、4月9日、4月10日、4月11日、4月12日

## ③(株)Lec担当者とのミーティング

7月30日14時～

10月29日15時10分～

11月29日15時10分～

12月23日14時～

1月22日11時20分～

## (4) 全学教職センター運営委員会

## (a) 会議開催

## 【全学】

・全学教職センター運営委員会〈全6回〉

4/25(木)、6/27(木)、9/12(木)、10/16(水)、11/7(木)、12/19(木)

## 〈総合経営学部・人間健康学部〉

・教職センター会議〈全5回〉

4/24(水)、7/3(水)、9/6(金)、10/4(金)、11/28(木)

・教職センタースタッフ会議〈全13回〉

4/3(水)、4/26(金)、6/7(金)、6/28(金)、7/5(金)、8/1(木)、9/6(金)、10/4(金)、11/8(金)、12/6(金)、1/10(金)、2/7(金)、3/6(金)

## 〈教育学部〉

・教育学部教職センター会議〈全15回〉

4/3(水)、5/9(木)、6/6(木)、6/25(火)、7/4(木)、7/19(金)、8/22(木)、9/10(火)、10/2(水)、10/30(水)、11/27(水)、12/25(水)、1/29(水)、2/6(木)、3/5(木)

・学校ボランティア活動担当者会議〈全7回〉

5/9(木)、6/6(木)、7/4(木)、9/12(木)、12/4(水)、1/8(水)、1/29(水)

・学校インターンシップ科目担当者会議〈全10回〉

5/29(水)、6/6(木)、7/3(水)、9/24(火)、10/8(火)、10/23(水)、10/30(水)、12/18(水)、1/22(水)、3/5(木)

・初等教育実習科目担当者会議〈全3回〉

4/9(火)、5/21(火)、7/2(火)

・特別支援教育科目担当者会議〈全10回〉

6/6(木)、6/27(木)、7/18(木)、8/29(木)、9/25(水)、10/29(火)、11/19(火)、12/19(木)、2/6(木)、3/18(水)

・教育学部完成年度以降の実習科目についての検討会議〈全4回〉

8/1(木)、8/27(火)、10/30(水)、11/19(火)

**(b) 教員免許状更新講習****【必修領域】**

7月27日(土) 「教育の最新事情」(講師：川島一夫・今泉博)

8月6日(火) 「教育の最新事情」(講師：守一雄・武者一弘)

**【選択必修領域】**

7月28日(日) 「授業における『活用』—思考力・判断力・表現力の育成とアクティブ・ラーニング—」(講師：秋田真・澤柿教淳)

7月28日(日) 「教育の情報化 はじめの一步」(講師：室谷心)

7月28日(日) 「学校・家庭・地域の連携及び協働」(講師：大蔵真由美)

7月28日(日) 「学級経営や授業展開に役立つ教育相談の基礎」(講師：岸田幸弘)

7月28日(日) 「『気がかりな子』の理解と対応」(講師：中山文子)

8月7日(水) 「外国語科における連携とその指導」(講師：和田順一)

8月7日(水) 「道徳教育」(講師：征矢野達彦・田野口弘)

8月7日(水) 「新学習指導要領への対応とその留意点」(講師：山崎保寿)

8月7日(水) 「幼少期のこころの発達とその支援」(講師：羽田行男)

8月7日(水) 「保護者対応のあり方と学校における危機管理について」(講師：小松茂美・石井良治)

**【選択領域講習】**

6月1日(土) 「投影法を活かした児童理解」(講師：羽田行男)

6月2日(日) 「園児・児童・生徒の理解に役立つ性格心理学」(講師：中山文子)

6月9日(日) 「子どもがゲーム理解をするボールゲームの授業をつくる」(講師：濱田敦志)

6月15日(土) 「体験から気づき、行動へ～環境教育・総合学習の計画と評価～」(講師：中澤朋代)

6月16日(日) 「南極の魅力とその教材化」(講師：澤柿教淳)

6月29日(土) 「健康と環境に配慮した『食事』へのアプローチ」(講師：平田治美)

6月30日(日) 「子どもと共に創る音楽科『表現』の授業」(講師：安藤江里・高山雪)

7月7日(日) 「体質に関わる遺伝子型解析実験」(講師：山田一哉・高木勝広・浅野公介・塚田晃子)

8月3日(土) 「救命救急法(CPRとAED)」(講師：山本薫)

8月5日(月) 「生徒を深く理解するための臨床心理学」(講師：齊藤茂)

8月8日(木) 「論理的文章の読み方・書き方」(講師：國府田祐子)

8月9日(金) 「主体的な学びを育む小学校社会科授業づくり」(講師：秋田真・高山雪)

8月10日(土) 「発達上の困難・課題を有する非行少年の理解と支援」(講師：内藤千尋)

8月31日(土) 「結婚と結婚式、その変遷と現状」(講師：小澤岳志)

9月7日(土) 「小学校教員実力養成講座(算数科指導と学級経営)」(講師：増田吉史・佐藤茂太郎)

9月14日(土) 「子どもの食育から学ぶ 基礎編・応用編」(講師：水野尚子)

10月6日(日) 「子どもたちの『問題』を理解し対処するための『見立て』方」(講師：齊藤茂)

10月27日(日) 「良好な人間関係を築くために～コミュニケーションのズレに気づく～」(講師：犬飼己紀子)

11月3日(日) 「ベースボール型の授業づくり」(講師：岩間英明)

11月10日(日) 「授業で使える物理実験講習会」(講師：室谷心・増子寛・奥原靖彦・湯口秀敏)

11月23日(土) 「ディベートとゲームで学ぶ生徒指導：進化心理学的アプローチ」(講師：守一雄)

**(c) 2020年度 教員採用試験結果 (補欠合格含む)****■現役生**

長野県小学校 二次合格(2名)

長野県高等学校 商業 二次合格

石川県高等学校 商業 二次合格

静岡県高等学校 商業 二次合格

長野県小学校・中学校・特別支援学校 養護教諭 二次合格  
 北海道 養護教諭 二次合格

■卒業生

H26年度卒業生 長野県栄養教諭 補欠合格  
 H27年度卒業生 福島県小学校 二次合格  
 H28年度卒業生 富山県中学校・高校 保健体育 二次合格  
 H28年度卒業生 北海道 養護教諭 二次合格  
 H29年度卒業生 長野県 特別支援学校 二次合格  
 H29年度卒業生 東京都小学校 二次合格 (以上6名合格)

(d) 全国私立大学教職課程研究連絡協議会等主催の諸活動への参加

- 5月10日(金) 関東地区私立大学教職課程研究連絡協議会 2019年度定期総会 出席  
 於：東京都市大学(山崎)
- 5月25日(土)・26日(日) 第39回全国私立大学教職課程協会研究大会 出席  
 於：大阪ガーデンパレス・近畿大学(山崎、田嶋、小松)
- 9月9日(月)・10日(火) 日本養護教諭養成大学協議会 出席  
 於：品川きゅりあん(中島節子)
- 9月14日(土) 関東地区私立大学教職課程研究連絡協議会 第1回北部地域協議会 出席  
 於：大宮ソニックシティ(矢野口)
- 10月26日(土) 京都地区私立大学教職課程研究会連絡協議会 教員免許事務勉強会 出席  
 於：龍谷大学大宮キャンパス(田嶋)
- 11月2日(土)・3日(日) 全国私立大学教職課程研究連絡協議会 運営交流集会 出席  
 於：京都テレサ(山崎)

(e) 教職センター活動

【全学及び総合経営学部・人間健康学部】

- 4月10日(水) 松本市学校指導課 表敬訪問
- 4月15日(月)～ 教員免許状更新講習 受付開始
- 4月18日(木) 長野県高等学校長会 出席(山崎)
- 4月22日(月)～ 教職課程履修者の成績不振者との面談
- 4月23日(火) 再課程認定申請書差替え：文科省
- 4月24日(水) 更新講習学内教員説明会開催
- 4月25日(木) 長野県教育委員会教員採用試験説明会(総経・人間)
- 5月7日(火) 長野県高校教育課情報交換
- 5月7日(火)～ 2019年度教育実習開始(総経・人間4年生 教育3年生)
- 5月13日(月) 「大学教育と地域」教職課程の説明(総経・人間)
- 5月21日(火) 1年生新規教職履修希望者へのガイダンス(総経・人間)
- 6月1日(土)～ 教員免許状更新講習 講習開始
- 6月4日(火) 上越教育大学連携・協力協定締結校意見交換会 於：上越教育大学
- 6月27日(木) 教員採用試験一次試験対策講座開催
- 6月29日(土) 第1回梓友会開催 於：王滝会館
- 7月1日(月) 特別支援学校における介護等体験開始
- 7月13日(土)・14日(日) 長野県教員採用選考試験第一次選考
- 8月6日(火) 長野県教員採用選考試験第一次合格発表
- 8月9日(金) 教員採用試験二次試験対策講座開催

- 8月23日(金) 明星大学との教育連携にかかる打合せ 於：明星大学(山崎・田嶋)
- 9月18日(水)・19日(木) 後期オリエンテーション 教職センターガイダンス
- 9月26日(木) 教育実践改善賞記者会見
- 9月26日(木) 上越教育大学大学院 説明会
- 9月30日(月) 社会福祉施設における介護等体験開始
- 10月10日(木) 他学科免許履修支援プログラム説明会
- 10月11日(金) 教員採用試験合格者との座談会
- 10月23日(水) 年度末一括申請説明会出席 於：長野県庁(田嶋)
- 10月29日(火) 明星大学通信教育部教育連携にかかわる打合せ
- 10月31日(木) 教育実習事前・事後指導：先輩講話
- 11月1日(金) 教員免許状更新講習に関する関係者打合せ会議出席 於：長野県庁(田嶋)
- 11月28日(木) 教員免許状一括申請説明会
- 12月17日(火) 教職課程認定等に関する事務担当者説明会出席 於：学習院大学(赤羽(研)・田嶋)
- 12月19日(木) 総合経営学部・人間健康学部2年生教職希望者ガイダンス
- 12月23日(月) 教員採用模擬試験
- 1月7日(火) 明星大学通信教育部免許取得プログラム説明会
- 1月8日(水) 名古屋市教育委員会来年度教育実習生の申請(山崎・田嶋)
- 1月11日(土) 第2回梓友会開催 於：王滝会館
- 1月21日(火) 明星大学通信教育部入学手続きガイダンス
- 1月24日(金) 健康科学研究科教職課程認定申請事前相談
- 2月11日(火) 教育実践改善賞受賞式
- 2月27日(木) 教員採用模擬試験
- 3月6日(金) 教育実習履修許可者発表

#### 【教育学部】ガイダンス

- 4月3日(水) 1年生教職ガイダンス
- 4月8日(月) 介護等体験ガイダンス
- 4月9日(火) 教職ガイダンス
- 4月10日(水) 3年生初等教育実習ガイダンス(事前・事後指導)
- 4月11日(木) 3年生副免ガイダンス(他学部事前・事後指導)
- 6月18日(火) 1年生教職ガイダンス(副免)
- 6月25日(火) 1年生教職ガイダンス(学校ボランティア活動)
- 7月2日(火) 1年生教職ガイダンス(マナー講座)
- 7月8日(月) 2年生「学校インターンシップ」説明会
- 7月9日(火) 1年生「学校ボランティア」教職ガイダンス
- 7月24日(水) 3年生教職ガイダンス(教職履修カルテ)
- 7月24日(水) 1・2年生教職ガイダンス(教職履修カルテ)
- 7月26日(金) 3年生特別支援学校教育実習ガイダンス
- 9月18日(水) 1年生教職ガイダンス(副免説明)
- 9月18日(水) 3年生教職ガイダンス・特支副免学生説明
- 9月19日(木) 2年生教職ガイダンス
- 9月19日(木) 1年生教職ガイダンス(マナー講座)
- 10月16日(水) 1年生副免申請直前説明会
- 10月21日(月)～10月25日(金) 1年生他学部免許履修支援プログラム申請
- 11月13日(水) 1年生「学校インターンシップ」ガイダンス
- 11月19日(火) 就職支援ガイダンス、教採対策講座・模試の案内

- 12月6日(金) 特別支援学校先輩講話
- 12月7日(土) 2・3年生教員採用模擬試験
- 12月11日(水) 1年生教員採用模擬試験
- 1月14日(火) 2年生「キャリアデザイン」アンケート・履修カルテ説明
- 1月15日(水) 1年生「学校インターンシップ」ガイダンス アンケート・履修カルテ説明
- 1月16日(木) 3年生教採対策講座
- 1月21日(火) 3年生就職ガイダンス アンケート・履修カルテ説明
- 3月6日(金) 教育実習履修許可者発表
- 3月16日(月)～20日(金) 3年生教員採用試験対策集中講座
- 3月24日(火) 3年生教採面接対策講座

**【教育学部】訪問・依頼・説明**

- 4月10日(水) 松本市教育委員会 訪問
- 4月12日(金) 松本市校長会 表敬訪問
- 4月17日(水) 松本市校長会 出席
- 4月19日(金) 長野県特別支援教育課 表敬訪問
- 4月19日(金) 長野県特別支援学校校長会 出席
- 4月24日(水) 塩尻市校長会 出席
- 4月25日(木) 長野県特別支援学校校長会 表敬訪問(特別支援学校教育実習について)
- 5月14日(火) 安曇野市教育委員会 訪問
- 5月23日(木) 長野市教育委員会 ※長野市立北部中学校2020年度教育実習延期・取りやめのお詫び
- 5月27日(月) 特別支援学校校長会 出席
- 8月27日(火) 諏訪市校長会 出席
- 8月28日(水) 安曇野市校長会 出席
- 8月28日(水) はた敬老園デイサービスセンター ※2018年度介護等体験に関するお詫び
- 8月29日(木) 塩筑校長会 出席
- 9月10日(火) 千曲市教育委員会 訪問
- 9月25日(水) 長野県特別支援学校校長会 出席
- 11月21日(木) 原村教育委員会 訪問(征矢野)
- 11月25日(月) 岡谷市教育委員会 訪問(征矢野)
- 11月25日(月) 野沢温泉村教育委員会 訪問(岸田)
- 1月20日(月) 松本市教育委員会及び保育課 教育実習等の報告とお願い(岸田)
- 1月22日(水) 長野県教育委員会 教育実習の説明と受入依頼等(岸田・征矢野)
- 1月24日(金) 南箕輪村教育委員会 訪問
- 2月14日(金) 長野市教育委員会 来年度長野市実習希望者リスト提出(岸田)
- 2月17日(月) 塩筑校長会 出席
- 2月19日(水) 安曇野市校長会 本年度の活動のお礼と来年度のお願い(征矢野)
- 2月20日(木) 軽井沢教育委員会 訪問(川島)
- 2月26日(水) 原村教育委員会・原村立原小学校 ※来年度インターンシップ辞退のお詫び(征矢野)
- 3月9日(月) 信州大学附属病院 ※2年生の教育実習の可否判断のため受診付き添い(高山)
- 3月11日(水) 安曇野市立穂高北小学校 ※来年度教育実習・インターンシップ辞退のお詫び(征矢野・澤柳)

**【教育学部】その他**

- 5月13日(月)～ 初等教育実習開始
- 5月29日(水)～ 初等教育実習参観訪問開始
- 7月2日(火)～ 介護等体験
- 9月2日(月)～ 学校インターンシップ

10月9日(水)～ 学校ボランティア活動

## (5) 情報センター運営委員会

情報センターでは、通常業務として下記を行った。

### ①研究・教育の支援

パソコン教室整備、コンピュータ関連科目支援、オリエンテーション実施、学生アシスタント手配等

### ②情報機器の維持・管理

ネットワーク、サーバー類の維持管理、教職員パソコンの管理、貸出ノートパソコンの管理

### ③その他

資格取得支援管理、外部講習会の実施等

## (a) 委員会事業・活動

今年度も定期的に委員会を開催し(4月、6月、10月、1月の4回)、学部・学科による様々な事情や教育方針の違いなどを考慮に入れて議論しながら、通常事業および新規事業を、若干予算の変更はあったものの計画通り実施してきた。その中でも、委員会で審議した結果、新規に実施してきた事業は以下のとおりである。

### ①松本大学学外における情報資産保護内規の整備

学園のセキュリティポリシーの一部変更に伴い、本学独自の情報資産保護内規について審議し、承認した。また、それに伴い、ガイドラインを作成し、全教職員に配布し啓蒙することとした。

### ②教員PCのノート化についての審議

資金面やメンテナンスの面から、教員の業務用のPCをノートPCにすることについての審議し、委員会で決定した後、各学部教授会にて審議を行った。

### ③旧アドレスの廃止について

Office365への移行について、延長を希望する者が多数いたため、審議を行い、年度末までの延長とすることとした。

### ④短期大学部アンケートの対応

短期大学部の在学生・卒業予定者アンケートの結果から、改善点を検討し、より満足度を高めるために情報公開などの対応をとることとした。

## (b) 外部講習会の実施

例年通り2019年9月4日～5日にかけて、松本大学にてシニア大学の講義・演習を実施した。最近のIT事情についての講演に引き続き、パソコンの使い方、エクセルの使い方、ワードの使い方、写真の加工など、習熟度に応じたパソコン実習を実施した。

## (6) 図書館運営委員会

### (a) 組織

総合経営学部教員2名、人間健康学部教員2名(内1名健康科学研究科兼務)、教育学部教員1名、短期大学部教員2名(内1名館長兼務)、事務局1名・業務委託7名

### (b) 委員会開催

2019年5月21日(火)16:50～17:40

(1)松本大学文献複写規程について、国立国会図書館から貸出しを受けた資料について複製を可とするため、著作権法第31条第1項を追記することとし、全員一致でそれを認めた。

(2)2019年度前期学科別学生図書を選定について審議、承認された。

(3)2019年4月活動報告、2018年度利用統計、図書館学生スタッフについて報告された。



## 2019年7月23日(火)16:50~17:55

- (1) 延滞督促について、総合経営学部より、延滞図書督促状をゼミ(クラス)担当教員から学生に渡すのではなく、直接学生に督促し、自主的に返却を促すよう依頼がなされ協議した。他学の情報を集めるため、継続審議とした。
- (2) 5月~6月の活動および4月~6月の統計報告がされた。
- (3) 卒論貸出について通年化を望む声が多く、年間を通じて実施することが報告された。
- (4) 今後の予定について、8月5日に人間健康学部3・4年生を対象とした「メディカルオンライン講座」を実施するので、できるだけ多くの学生に周知してほしいと依頼がなされた。

## 2019年10月16日(水)8:40~9:20

- (1) 延滞督促について、県内の大学短大アンケートによると、担当教員が催促するケースが多い。本学の督促方法は丁寧に行われていること、この制度がスタートして間もないことから、現在の催促方法を継続する。ただし、総合経営学部においては、学生に連絡が取り難い担当教員もいることから報告に留め、学籍番号で図書館への呼出の掲示をすることを認めた。
- (2) 2020年度図書館雑誌およびデータベース等の新規購入について、2名の教員から和雑誌3件、データベース2件の新規申請があり、和雑誌2件の申請を認めた。
- (3) 2019年度後期学科別学生用図書の選定について、メールにて全教員に依頼することを認めた。また、学科の取りまとめについて委員に依頼がなされた。
- (4) カビ菌除去について、2017年9月に実施した閉架書架のカビ菌除去作業から、半年ごとのカビ菌数の推移を示し、低数値に抑えられていることが報告された。
- (5) 7月~8月の活動および統計報告がされた。
- (6) 11月に実施する読書月間の展示やイベント計画書が提出され、「おすすめの1冊」に対して、協力の要請がされた。図書館総合展に、ポスターセッションで初参加することが報告された。
- (7) 卒業生・在学生アンケートの検証について、短大部で実施した標記のアンケート結果で、図書館に関する記述を示し、学生からの要望を共有した。

## 2020年1月15日(水)8:40~9:20

- (1) 現在受入れを行っていない和洋雑誌の除籍について、リスト一覧を全教員に示し、除籍を希望しない雑誌に○印を付けてもらう方法を採用したい旨、審議しそれを認めた。
- (2) 図書館総合展に、ポスターセッションとして初参加し、受賞したことが報告された。
- (3) 9月~12月の活動および統計報告がされた。
- (4) 今後の予定について、1月も図書館公開講座、2月に図書館司書講座実習、3月に在学生オリエンテーションを行うことが報告された。

## (c) 事業・活動内容

- (1) 図書館運営・サービスの方針および計画の審議
- (2) 図書館利用の促進
- (3) 学科別図書の選定および取りまとめ
- (4) 雑誌・データベースの購読・契約に関する審議

## (d) 図書館サービス・図書館利用促進業務

## (1) 2019年度利用実績

開館日数	延べ利用者数	貸出者数	貸出冊数	視聴覚資料閲覧
259日	62,840人	4,555人	8,546冊	1,212人

## (2) 図書館オリエンテーション・ガイダンス

4月2日(火): 大学部新生図書館オリエンテーション

4月23日(火): 松商短期大学部新入生図書館オリエンテーション

「大学教育と地域」

5月16日(木): 総合経営学部1年生

5月20日(月): 人間健康学部1年生

・ゼミナール別図書館ガイダンス(各自問題を解いて館内を回る体験型のガイダンスを実施)

4月9日(火)観光1年(尻無浜・白戸・中澤・田開/増尾・畑井・向井・益山)、4月16日(火)総経1年(古川・室谷/兼村・成)、4月24日(水)スポーツ1年(中島弘・新井)、5月15日(水)スポーツ1年(根本・熊谷)、5月22日(水)スポーツ1年(河野・齊藤・中島節)、6月19日(水)短大1年(伊東)、6月26日(水)短大1年(糸井・飯塚・小澤)、7月3日(水)短大1年(金子・香取/川島・木下)、7月10日(水)短大1年(中村・中山/浜崎・廣瀬)、7月17日(水)短大1年(矢野口・山添)

### (3)通常開館

開館9:00 閉館20:30(土曜日17:00)/長期休業中の閉館は19:00(土曜日17:00)

### (4)データベース

・2019年度利用の有料データベースおよびEジャーナル(9タイトル、1パッケージ)

①国立情報学研究所データベース、②JDreamⅢ、③医中誌web、④メディカルオンライン、⑤信濃毎日新聞記事検索、⑥第一法規法情報、⑦ジャパンナレッジLib、⑧日経テレコン、⑨日経NEEDS-FinancialQUEST、⑩Eジャーナル

・8月5日(月): メディカルオンライン利用講習会 参加者28名

### (5)学外者利用サービス提供

図書館開館中は、学外者にも図書館サービス(貸出ほか一部サービスを除く)を行っている。2019年度利用者は延べ458名であった。

松本大学図書館ゲストカードの登録者は新規3名であった(松商学園関係者1名)。

### (6)図書の実・整理

2019年度受入図書数

図 書		ビデオ	CD	DVD	デジタル資料
和: 4,108	洋: 31	2	1	74	1
全: 4,139					
和雑誌	洋雑誌				
484	33				

### (7)蔵書点検

9月2日(月)～6日(金) 2019年度点検対象資料: 図書館排架の和書、洋書

### (8)学生利用促進企画

①短期大学部入学者全員に読書スタンプラリー用の1押印済みのポイントカードを配布。

②新入生にOPAC仮パスワードをメール配信: 4月2日(火)

設定方法については、新入生オリエンテーションで資料を配布。

③謎解きゲーム: 4月15日(月)～5月31日(金)参加者30名、クリア者14名

新入生向けに図書館活用法を知ってもらう目的で開催

④授業サポート

・教育学部1年生全員: 4月16日(火)・23日(火)3限「図書館ガイダンス」

・人間健康学部1年全員、教育学部1年全員、過年度生3名: 6月18日(火)・7月9日(火)2限「ICTと情報倫理」

・羽田ゼミ3年: 7月25日(木)5限「文献探索講座」

・兼村先生クラス(3年・キャリア形成Ⅱ): 9月25日(水)3限信毎DBの使い方指導

・教育学部1年生全員: 11月13日(水)・20日(水)1限「レポートの書き方講座」

・司書課程「図書館基礎特論」: 2月4日(火)～26日(水)・3月2日(水)

- ⑤県内7短大連携企画、おすすめ本の紹介「隣は何を読む人ぞう」第35号～38号発行  
県内7短大の学生・教職員・司書が毎号テーマに沿ったおすすめ本を紹介する。
- ⑥グループ学習室利用：60日
- ⑦読書スタンプラリー実施(参加人数3名、レポート数5枚)
- ⑧前期レポート論文の書き方講座：6月24日(月)～28日(金)30分程度  
図書館グループ学習室にて各回定員10名で募集、計21名の学生が参加
- ⑨読書月間：11月1日(金)～30日(土)『秋は図書館でミステリー、謎を解くのは君だ!』  
・学生・教職員による本の紹介「おすすめの1冊」  
・展示：「ナゾ・スリル・サスペンス!ミステリー本展示」  
・企画：ア)謎解きゲーム 参加者50名、クリア者18名(12月20日(金)まで延長)  
イ)図書館食堂 展示してあるメニューをカウンターで注文して図書を出  
ウ)リサイクル図書市 除籍した資料を学生、教職員に無料で譲渡  
エ)図書館総合展の報告 ポスターの掲示、作成～当日の様子を紹介
- ⑩リサイクル図書市  
読書月間中は図書館内で、12月にはコモンルームと9号館にて開催
- ⑪卒論貸出  
・卒業論文用図書貸出のお知らせを掲示、ホームページ案内、卒業研究担当教員にメール配信。  
・図書の貸出期間を1ヶ月とし、1回貸出延長可。雑誌の貸出期間は2週間。  
・貸出冊数は通常の貸出冊数とは別に5冊まで、利用申請は随時受付  
申請者15名(学部：根本ゼミ4名、清水・益山ゼミ各2名、田邊・石原ゼミ各1名、短大：中山ゼミ2名/科目履修生等3名)図書36冊・雑誌2冊貸出
- ⑫延滞者督促メール配信、督促状配布  
月に1度、1ヶ月延滞者、2ヶ月以上超過の学生にメール配信。年に4回、2ヶ月以上超過の学生にゼミ担当より督促状を手渡ししていただく。総合経営学部については、学籍番号で図書館への呼出の掲示。卒業生には返却が確認されるまで年に1回、4月末を目安に実家宛に督促状を送付。4回経過しても返却されなければ除籍とする。
- ⑬本の展示  
就活関連、映画・ドラマの原作本、直木賞・芥川賞受賞作、本屋大賞、学内講演会関連本、守先生の紹介する本(DOHC)、平成を振り返る、不思議の国のアリスとアート、あたたかい本等。また、閲覧机にミニ展示台を置き、新聞や雑誌で紹介された本を展示。
- ⑭ブクログに本の紹介文アップ(司書教諭科目受講生の紹介する本、読書月間時の本の紹介、司書科目受講生の紹介する本)
- ⑮クリスマスイベント  
クリスマスツリーの展示：11月29日(金)～12月25日(水)  
学友会部外局に依頼し、ツリーの飾りつけを行った。  
クリスマスパーティー：12月16日(月)  
例年開催している学友会主催のクリスマスパーティーの会場として使用。点灯式、絵本読み聞かせ、集合写真を撮り、近隣の子ども40人程度と保護者の参加があった。
- (9)図書館広報関係発行物  
「図書館利用案内2020」  
「図書館だより」No.55～58(学生向け)  
「図書館要覧2019年度版」
- (10)訪問巡回図書受け入れ  
5月24日(金)：笠原書店・河出書房新社
- (11)信州共同リポジトリ

松本大学研究紀要第17号、地域総合研究第20号、教育総合研究第3号アップ

2019年度の閲覧回数：36,235回、論文等のダウンロード数188,878回

3月23日(月)：2019年度信州共同リポジトリ年度報告会(信州大学中央図書館)※中止

#### (12)図書館公開講座

7月27日(土)：「生きる力を育てる絵本・子どもが絵本と出会うとき～モーリス・センダックが遺したもの～」

講師：有山裕美子先生(工学院大学附属中学校・高等学校国語科教諭・司書教諭)

参加：68名(学生45名、一般23名)

1月25日(土)：「あなたのまちなかのスーパー司書」

講師：砂生絵里奈氏(鶴ヶ島市教育委員会)、参加：70名(学生34名、一般36名)

#### (13)図書館学生スタッフ

5月より学生スタッフを導入し、講義日の2、3限目にノートパソコン貸出業務やカウンター業務、装備等の業務を依頼した。また、図書館総合展のポスター制作に協力してもらった。

#### (14)図書館総合展

11月11日(月)～14日(木)：第21回図書館総合展 神奈川(パシフィコ横浜)

ポスターセッション参加

### (e) 資料・設備等の整備・管理業務

#### (1)資料の整備

##### ①就職コーナー

例年通り、キャリアセンターと同資料を購入。2019年度末から2020年度始めに登録、排架。

##### ②レポート課題調査・課題図書

前期と後期に教員と非常勤講師に調査。コーナーを設置。

##### ③シラバス掲載図書

通年・前後期と色分けをした「シラバス」シールを貼付し排架。

##### ④郷土資料のラベル修正

分類番号の前に「N」をつけ、著者記号2字採りに変更。6類～9類まで終了。レファレンス本について引き続きデータ修正、ラベル貼り替え作業を行う。

##### ⑤学科選定図書

前期と後期で本を別置して展示。

##### ⑥小中学校教科書コーナー

館内利用とし1階電動書架に排架。請求記号や排架方法が他と異なるので、案内を表示。

##### ⑦所蔵雑誌の除籍について

教員に現在受入れを停止している雑誌について、保存期間の見直しを依頼。

##### ⑧紀要電子化調査

機関リポジトリやWEB上で公開されているものを調査し、公開されているものは除籍。

##### ⑨棚担当ごと資料の見直し、面出し

##### ⑩雑誌登録番号を手書きからバーコード貼付に変更

#### (2)設備の新設・更新

①館内デスクトップパソコンをノートパソコンへ移行、6月24日(月)より館内貸出開始

②カウンター内パソコン3台、Win7からWin 10へバージョンアップ

③検索性パソコン入替、バージョンアップ

④1階、3階のプリンタ撤去

⑤情報館サーバー入替、バージョンアップ：9月12日(木)・13日(金)

⑥入退館ゲート定期点検(年2回)：9月5日(木)・3月11日(水)

⑦洋書コーナーカビ菌採取：8月5日(月)・2月27日(木) ※2019年度よりスタッフが実施

## ⑧文庫架および7類書架を増設

## (f) 教職員サポート業務

## (1) 図書購入・図書費の管理

2019年度研究図書費実績

単位(円)

	学科	図書費	新聞雑誌費
大学院	研 究 科	154,634	515,565
総合経営	総 経	220,582	1,190,170
	観 光	66,550	553,505
人間健康	栄 養	7,353	94,757
	スポーツ	203,727	576,179
教 育	学校教育	99,453	1,124,050
短 大	商 学	57,542	524,809
	経 情	34,281	284,872
合計		5,708,029	

職員図書費	62,448
-------	--------

## (2) 図書・研究資料検索等

他機関からの資料取り寄せ等実績

文献依頼	相互貸借 (借受)	相互貸借 (貸出)	紹介状発行
94	13	5	0

## (g) 総務的業務・他機関との連携

## (1) 調査等への回答

5月31日(金): 日本図書館協会・図書館調査票提出

10月10日(木): 朝日新聞出版社「大学ランキング」調査回答(Web)

12月25日(火): 文部科学省2019年度(令和元年)学術情報基盤実態調査—大学図書館編—回答

## (2) 規程類整備

「松本大学図書館文献複写規程」改訂。2019年7月23日から施行。

## (3) その他

長野県図書館協会副会長(館長)

## (h) 職員研修

## (1) 学外研修

6月22日(土): 追手門学院大学・新図書館会館記念セミナー 大阪府茨木市 課長出席

8月29日(木): 2019年度 私立大学図書館協会総会 帝京大学八王子キャンパス 課長出席

9月12日(木): 長野県図書館協会大学専門図書館部会夏期研修会 東京(日本女子大学図書館、東洋文庫ミュージアムの見学)

8月2日(金): 令和元年度全国書誌データ・レファレンス共同データサービス利活用研修会 東京(国立国会図書館東京本館)

11月9日(土): 第69回長野県図書館大会 東御市(東部中学校)

11月14日(木)：第21回図書館総合展(神奈川パシフィコ横浜)課長出席

3月19日(木)：長野県図書館協会大学専門図書館部会研究会 長野市(清泉女学院大学長野駅東口キャンパス図書館)※中止

## (i) その他

「松本大学古本募金」プロジェクトへの協力

中学校職場体験学習：7月25日(木)～26日(金)梓川中学校2年生2名

11月13日(水)～14日(木)筑摩野中学校2年生2名

## (7) 国際交流センター運営委員会

### (a) 委員会開催

#### ①全学国際交流センター運営委員会

4月18日 第1回 議題：留学生前期授業料減免、3大学とのMOU締結等

5月23日 第2回 東新大学3+1プログラムにおける課題整理等

6月13日 第3回 東新大学3+1プログラムMOU(案)内容確認等

8月1日 第4回 嶺南師範学院とのMOU締結等

9月19日 第5回 留学生後期授業料減免、留学奨学金募集、村瀬組寄付金等

10月24日 第6回 運営規程整備、交換留学生歓迎会等

11月28日 第7回 同窓会奨学金、学長との留学生懇談会等

12月19日 第8回 留学生チューター制度創設等

1月23日 第9回 留学生チューター制度、非常勤職員採用等

2月6日 第10回 新型コロナウイルスによる留学生対応等

#### ②短大国際交流委員会

4月4日 第1回 議題：アベリストウイス大学とのMOU締結等

7月12日 第2回 オーストラリアン・カソリック大学とのMOU締結等

7月31日 第3回 嶺南師範学院とのMOU締結等

9月12日 第4回 義手大学交換留学生来日等

10月18日 第5回 留学生スピーチコンテスト、作文コンテスト参加等

11月22日 第6回 留学生支援総合型選抜廃止、留学生支援型奨学金創設等

12月20日 第7回 ウインタープログラムへの嶺南師範学院学生参加等

1月24日 第8回 共通科目「海外事情」での義手大学教員講義実施等

2月13日 第9回 新型コロナウイルスによる留学生対応等

### (b) 事業・活動

4月3日 交換留学生オリエンテーション(中国嶺南師範学院5名、韓国東新大学2名、計7名)

4月5日 交換留学生花見会

4月16日 私費留学生授業料減免面接 2名(矢崎センター長、田開委員)

4月19日 松本市留学生応援ファミリーの会総会(関澤国際交流センター係長、留学生1名)

4月22日 東新大学(韓国)来訪(安国際交流センター長、柳副教授) 3+1プログラム打ち合わせ

5月10日 留学生歓迎会(松花)

6月5日 義守大学(台湾)来訪(学長、李教授) 学長記念講義

6月7日 留学生交流会

6月20日・21日 醒吾科技大学視察(台湾)(矢崎センター長、関澤係長)

7月9日 私費留学生授業料減免面接

7月10日 東新大学 学生就職プログラム覚書締結式(東新大学総長、安国際交流センター長、柳日本

語学科教授、チョウ国際交流センター担当)

- 7月13日 松本市留学生スピーチコンテスト 1位、2位、3位、特別賞2名 受賞
- 7月15日～8月9日 パルドゥビツェ大学修復学部生2名 日本研修受け入れ(京都、奈良、福井、松本)
- 8月6日 留学生上高地フィールドトリップ13名参加
- 9月9日・10日 義守大学交換留学生受け入れ(成田空港台風災害対応)
- 9月11日・12日 留学生フィールドトリップ12名参加(江ノ島、鎌倉、東京)
- 9月21日 醒吾科技大学 呂教授来訪
- 10月10日 長野県日中友好協会講演会(長野市/関澤係長参加)
- 11月29日 第30回 松本東ロータリークラブ 留学生による日本語スピーチコンテスト 2位、入賞1名
- 12月12日 交換留学生帰国オリエンテーション
- 12月14日 松本ワイズメンズクラブ 第21回アジア賞授与式 梅風閣(青木国際交流センター運営委員代表出席)優秀賞2名、佳作3名 受賞
- 1月10日 波田国際寮インターネット Wi-Fi増設工事
- 1月14日・15日 東新大学来訪(チョン基礎学習学部長、柳日本語学科教授)
- 1月22日 留学生事業説明会(東京国際交流会館/関澤係長出席)
- 1月25日 松本市日中友好協会春節祝いの会 留学生5名参加(松本市勤労福祉センター/関澤係長代理出席)
- 1月31日 留学生思い出報告会 26名参加(送別会25名参加)
- 2月3日～14日 ウィンタープログラム ※新型コロナウイルス影響により中止
- 2月7日 留学生フィールドトリップ8名参加(地獄谷野猿公苑、善光寺)
- 2月12日 留学生スキー・スノーボード教室6名参加(富士見パノラマスキー場)
- 2月13日 松本空港国際化特別顧問恵碯氏、シンガポール教育業者来訪
- 2月20日 松本大学同窓会海外研修支援金贈呈式(同窓会役員、学生10名参加/対象者25名)
- 3月17日 東洋観光事業(株)小林社長、経営企画室課長来訪(等々力・増尾副学長、矢崎国際交流センター長、関澤係長対応)
- 3月23日 村瀬組海外留学奨学金贈呈式(村瀬社長、矢崎国際交流センター長、学生2名参加/対象者5名)

## B：学生支援

### (1) 全学学生委員会

#### (a) 委員会開催

##### ①全学学生委員会

- 4月23日 クラブサポーター、大学祭について等
- 6月6日 日本学生支援機構奨学金採用について、同好会結成について等
- 8月1日 経済状況悪化等に伴う修学困難な学生への支援について等
- 9月26日 スポーツ特待資格継続、大学祭、学長賞選出について等
- 11月14日 台風19号災害被災状況について、高等教育の修学支援新制度について等
- 12月13日 台風19号災害被災学生対応について
- 1月30日 経済状況悪化等に伴う修学困難な学生への支援制度について、災害被災学生支援規程の見直しについて等
- 3月9日 スポーツ特待資格継続について、クラブ・サークル部長委嘱について等

##### ②学生委員会短大部会

- 4月17日 学友会局員決めについて、薬物防止講習・交通安全講習実施について等
- 6月5日 夏季体育大会について、FD・SDアンケートについて等
- 7月24日 夏季体育大会反省、湘北短大リーダーズキャンプ、リーダー研修会について等

- 10月2日 リーダー研修会開催報告、大学祭について等
- 11月13日 秋季体育大会、学友会改選の日程、湘北短大との交流会について等
- 3月17日 自己点検・評価作成、今後の学友会について等

### ③大学祭実行委員会

- 6月11日 テーマ、学祭の方針説明、主な企画内容について等
- 9月9日 大学祭活動報告会
- 10月5日 進捗状況確認、模擬店、レンタル品のルールについて等

## (b) 事業・活動

- 4月2日 新入生オリエンテーション
- 4月3日 ウェルカムパーティー(全学)、短期大学部新入生歓迎会、短期大学部学友会、学生大会(1年生)、松本大学学生ガイドブック「START!!」発行
- 4月8日 日本学生支援機構定期採用者向け説明会(～10日)
- 4月9日 短期大学部2年学生大会
- 4月10日 トレーニングルーム講習会(18日・22日)
- 4月18日 日本学生支援機構奨学金予約採用者スカラネット入力説明会(～23日)
- 4月24日 学部学友会学生大会
- 5月3日 松本子どもまつり参加
- 5月14日 短期大学部交通安全講話(1年生)
- 5月16日 日本学生支援機構奨学金定期採用者スカラネット入力説明会(～21日)
- 5月25日 人間健康学部フレッシュマンフェスティバル
- 5月29日 日本学生支援機構奨学金定期採用者面接(～6月4日)
- 5月28日 短期大学部薬物防止講習会(1年生)
- 6月12日 日本学生支援機構奨学金予約採用者返還誓約書説明会(～18日)
- 6月12日 短期大学部1年学友会役員決め
- 6月25日 学友会レクリエーション大会
- 6月29日 短期大学部夏季体育大会
- 7月9日 学友会バーベキュー&花火大会
- 7月24日 日本学生支援機構奨学金定期採用者返還誓約書説明会(～25日)
- 7月29日 学友会新聞「Page1」Vol.13(通巻116号)発行
- 8月3日 松本ほんぼん参加
- 8月21日 湘北短期大学リーダーズキャンプ(～22日)
- 8月27日 第21期経済状況悪化に伴う修学困難な学生への支援制度最終面接
- 9月18日 短期大学部リーダー研修会(～19日)
- 9月25日 学校教育学科1年生薬物防止講習会
- 10月11日 大学祭準備、前夜祭 ※台風19号接近のため中止
- 10月12日 第53回大学祭「梓乃森祭」(～13日) ※台風19号接近のため中止
- 10月25日 健康栄養学科1年生薬物防止講習会
- 10月31日 ハロウィーンパーティー
- 11月19日 日本学生支援機構奨学金返還説明会(～21日)
- 11月19日 学友会焼き芋大会
- 11月26日 短期大学部秋季体育大会
- 11月26日 総合経営学部1年生薬物防止講習会
- 12月3日 3学部合同レクリエーション大会
- 12月11日 スポーツ健康学科1年生薬物防止講習会



- 12月14日 短期大学部学友会引継ぎ会及び湘北短期大学との交流会
- 12月16日 学友会クリスマスパーティー
- 12月23日 ミニ大学祭
- 12月25日 学友会新聞「Page1」Vol.14(通巻117号)発行
- 1月14日 日本学生支援機構奨学金適格認定(継続願)手続説明会(～21日)
- 1月28日 短期大学部学生大会(2年生)
- 1月29日 短期大学部学生大会(1年生)
- 2月7日 4学部合同次年度学友会引継ぎ会
- 2月21日 スノーボード教室
- 3月13日 短大部卒業文集「学友」、総合経営学部卒業文集「モントレゾール」、人間健康学部卒業文集「SKY」発行
- 3月16日 第22期経済状況悪化に伴う修学困難な学生への支援制度最終面接

### (c) 対外的活動

- 3月7日 松本子どもまつり実行委員会出席
- 4月11日 松本子どもまつり実行委員会出席
- 4月16日 第1回高等教育コンソーシアム信州推進会議出席
- 5月10日 あたらしの郷協議会総会出席
- 5月30日 松本子どもまつり実行委員会出席
- 6月13日 長野県将来世代応援県民会議出席
- 6月19日 第2回高等教育コンソーシアム信州推進会議出席
- 7月12日 街を花いっぱいにする会総会出席
- 7月18日 松本ぼんぼん連長会議出席
- 9月1日 新村運動会参加
- 10月16日 第3回高等教育コンソーシアム信州推進会議出席
- 11月2日 新村文化祭(～3日)参加
- 12月18日 第4回高等教育コンソーシアム信州推進会議出席
- 2月19日 第5回高等教育コンソーシアム信州推進会議出席

## (2) 全学就職委員会

### (a) 委員会開催

#### ①5月30日(木)

- ・企業訪問の状況が各学部へ伝わりにくいことを踏まえ、委員会において情報共有を図りたいとする案が示され、審議の結果承認された。目的は情報共有や各学部の事情に応じた対策等の議論に結び付けることであり、後期からを目処に実施することとした。
- ・2020年3月19日開催予定の学内合同企業説明会について、入試日程が重複することから前日の3月18日とする案が示され、審議の結果承認された。
- ・「3+1方策」(韓国大学生が3年次以降に日本の大学に留学し、日本での就職に繋げる方策)に基づき、実際の受入れが始まった際には、必要に応じて単発のガイダンスを開催する可能性があることが報告された。
- ・今年度のキャリア教育関連科目の講義計画、および就職支援ガイダンスの予定が報告された。また、昨年度から検討が始まった就職支援とキャリア教育の区分について、各学部において更に議論を進めてほしいことが要請された。
- ・2018年度のキャリア面談事業に関わるアンケート結果が報告された。

#### ②7月16日(火)

- ・面接・添削指導をはじめとする、キャリアセンターにおける3月以降の学生対応状況が報告された。
  - ・進路決定カード未提出の学生を対象とするキャリア面談の予定が報告された。
  - ・10月19日(土)開催予定の保護者就職説明会(学部3年生保護者対象)の予定が報告された。
  - ・11月30日(土)短大1年生保護者を対象とする、保護者就職説明会が開催予定であることが報告された。
  - ・夏季就職合宿(学部3年生対象)のプログラム案と共に、2コース合計108名の学生が参加予定であることが報告された。
  - ・前回の委員会で企業訪問の状況を共有することが決まったことを踏まえ、直近の企業訪問ならびに来訪企業の状況が報告された。また、訪問企業と来訪企業の双方に、就職実績を追記する要望が挙げられた。また、企業訪問先の要望等については今後検討することとした。
  - ・関東経済産業局における「地域中小企業・小規模事業者の人材確保支援等事業」の概要が報告された。今年度から本学も参加することになり、事業のひとつとして「中小企業等に対する外国人材の確保支援」があるため、信州大学の取り組みも参考にしながら、本学の留学生支援に結び付けたいことが報告された。
- ③10月2日(水)
- ・外国人留学生の国内企業や地元企業への就職拡大を目的とし、信州大学と金沢大学が中心になって実施している「かがやき・つなぐ北陸・信州留学生就職促進コンソーシアム」の概要が示された。審議の結果、就職委員会として入会に賛成することとなり、全学運営会議に上程することとした。
  - ・次年度以降、健康診断書の記載事項から性別や既往症等が省略される予定であることが報告された。他大学でも同様の流れである一方で、採用側に少なからず影響を与える可能性があることから、今後の状況や影響を慎重に見守ることとした。
  - ・今年度の訪問企業および来訪企業の状況が報告された。状況報告を踏まえて、次年度以降の運用を検討することとした。また、病院など新規開拓を目的とした企業訪問の必要性について意見が挙げられた。引き続き各学部からの要望を集約し、実情を踏まえた上で今後の対策を検討することとした。
  - ・10月19日(土)に開催する学部保護者就職説明会のプログラム案が示された。また、現時点までの参加申込者数と併せて、今回初めて開催する教育学部のプログラムが報告された。また、短大保護者就職説明会が11月30日(土)に開催予定であることが報告された。
  - ・10月～1月にかけて開催する企業・業界研究勉強会の概要、および学生への告知・申込スケジュールが報告された。
  - ・進路未決定者を対象に開催を予定している、ヤングハローワーク共催の就職活動支援講座日程が報告された。例年参加人数が少ないため、学生へ積極的な参加を促すことが要請された。
- ④12月3日(火)
- ・2020年度年間予定案に基づき説明がなされ、今後各学部の部会で意見を集約し、次回の全学就職委員会での決定に向けて継続審議とした。
  - ・今年度の企業訪問および来訪企業の状況が報告された。各学部において共有を図り、キャリアセンターで意見を集約することとした。その上で、企業訪問をはじめとする対外的な取り組みを来年度以降より充実したものにすることを目指し、4月を目処に方針を示すこととした。
  - ・企業・業界研究勉強会の参加状況が報告された。
  - ・12月24日・25日に実施される就職対策講座の参加申し込み状況が報告された。
  - ・資料に基づき、各学部の就職内定状況が報告された。
- ⑤1月7日(火)
- ・次年度の年間予定案に基づく各学部からの意見を踏まえ、特に9月の就職対策講座について懸案事項の対応策が説明された。具体的にはこれまでの宿泊を伴う選抜型から学内で行う全員参加型に変更するが、対策講座前の段階からキャリア支援科目を通じて履歴書作成準備等を実施することによって、プログラムの充実を図ることが報告された。また、変更に伴う関係各署への影響をできるだけ抑えるため、対応に努めることが併せて報告された。以上を前提に、2020年度年間予定案が承認された。
  - ・リクナビDMPフォローの問題に関して、課題および再発防止策等一連の調査報告が完了したことが

報告された。学生向けのサービスは変更がないことが併せて報告されると共に、今後学内において登録作業ははじめ従来通りリクナビを活用することが提起され、審議の結果承認された。

- ・今年度の企業訪問および来訪企業の状況が報告された。来年度以降の企業訪問について情報提供や意見・要望等をまとめて、3月中を目処にキャリアセンターへ報告し集約することとした。
- ・今年度実施した企業・業界研究勉強会について、申請・参加状況のほか無断欠席が懸念されること、来年度の課題等が報告された。
- ・12月24日・25日に実施した就職対策講座の参加状況が報告された。教職希望者対象の面接グループや先輩学生ブースを設け有効だったことなどが併せて報告された。
- ・学内合同企業説明会について、2月27日・28日の参加企業および3月18日の予定が報告された。
- ・2020年3月卒業予定者について、各学部の内定状況が報告された。
- ・昨年の学内合同企業説明会参加企業を対象に実施した卒業生アンケートの結果に基づき、本学学生の特徴が客観的に把握できることや、本学理念である地域貢献の姿勢が多く企業に浸透していることなどが報告された。一方で、対象学生を明確にすることや評価項目等を改善し、より有効なアンケートにするための反省点が挙げられた。
- ・企業訪問と連動させ、卒業生の把握や求人開拓に繋げるための方策等について意見交換を行った。
- ・2021年卒の学生を対象とする求人依頼を実施したことが報告された。
- ・2月以降に開催する学内単独企業説明会の概要が報告された。

#### ⑥2月18日(火)

- ・2021年度の年間予定案が示された。来年度初めて行う行事があるほか、採用の早期化に伴い保護者就職説明会などの時期を調整する必要があることから、各行事を計画・実施する中で意見や要望を集約し、2021年度年間予定案を適宜修正することとした。
- ・2019年度当初に課題として挙げられた、(1)各学部のニーズを踏まえた企業訪問と教職員との情報共有、(2)留学生の就職支援、(3)就職支援とキャリア教育の区分の3点について進捗状況等が報告された。臨地実習先の訪問を兼ねた病院訪問では、教職員が様々な状況を共有する機会となったことが報告された。来年度に向けた課題にも触れた上で、意見があれば挙げるよう要請がなされた。
- ・学部生対象のキャリアデザインⅡ(前期)および就職支援ガイダンス(後期)のスケジュールが報告された。採用の早期化に伴う各企業のインターンシップにも対応するため、これまで後期に行っていた自己分析・企業研究等の内容を前期にも盛り込むなどの説明がなされた。
- ・短大生対象の採用試験状況報告書をはじめとする各種様式、および就職試験受験届の提出プロセスが報告された。学部生対象の採用試験状況報告書の様式についても併せて報告された。
- ・2月27日(木)・28日(金)に開催する第1回学内合同企業説明会の概要が報告された。併せて第2回および第3回学内合同企業説明会の予定が報告された。
- ・各学部の就職内定状況が報告された。
- ・2020年3月卒業予定者対象に実施した、キャリア支援等に関するアンケート結果が報告された。民間企業のエントリー数、受験数共に低調ながら進路決定に結びついている状況が報告された。
- ・今後の各種行事の実施に際し、感染症対策として参加者に対する注意喚起や主催者側の対応などについて確認した。

#### ⑦3月4日(水)

- ・新型コロナウイルス感染症拡大により、学内合同企業説明会の直前に行われる説明会や、短大生対象の就活準備を目的とした集中講義が中止となったことを踏まえ、別途学生に対面で就活支援する機会を設けることを感染症対策本部に上申する予定であることが説明され、審議の結果承認された。許可された場合は各学部の意向を踏まえて検討して欲しいことが要請された。
- ・今後予定している学内合同企業説明会は5月30日のみであるが、2月17日・18日および3月18日の計3日分の学内合同企業説明会が中止になったことから、追加開催の必要性について意見交換を行った。審議の結果、可能な限り4~5月にかけて1日追加開催を検討することとした。

- ・新型コロナウイルス感染症対策本部会議の方針に基づく、本学の感染症対応について説明がなされた。
- ・新入生キャリア面談の延期措置について報告がなされた。3月上旬実施分は3月下旬に延期するほか、年度内に実施できなかった新入生については、4月以降に改めて実施予定とすることが報告された。なお、今後の状況によって、臨機応変な対応が必要となる可能性がある。
- ・学外で開催される合同企業説明会の中止状況について報告がなされた。
- ・個別の企業について、新型コロナウイルス感染症への対応状況の報告がなされた。
- ・キャリアセンターにおける、新型コロナウイルス感染症への対応が説明された。(1)中止となった第2回学内合同企業説明会の冊子、および参加を予定していた企業のパンフレットをキャリアセンターで設置配布を行う。(2)学内単独企業説明会をはじめ、メソフィアを通じて就活支援に関する情報提供を引き続き行う。また、松本大学求人NAVIを通じて求人情報を提供するほか、定期的に求人情報を学生および教員へ提供する。(3)WEBでの企業説明会、面接試験等が増加していることから、キャリアセンターにWEB就活ブースを設置する。
- ・上記をはじめとする就活支援対策について、キャリアセンターだけでなくゼミ(クラス)担当教員からも学生に情報提供を行うことや、学内単独企業説明会への参加促進依頼を行うこととした。また、各学部に応じた就活支援・対応等についても検討することが要請された。
- ・スカウト／オファー型就職支援サイトが紹介された。キャリア教育や個別の就職活動支援に活かせる可能性が高く、学生への情報提供を今後検討することとした。
- ・求職カード未提出の学生は各種証明書の発行不可のため、未提出者に対する指導を行うことを確認した。また、感染症拡大の影響により健康診断が実施できない可能性があり、その場合には企業側に理解いただく対応が必要になることなどについて議論がなされた。

## (b) 事業活動

- ①年度内の求人受理事業所数(12,392)
- ②学内合同企業説明会の開催(2019年5月11日、8月6日) ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、2020年2月27日・28日、および3月18日は中止とした。
- ③保護者就職説明会の開催(学部2・3年生保護者向け：2019年10月19日、短大1年生保護者向け：2019年11月30日)
- ④キャリア面談の実施(学部2年生対象：2019年5月～6月、学部4年生・短大2年生対象：2019年8月～9月、学部3年生・短大1年生対象：2020年2月)※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、新入生対象は中止とした。
- ⑤インターンシップ参加支援(松本大学インターンシップ事業 参加学生総数42名、信州産学官インターンシップ 参加学生総数4名)
- ⑥学内企業単独説明の開催(計41回)
- ⑦学生向け各種支援講座の開催(夏季就職合宿、企業・業界研究勉強会、就職対策講座集中セミナー、就職対策講座直前セミナー、自己PR作成講座)

## (c) 各学部の部会開催

- ①総合経営学部……2019年6月13日(木)、12月5日(木)
- ②人間健康学部……2019年4月5日(金)、5月8日(水)、6月5日(水)、7月3日(水)、8月28日(水)、9月25日(水)、11月6日(水)、12月4日(水)、2020年1月8日(水)、2月19日(水)
- ③教育学部……2019年4月5日(金)、5月14日(火)、6月11日(火)、7月9日(火)、9月3日(火)、10月2日(水)、11月6日(水)、12月4日(水)、2020年1月8日(水)、2月20日(木)
- ④松商短期大学部…2019年4月17日(水)、5月15日(水)、6月12日(水)、7月10日(水)、7月31日(水)、10月3日(木)、11月14日(木)、12月11日(水)、2020年1月15日(水)

## 2. 研究推進管理部門

### (1) 研究推進委員会

#### (a) 委員会開催

2019年4月24日(水) (第1回)

[審議事項]

##### ①教育学部からの出版申請について

教育学部川島(一)教授より提出された出版申込書・計画書に基づいて説明がなされ、審議の結果、異議なく承認された。また、昨年度申請のあった教育学部秋田真准教授の出版申し込みについては、科研費補助金による出版が不採択となったことから、昨年度の審議結果に従って、本年度出版することを確認した。ただし、出版申込書・計画書の日付が昨年度のものとなっているため、日付を今年度にしたものを再提出していただく。

##### ②地域総合研究第20号編集責任者について

地域総合研究第20号の編集責任者として、総合経営学部増尾均教授が推薦され、異議なく承認された。

##### ③特許権の移譲について

大学院健康科学研究科弘田量二教授が、前任校の高知大学で取得した特許について、高知大学から弘田教授個人への譲渡希望が出されていることについての問い合わせがあったことが、資料に基づいて説明された。質疑の結果、高知大学から弘田教授への特許譲渡を認めることとした。

[報告事項]

##### ①地域総合研究第20号の執筆申込み状況について

添付資料に基づいて、現時点での申し込み状況の説明があり、今後編集責任者の増尾均教授を中心に査読者を決めていく旨の報告がなされた。

##### ②私学事業団特別補助「大学間連携等による共同研究」の募集について

私学事業団特別補助「大学間連携等による共同研究」に関して、例年通り募集を行うことが報告された。

2019年5月29日(水) (第2回)

[審議事項]

##### ①大学院健康科学研究科河野史倫准教授の助成金申請について

大学院健康科学研究科所属の河野准教授による日本医療研究開発機構(AMED)への研究テーマ申請について、採択決定時には大学とAMEDとの間で委託研究開発契約の締結が必要となるため、申請に係る承認が必要であるとの提案がなされた。申請期限が5月28日(火)であったため、提出された研究開発提案書を通読し、その内容について特に問題がないことを確認し、委員長の専決扱いとして申請手続きを終了した。事後となるが機関承認をお願いしたい旨提案され、審議の結果意義無く承認された。

##### ②松本大学出版会からの出版申請について

教育学部秋田真准教授の出版申し込みについては、科研費補助金による出版が不採択となったことから、昨年度の審議結果に従って、本年度の出版を認めるものとした。

東日本震災災害支援プロジェクトによる出版申し込みについては、昨年度の出版ができなかったため本年度の出版に向けて改めて申請がなされた。

人間健康学部(教職センター)山崎保寿教授から、新規の申請が提出された。

##### ③私学事業団特別補助「大学間連携等による共同研究」の募集について

募集要領については6月7日開催の補助金説明会において示されるが、本学においては6月教授会で周知し、募集を開始したいため事前に申請様式等について審議をお願いしたい旨の説明がなされた。審議の結果、意義無く承認された。なお、募集要領に大きな変更が生じた場合は、改めて本委員会において審議を行う。

[報告事項]

##### ①長野県農政部からの業務委託について

長野県農政部より、信州の伝統野菜を広くアピールする施策を展開するにあたり、成分分析等の業務

委託があり、健康栄養学科が担当することとなった。委託契約等の手続きは今後進めることになる。なお、業務委託費は100万円程度を見込んでいる。

### 2019年6月26日(水) (第3回)

#### 〔審議事項〕

#### ①私学事業団特別補助「大学間連携等による共同研究」への申請案件について

審議に先立ち、申請条件の確認が行われ、引き続き、2件の申請内容について審議がなされた。以下に申請のあった2件の詳細を示す。

##### i) 申請者：山田一哉

共同研究機関：大阪大谷大学薬学部

テーマ：AICARによるインスリン誘導性転写因子遺伝子の発現誘導機構の解析

申請書の内容について審議がなされ、異議なく承認された。これによりこの取組を私学事業団に対する本年度の私立大学等経常費補助金特別補助申請に加えることになる。

##### ii) 申請者：守 一雄

共同研究機関：愛知大学文学部

テーマ：共同目撃者間の話し合いによって同調が生じる要因の解析のための国際比較研究

申請書に内容について審議がなされた。その中で、外部研究者招聘等に係る旅費交通費について、共同研究との観点から双方で負担すべきとの意見が出された。審議の結果、旅費交通費を修正した申請書を再提出の後、改めて委員会において審議を行うこととした。

#### 〔報告事項〕

#### ①研究費管理・研究倫理等に関するチェックリストの提出について

科研費等の競争的資金を中心とした公募型の研究資金の配分を受ける研究機関は、「公的研究費の管理・監査のガイドライン」に基づく『体制整備等自己評価チェックリスト』および「研究活動における不正行為への対応等に関するガイドライン」に基づく『取組状況に係るチェックリスト』の提出が求められている。それぞれのチェックリストについて、6月3日(月)に提出した旨の報告があった。

### 2019年7月31日(水) (第4回)

#### 〔審議事項〕

#### ①私学事業団特別補助「大学間連携等による共同研究」への申請案件について

以下の2件について審議を行った。

##### i) 再審議

申請者：守 一雄

共同研究機関：愛知大学文学部

テーマ：共同目撃者間の話し合いによって同調が生じる要因の解析のための国際比較研究

前回の委員会審議結果を踏まえ、経費のうち旅費交通費の割合を修正された申請書について再審議を行った。審議の結果、異議なく承認された。

##### ii) 新規審議

申請者：沖嶋直子

共同研究機関：長野県立こども病院、小林耳鼻咽喉科医院

テーマ：リンゴPFASアレルゲンMal d1の定量およびMal d1低発現リンゴの経口負荷試験

申請書内容の説明後、審議がなされ、異議なく承認された。

これにより、上記2件の取組みを私学事業団に対する本年度の私立大学等経常費補助金特別補助申請に加えることとした。なお、当該申請が承認されたため、学内研究費ルール「1人1件」に基づき、学内研究助成費は辞退となる。

#### 〔報告事項〕

#### ①松本大学出版会書籍のamazonでの取り扱いについて

木藤委員長より、本出版会で出版した書籍をamazonで取り扱うことについて、先般先方より依頼があっ

たことが報告された。先方の都合ではあるが、回答までの日程が短かったため、全学運営会議で取り扱いを認めることが承認されており、事後とはなるが本会において承認いただきたい旨の報告がなされ、審議の結果、異議なく承認された。

進捗状況は、7月19日に比較的新しく出版された21タイトルを登録、7月29日時点で1タイトルを追加し、全22タイトルとなっている。

②松本大学出版会在庫図書の公益財団法人日本科学協会への提供について

木藤委員長より、資料に基づいて説明がなされた。本会での出版図書については多くの在庫がある状況である。先般、日本科学協会から中国へ図書を寄贈する事業を行っていることについて照会があった。本学から寄贈可能な書籍のリストを提供し、協会が中国の教育機関等に希望を募って寄贈するものである。費用は協会が負担するため本学の負担はない。

審議の結果、異議なく承認された。

2019年10月23日(水) (第5回)

[審議事項]

①個人研究費と研究助成費の2019年度補正予算・2020年度予算申請について

i) 予算申請に係るスケジュールについて

学内研究費に係る2019年度補正予算申請および2020年度予算申請等に係る日程について提案がなされ、審議の結果、原案について異議なく承認された。

今後のスケジュールについては、2019年11月1日付で全専任教員に案内通知を行うとともに、各学部教授会で報告を行う。

ii) 新任教員に対する研究助成費について

新任教員に対する研究助成費については、研究室セットアップ等に伴う経費として、従来通り、一人あたり30万円を予算計上することを承認した。

②学内研究費取扱要項について

研究助成費における研究旅費の取り扱いについて、現在、学内研究費取扱要項による研究旅費の取り扱いについては、個人研究費のみ上限が定められているが、研究助成費ではその定めがない。

個人研究費と同様に制限するのか、研究助成費が個人研究費の「加配」である点を考慮し制限しないのか、明文化の必要があると提案がなされた。

数名の委員より、委員会において研究計画を審査・査定を行う過程で、その内容が妥当ならば認めてもよいのではないかと意見が出され、審議の結果、取扱要項の該当箇所を、「個人研究費及び研究助成費での旅費の支出は原則として50%以内とする。50%を超える場合には、個人研究費については研究科長・学部長・学科長の承認を、研究助成費については研究推進委員会の承認を、それぞれ受けること。」と修正加筆を行うことで承認された。

2020年2月26日(水) (第6回)

[審議事項]

①公的研究費の管理・監査のガイドラインに基づく誓約書について

資料に基づいて説明がなされ、審議の結果、職名表記を変更することで承認された。

なお、誓約書等については、4月1日開催の合同教授会において配付、説明し、提出を依頼する。

②2020年度研究助成費について

木藤委員長より、学長・大学委員長による査定結果を踏まえた研究助成費の委員会案の提案がなされ、審議の結果、異議なく承認された。

なお、教育学部・守一雄教授の研究助成費について、私学事業団特別補助対象となった場合の取扱いについては、木藤委員長に一任することで了承された。

これらの結果を受け、申請者には修正申請書の提出を依頼する。

[報告事項]

①科学研究費助成事業(科研費)への申請について

科学研究費助成事業(科研費)への申請数を増やすため、各学部教授会において、積極的な申請を呼び掛ける。

## (b) 事業・活動

- ・2019年度個人研究費・研究助成費の募集、査定、査定結果の通知
- ・第8回松本大学教員研究発表会開催

2020年2月26日(水)・27日(木)の2日にわたり、第8回教員研究発表会を開催した。大学では、学術研究助成、地域志向研究助成、教育推進研究助成、萌芽的研究助成の区分に加え大学間連携による共同研究に対する助成を行っているが、それらの成果として、34演題の発表があった。昨年度の発表数は特に多かったため、今年度は10演題以上の減少となったが、より活発な研究活動と成果報告を支援していきたい。また、タイムキーパーなど会場運営は、例年通り松本市地域づくりインターンシップ戦略事業に参加している地域総合研究センター特別調査・研究員(本学卒業生)に依頼し、スムーズな運営を行っていただいた。

## 1) 研究誌編集

### (a) 担当者会議開催

2019年4月24日(水)

- ・地域総合研究第20号の編集責任者として、総合経営学部増尾均教授が推薦され、異議なく承認された。また、地域総合研究第20号の執筆意向調査では、4月18日現在14件の執筆意向が寄せられている。

## b) 事業・活動

### ①「地域総合研究第20号 Part1」(編集責任者 増尾均)、2019年7月31日発行

第1部の松本大学地域総合研究センター研究員報告では、論文5編、研究ノート2編、調査・事例報告1編、教育実践報告2編の合計10編を掲載した。さらに、第2部として2018年度に行われた国土交通省、道の駅「中条」との連携企画、2018年度松川村観光振興策の提案、池田町のハーブを活かした商品開発と地域ブランド創出等の受託事業・教育事業報告を掲載した。さらに、地域総合研究センター特別調査・研究員活動報告として、7件の松本市地域づくりインターンの報告書も掲載した。

「地域総合研究第20号 Part2」は、松本大学アニュアルレポートとして2019年10月18日に発行された。発行者は、松本大学・松本大学松商短期大学部学長 住吉廣行と松本大学地域総合研究センター運営委員長 室谷心である。

### ②「教育総合研究」第3号(編集責任者 守一雄)、2019年11月30日発行

論文7編、研究ノート1編、調査・事例報告1編、教育実践報告1編、資料1編の合計11編を掲載した。

### ③「松本大学研究紀要第18号」(編集責任者 尻無浜博幸)、2020年3月10日発行

論文7編、研究ノート2編、教育実践報告2編、資料1編の合計12編を掲載した。

## 2) 松本大学出版会

### (a) 担当者会議開催

2019年4月24日(水)

- ・教育学部川島(一)教授より提出された出版申込書・計画書に基づいて説明がなされ、審議の結果、異議なく承認された。

2019年5月29日(水)

[審議事項]

- ・科研費補助金による出版が不採択となったことから、教育学部秋田真准教授より再度出版申し込みがあり、昨年度の申し合わせ通り本年度出版することを確認した。
- ・人間健康学部(教職センター)山崎保寿教授から、新規の申請が提出された。

2019年7月31日(水)



## 〔報告事項〕

- ・松本大学出版会で出版した書籍をamazonで取り扱うことについて、依頼があったことが報告された。全学運営会議で取り扱いを認めることが承認されており、事後とはなるが本会において承認いただきたい旨の報告がなされ、審議の結果、異議なく承認された。7月19日に比較的新しく出版された21タイトルを登録、7月29日時点で1タイトルを追加し、全22タイトルがamazonで取り扱われている。
- ・松本大学出版会在庫図書の公益財団法人日本科学協会への提供について、資料に基づいて説明がなされた。中国へ図書を寄贈する事業を行っている日本科学協会から照会があり、本会出版物に在庫があることから、本学から寄贈可能な書籍のリストを提供し、協会が中国の教育機関等に希望を募って寄贈することとした。費用は協会が負担するため本学の負担はない。

## (b) 事業・活動

- ・既存の書籍についての販売、在庫管理等を行った。
- ・以下の2点の出版を行った。

## i) 「あずさの森のピタゴラス」

著者 松本大学教育学部 編・著

定価 1,600円+(消費税)

本のサイズ A5判、並製本、本文270頁

発行年月日 2019年6月21日

## ii) 「キャリア教育が創出する新たな教育環境」

著者 山崎 保寿

定価 本体2,200円+税

本のサイズ A5判、並製本、本文282頁

発行年月日 2020年4月3日

なお、出版が承認された教育学部秋田真准教授著「小学校社会科における価値判断の授業開発—包摂主義を基軸とした価値類型の有効性—」については、編集に着手したが完成に至らず、来年度の発刊とした。

## 3) 発明管理

2016年8月1日に「松本大学知的財産管理委員会規程」が施行された。本規定の目的は、松本大学及び松本短期大学部(以下本学)の教職員等が創造した発明等の取り扱いに関する基本的事項を規定し、その発明等を行った教職員等の権利を保障すると共に、知的財産権の適正な保護及び活用を図ることにより、本学における学術研究の振興及び社会貢献に寄与するというものである。

これに基づいて、本学における職務発明等に関する事項の審議を、研究推進委員会が担当した。

## (a) 活動

2019年度においても、特に発明の届出は無かった。特許については、人間健康学部水野尚子助手が出願していた、「食事用マットおよび食事シミュレーションツール、食事シミュレーションシステム」の特許証が2019年2月8日に登録され、本学にとって最初の特許取得となった以降、申請がなされていない。今後特許申請数が増えるよう、本学関係者の研究により創造的な成果が得られた際には、申請を行うよう規定の学内周知をはかる必要がある。

## (2) 地域総合研究センター運営委員会

## (a) センター運営部会の構成

運営委員長(センター長) 1名

運営委員 教員 6名(総合経営学部2名、人間健康学部2名、教育学部1名、短期大学部1名)

特別調査・研究員 8名

事務局 8名

## (b) 特別調査研究員

《継続》

3期生：小林克己・中島麻衣・槇石和直・北原保奈美

4期生：奥原芳紀・丸山 隼・正木 輝 以上7名

《新規》

・平林 洸(2018年度 総合経営学部 総合経営学科 卒) 以上1名

## (c) 事業・活動

### (1) 地域との連携事業

#### i) 松本市との提携活動(継続事業)

##### a) 松本市地域づくり研究連絡会

担当：総合経営学部総合経営学科 木村晴壽教授

総合経営学部観光ホスピタリティ学科 白戸 洋教授

・地域づくり市民活動研究集会 2020年2月16日(日)

会場：Mウイング(中央公民館)

##### b) 観光ホスピタリティカレッジ企画・運営(事務局業務)

#### ① 観光ボランティアガイド養成講座

2019年「ガイドスキルアップ講座」(2019年2月～7月 全11講座) 受講者：20名

講師：ココブラ信州／安曇野ふるさとづくり応援団 高松 伸幸氏、宮崎 崇徳氏

※第2講までは2018年度実施のため省略

第3講：4月10日(水) 会場：城北地区、安原地区

内容：フィールドワーク「ガイド実践①コース下見」

第4講：4月24日(水) 会場：あがたの森文化会館

内容：グループワーク「地域資源とその伝え方」

第5講：5月15日(水) 会場：飛騨市神岡町

内容：視察研修「神岡街歩きガイド」

第6講：5月22日(水) 会場：高橋家住宅～十王堂～北門井戸

内容：フィールドワーク「ガイド実践①前半」

第7講：5月29日(水) 会場：北門井戸～うら町～市役所周辺

内容：フィールドワーク「ガイド実践①後半」

第8講：6月12日(水) 会場：中央地区、第2地区

内容：講義「ガイド実践①振り返り」、フィールドワーク「ガイド実践②コース下見」

第9講：6月26日(水) 会場：松本城～深志神社

内容：フィールドワーク「ガイド実践②前半」

第10講：7月3日(水) 会場：源智の井戸～三の丸周辺

内容：フィールドワーク「ガイド実践②後半」

第11講：7月17日(水) 会場：あがたの森文化会館

内容：まとめ、修了式

#### ② 市民公開講座

1) 「語学が苦手でも大丈夫！外国人観光客への素敵なおもてなし」

2019年8月27日(火) 会場：Mウイング 参加人数：86名

講師：馬上 千恵氏(通訳案内士)

2)「『地域食』を学びその魅力を伝えよう～松本の伝統野菜のレシピから～」

2019年11月11日(月) 会場：Mウイング 参加人数：72名

講師：横山 タカ子氏(郷土料理研究家)

3)「スターバックスで学んだ感動体験を生むホスピタリティ」

2020年2月10日(月) 会場：Mウイング 参加人数：93名

講師：目黒 勝道氏(元スターバックスコーヒージャパン組織・人材開発部マネージャー)

③観光事業者専門講座

1)「食のバリアフリー～多様化した食に対応するために～」

2020年2月4日(火) 会場：Mウイング3F大会議室 参加人数：40名

講師：田中 章雄氏(日本フードバリアフリー協会代表理事)

ii)地域づくりインターンシップ戦略事業(2019年度分)

- ・内容：松本市と「地域づくりインターンシップ戦略事業業務委託契約」を締結し、今年度5期生として新たに1名を加え、地域総合研究センター特別調査・研究員8名が松本市内の各地区地域づくりセンターを活動拠点として、地域づくりに関する研究活動等を行った。

- ・特別調査・研究員活動地区

3期生 中島 麻衣：庄内地区担当

榎石 和直：本郷地区担当

北原保奈美：新村地区担当

小林 克紀：寿地区担当

4期生 奥原 芳紀：波田地区担当

丸山 隼：中央地区担当

正木 輝：中央地区担当

5期生 平林 洸：入山辺地区担当

(2)受託事業窓口業務

①2019年度「松川村観光振興支援業務」

相手先機関：松川村

担当：総合経営学部観光ホスピタリティ学科 山根宏文教授

②2019年度キラリ☆アクア健康教室

相手先機関：筑北村

担当：人間健康学部スポーツ健康学科 根本賢一教授

③安曇野市親子プログラミング教室業務委託

相手先機関：安曇野市

担当：総合経営学部総合経営学科 室谷心教授

④生坂村連携・協力協定による活動

- ・生坂村通学合宿

担当：健康科学研究科 廣田直子教授

- ・いくさか歩こう部講師派遣

担当：人間健康学部スポーツ健康学科 田邊愛子准教授

⑤豆乳摂取が女子新体操選手の骨に与える影響について

相手先機関：マルサンアイ

担当：人間健康学部スポーツ健康学科 中島節子講師

⑥6次産業推進にかかわる研究開発業務

相手先機関：有限会社あづみの食品・株式会社まるたか

担当：人間健康学部健康栄養学科 矢内和博准教授

⑦6次産業

相手先機関：齋藤農園

担当：人間健康学部健康栄養学科 矢内和博准教授

⑧健康教室

相手先機関：長野県生活協同組合連合会

担当：人間健康学部スポーツ健康学科 田邊愛子准教授

⑨里山を活用した環境教育プログラムの開発研究

相手先機関：きんたろう倶楽部

担当：総合経営学部観光ホスピタリティ学科 田開寛太郎講師

⑩松本市住民を対象とした野菜料理および卵料理の摂取と健康との関連に関する調査

相手先機関：キューピー株式会社

担当：健康科学研究科 廣田直子教授

⑪健康活動センター「健活セミナー」

相手先機関：長野地区暮らしサポートセンター

担当：人間健康学部スポーツ健康学科 田邊愛子准教授

(3)『地域総合研究第20号』発刊

Part1(7月31日)

Part2(10月18日)

(4)外部研究員2名の活動

①中野和朗 新聞等への投稿活動、キャリアスクールの資料作成

②建石繁明 新聞等への投稿活動

### (3) 研究倫理委員会

#### (a) 委員会開催

2019年4月22日(月)17:00~17:30

(1)委員会では、ヒトを対象とした申請研究が倫理的・法的小および社会的観点から適正に遂行されるための要件を満たしているかを審議することを確認した。

(2)学長が指名する大学院および各学部から選出された教員として河野史倫准教授、尻無浜博幸教授、室谷心教授、弘田量二教授、澤柿教淳准教授、飯塚徹准教授を、研究に関する倫理的および法的事項を総合的に判断するにふさわしい識見を有する者として福島智子教授、増尾均教授を、一般の立場を代表する学外者として瀬川格淳氏(専称寺住職)を委員会構成メンバーとすることを確認した。

(3)下記の3件の申請について審議し、修正後承認することを確認した。

①「弱酸性ポリエステル繊維の抗かゆみ効果をもたらす深い睡眠への評価」

大学院健康科学研究科 弘田量二教授

②「自転車運動を活用した継続的な運動が身体面に及ぼす影響の探索」

大学院健康科学研究科 根本 賢一教授

③「ベッド内環境におよぼす室内環境、寝具の影響調査」

大学院健康科学研究科 弘田量二教授

2019年6月21日(金)メール審議

(1)下記の1件の申請について審議し、東京成徳大学で既に承認済みの計画であることから、追認とすることを確認した。

①「非認知能力とスポーツ競技経験」 大学院健康科学研究科 1年 坂本悠馬

2019年7月3日(水)17:00~17:45

(1)下記の1件の申請について審議し、修正後承認することを確認した。

①「中強度レジスタンストレーニングが中高年者の生理的応答に及ぼす影響」

人間健康学部スポーツ健康学科 山本薫准教授

(2) 申請書式の修正について審議し、次年度に向けて申請書内容を改定することとなった。

#### 2019年7月8日(月)メール審議

(1) 下記の1件の申請について審議し、名城大学で既に承認済みの計画であることから、追認とすることを確認した。

①「21世紀型スキルの形成評価とオンライン国際交流」

非常勤講師 バレラジャスティン

#### 2019年8月2日(金)17:00~17:30

(1) 下記の4件の申請について審議し、①②④は修正後承認、③は修正後再審査することを確認した

①「海外留学が英語学習意欲・英語能力に及ぼす影響2019」

教育学部学校教育学科 和田順一准教授

②「Paraphrasing技法の習得がSpeaking能力に及ぼす影響2019」

教育学部学校教育学科 和田順一准教授

③「リンゴPFAS患者が喫食可能な品種の経口負荷試験による探索」

人間健康学部健康栄養学科 沖嶋直子専任講師

④「一過性のインターバル運動およびトレーニングが若年者の体力や生理指標に及ぼす影響」

人間健康学部スポーツ健康学科 山本薫准教授

#### 2020年1月16日(木)17:00~18:00

(1) 下記の4件の申請について審議し、①は承認、②③は修正後承認、④は修正後再審査することを確認した。

①「高校生の生活・健康格差改善をめざした保健授業における食育の検討」

人間健康学部健康栄養学科 大森恵美助手

②「大学生の運動時ストレスが飲み物摂取により軽減されるか～唾液アミラーゼを用いて～」

人間健康学部健康栄養学科 石澤美代子助手

③「学生アスリートを対象とした心理サポートに関する実態調査」

大学院健康科学研究科 齊藤茂准教授

④「大学生教職履修者を対象とした知的障害者へのスポーツ指導に関する意識調査」

大学院健康科学研究科 齊藤茂准教授

(2) 申請書式の改定案が提示され、審議の結果、異議なく承認された。

### (b) 委員会 事業・活動

特別なものはなし。

## 1) 動物実験

### (a) 担当者会議開催

#### 2019年4月22日(月)17:30~17:45

(1) 担当者会議では、従来通り動物実験の審査を厳格に行うことを確認した

(2) 動物実験等に関して優れた識見を有する者として、河野史倫准教授、弘田量二教授、澤柿教淳准教授、飯塚徹准教授を、倫理等の学識経験を有する者として福島智子教授を、実験動物管理者として塚田晃子助手を委員会構成メンバーとすることを確認した。

(3) 2018年度自己点検・評価報告書について審議し、承認した。

(4) 2018年度動物実験に関する自己点検・評価報告書について、証拠書類として必要な動物実験結果報告書ならびに実験動物の飼養・使用数等報告書を、動物実験責任者から提出された後、委員長の承認後、HPに公表することが確認された。

#### 2020年3月25日(水)11:00~11:20

(1) 下記の4件の申請について審議し、承認することを確認した。

①「ホルモンと栄養素による遺伝子の転写制御機構の解析」

大学院健康科学研究科 山田一哉教授

②「生化学実験(健康栄養学科2年生後期)」

大学院健康科学研究科 山田一哉教授

③「血糖低下作用を示す食品成分のスクリーニングと作用機構の解明」

大学院健康科学研究科 高木勝広教授

④「骨格筋機能を決定する生理的要因とそのメカニズム解明」

大学院健康科学研究科 河野史倫准教授

## (b) 事業・活動

2019年5月22日(水)

- ・動物慰霊祭を開催した。

2019年6月14日(金)

- ・公私立大学実験動物施設協議会総会に河野史倫准教授が参加した。

2019年7月30日(火)

- ・教職員、院生、学部生を対象に第1回教育訓練を実施した。

2019年10月1日(火)

- ・健康栄養学科学部生を対象に第2回教育訓練を実施した。

## 2) 遺伝子組換え実験安全

### (a) 担当者会議開催

2019年4月22日(月)17:45~17:50

- (1)担当者会議では、遺伝子組換え実験が安全に行われるように、遺伝子組換え実験計画および実験施設の審査を厳格に行うこと、および規程等の改訂を行うことを目的とすることを確認した。
- (2)遺伝子組換え実験等に関して識見を有する者として河野史倫准教授、弘田量二教授、澤柿教淳准教授、飯塚徹准教授を、倫理等の学識経験を有する者として福島智子教授を、学長から任命された安全主任者として浅野公介助手を委員会構成メンバーとすることを確認した。
- (3)文部科学省が「ヒト受精卵に遺伝情報改変技術等を用いる研究に関する倫理指針」を制定したことについて報告がなされた。

2020年3月25日(水)11:25~11:40

- (1)下記の6件の申請について審議し、承認した。
  - ①「高炭水化物食による遺伝子発現調節機構の解析」  
大学院健康科学研究科 山田一哉教授
  - ②「系統保存」  
大学院健康科学研究科 木藤伸夫教授
  - ③「血糖低下作用を示す食品成分のスクリーニングと作用機構の解明」  
大学院健康科学研究科 高木勝広教授
  - ④「酵母の形質転換」  
大学院健康科学研究科 高木勝広教授
  - ⑤「概日リズム調節因子・メラトニンは血糖上昇ホルモンとして肝臓に作用するか？」  
人間健康学部 浅野公介助手
  - ⑥「筋特性の発生・維持・変化に関わる分子メカニズムの追求」  
大学院健康科学研究科 河野史倫准教授

## (b) 事業・活動

特別なものはなし。

## (4) 競争的資金事業推進委員会

### 1) 地(知)の拠点による地方創生推進事業(COC+)

本学単独の事業として2013(平成25)年度にスタートした文部科学省の「地(知)の拠点整備事業」(COC)は、2015(平成27)年度からは信州大学(主幹校)・長野大学と本学による共同事業へ移行したため、2019(令和1)年度が事業の最終年度となった。単独のプロジェクトとして開始して以来、7年にわたったCOC事業にとって、ひとまず区切りをつける1年となった。

#### (a) 会議への参加

2019年7月31日(水) 第4回長野県地方創生推進事業協議会

会場：信州大学松本キャンパス 参加：木村晴壽、赤羽紀子

2020年2月27日(木) COC+外部評価委員会(WEB開催)

参加：木村晴壽

#### (b) 事業活動

いずれの事業も関係部署と連携して取り組んだ。

##### ①地域づくりインターンシップ事業

松本市と連携する本事業は、3年間の任期で本学の卒業生から“地域づくりインターン”が任命される事業であり、当該事業の5年目にあたるため、第1期生～第3期生11名が任期を終えそれぞれの方向性に沿った地元定着に踏み出すこととなった。農業振興を目指し農業経営に乗り出す者、市役所職員として地域づくりに引き続き関わる者等、中長期的な松本での地域づくりに向けて着実に第一歩を踏み出した。なかでも特筆すべきは、福祉ケアを軸とした地域の拠点づくり、および着地型観光の推進に向けてNPO法人を設立し、精力的に事業展開に取り組むインターン卒業生が誕生したことである。公共機関からの委託事業も契約目前であり、若者が地元で定着する場の確保に向けて大きな期待が集まっている。

##### ②地域づくり考房『ゆめ』を通じた学生の地域活動

学生の自発的な地域活動に対し本学が資金面での支援をする、地域づくり考房『ゆめ』の“チャレンジ奨励制度”を利用し、課外活動としての地域連携活動を活発に展開した。(詳細は地域づくり考房『ゆめ』運営委員会に記載)

##### ③高大連携活動

高大連携にもとづく早期の地域教育を目的に、本学を会場とした“マーケティング塾”など、本年度も様々な連携活動が展開された。(詳細は高大連携委員会に記載)

##### ④学生によるインターンシップ

インターンシップは、COC+事業の根幹をなすテーマであり、本学は過去5年間、可能な範囲で推進してきた。インターンシップの単位化も実現し、実際に約40名の学生がインターンシップを体験した。(詳細はインターンシップ推進委員会に記載)

##### ⑤地域諸団体と連携しての「ものづくりフェア」の実施(本学会場)

松本市・塩尻市・安曇野市、および地域の商工会議所等と本学とが連携し、“ものづくり”を基盤に地域の製造業の振興を図りながら、未就学・就学児童が親子で参加することで、地域の産業への理解を深めるためのイベントであり、本年度の来場者数は延べ14,150人だった。43の体験教室では参加者数が3,070人に達し、フェアの運営等に関わった学生のイベント運営能力向上に関してはもちろん、地元で展開する“ものづくり”全般への理解が深まった。

### 2) 研究ブランディング事業推進委員会(構成員：教員10名、事務局員9名 計19名)

2017(平成29)年11月7日に文部科学省の「私立大学研究ブランディング事業」に選定された「松本大学研究ブランディング事業」(以下、本事業)は、地元自治体・企業、医療機関などと連携して、健康づくりを企業で働く現役世代にまで広げ、企業従業員の健康リスクを軽減し、医療費や健康保険料の抑制・削減を図

ろうというものである。それに加え、関連するヘルスツーリズムを企画・実施して宿泊施設利用者を増加させることや、健康づくりに関連するソフトや機器類などの開発と、それらを商品として収益化を図ることおよび起業も視野に入れて取り組みを進め、総体として「元気な地域づくり」に繋げることを目指している。

本事業は今年度、初年度(2017年度)に立ち上げた19名からなる「松本大学研究ブランディング事業実施・推進委員会」に加え、昨年度新たに採用した2名を擁する推進室を実働部署として展開した。なお、取り組み内容の多くが昨年度を継承するものが多くを占めたことおよび推進室要員がそれらを具体的に進めたことなどから、今年度の事業実施・推進委員会は、は、後述のとおり2020年2月7日に開催された1回のみである。

したがってここでは、今年度取り組まれた本事業の概要を述べる。

今年度の事業目標は、本事業の指向する地域の企業従業員を対象とした健康づくりの中核をなす「タグフィットネス」の効果を抽出し、それを次年度の全面展開に向けて整理すること並びに、地域活性化の柱の1つと位置付けたヘルスツーリズムのあり方や進め方について研究を深め実践に移していくことなどである。そうした基本線に沿って取り組まれた活動は多岐にわたるが、以下のように、(1)「タグフィットネス」の効果検証事業、(2)事業拡大の取り組み、(3)ヘルスツーリズムに関する研究と企画、(4)関連する研究部門の取組の促進、(5)補助打ち切り後の対応策の検討と提案、(6)その他、の6点にまとめ概述する。

#### (1)「タグフィットネス」の効果検証事業

(株)池の平ホテル&リゾートとエア・ウォーター(株)の従業員および利用者を中心に「タグフィットネス」の中核とする運動指導を実施した上で、その参加者102名にアンケート調査を実施した結果、消費カロリーの増加とともに体重が減少したという、両者の間の相関をデータとして明らかにすることができた。加えて、80%を超える参加者から「意識して歩くようになった」、「通勤方法をバスから徒歩に変えた」など日常生活に大きな変化があったとの回答が寄せられ、「タグフィットネス」の使用効果を裏付けることができた。

#### (2)事業拡大の取り組み

##### ・「タグフィットネス」の広報・営業活動の推進

長野県内企業、自治体・各種団体等を中心に「タグフィットネス」の営業を推進した。さらに、2018年度に情報提供した企業を中心に新規開拓のため営業推進した。加えて、参加企業に出向いて実施する各種測定を中心に、昨年度からの(株)池の平ホテル&リゾート(260人×2回)およびエア・ウォーター(株)(80人×2回)、(株)村瀬組(29人)、原村(約100人)、松本市(146人)に加え、今年度は新たに安曇野市(自転車実証実験 30人×2回)、ホンダカーズ信州(株)(150人×2回(測定))、(株)アドヴァンスト・インフォメーション・デザイン(根本賢一教授による健康運動講座90分 幹部社員40名対象)、原村「春夏秋冬健康チャレンジプロジェクト」(集団運動指導講座4回 約200名対象)などを対象に事業を拡大し実施することができた。

#### (3)ヘルスツーリズムに関する研究と企画

ヘルスツーリズム分野については、総合経営学部観光ホスピタリティ学科の益山代利子教授を中心に、池の平ホテルの協力を得て、コンサルティング業を展開している企業の社員41名に対して「ヘルスツーリズムモニターツアー」を実施するとともに、チェコ国立パルドゥビツェ大学のマーティン・マスタールカ教授などを招聘して「ヘルスツーリズム講演会」を開催するなど、今後の展開に向けて大きく弾みをつけることができた。

#### (4)関連する研究部門の取組の促進

研究部門については、推進室の近藤壮太推進委員が、5月11日に開催された日本ウオーキング学会において「企業従業員に対する大学の提供する運動促進プログラムの実施とその効果」と題して研究発表し、後日、同学会より「若手奨励演題賞」を受賞している。また、ヘルスツーリズムに関する世界的権威であるチェコ国立パルドゥビツェ大学のマーティン・マスタールカ教授を招聘して開催された上記講演会もまた、研究分野における取り組みの一環と捉えている。

#### (5)助成打ち切り後の対応策の検討と提案

2018年度末、文部科学省が私立大学研究ブランディング事業に対する助成打ち切りを表明したことを受け、住吉廣行学長に宛て「来(2020)年度以降の松本大学研究ブランディング事業について」と題する



文章を、2019年11月18日付けで提出し、同月27日に開催された全学協議会において承認された。

その主要な内容は、事業の柱である(1)企業に勤める従業員(現役世代)に対する「健康づくり」を展開することおよび、(2)そうした事業内容を収益化し企業化することの2点について、(1)については引き続き旺盛に取り組みつつ事業内容の多角化を図ることとし、(2)については2022年までの可能な限り早い時期に収益化・企業化すべく取り組むことの2点である。また、それを達成するために、現状の推進室体制・機能の改変・充実を図るべく、①研究ブランディング事業を地域健康支援ステーションの業務の中に位置付け、②推進室の2名に加えステーション所属専門員にも積極的な協力・参加を依頼することを内容とするものであった。

上記提案については、2020年2月7日に開催された2019年度第1回(通算第8回)松本大学研究ブランディング事業実施・推進委員会においても、「2019年度事業報告・決算報告」及び「2020年度事業計画・予算計画」などととも報告し了承されている。併せて、事業が地域健康支援ステーションに移行することに伴い、同推進委員会を解散すること及び、その名称を「松大ヘルスプロモーション事業」とすること、会計方法については地域健康支援ステーションと一体的に扱うことなどが確認された。

#### (6) その他

- ・本事業の連携企業である大塚製薬の共催で「健康経営セミナー2019」を2回開催した。これは、本事業の広報活動の一環を成している。
- ・円滑な推進に欠くことのできない事業推進に要する機器類の購入についても計画に沿って着実に実施することができた。
- ・摂取カロリー推定アプリ開発に関する開発会社との協議・打合せについても、昨年度に引き続いて取り組んだ。

### 3) 大学教育再生加速プログラム(AP)事業推進委員会

#### (a) 業務内容

本年度はAP補助事業最終年度であったので、多くの取り組みは前年度までに終了していた。したがって、2019年度は、コンピテンス育成教育の学生への周知と徹底、ルーブリック評価の実質化や海外留学等の4学期制活用プログラムの定着、そして主体的な学びの推進と地域社会へのAP補助事業の成果の発信、これらを進めることが委員会の業務となった。

#### (b) 活動

- 4月17日 TVシンポジウム打合せ(日本福祉大学、糸井)
- 5月22日 TVシンポジウム打合せ(日本福祉大学東海キャンパス、赤羽・糸井)
- 7月8日 2019年度フォローアップ、実施報告書を文部科学省に提出
- 7月19日 TVシンポジウム打合せ(松本大学、赤羽・野田・糸井)
- 8月1日・2日 学習目標到達度チェックシート・学習アンケートの実施
- 8月8日～21日 イギリス・ドイツ視察 (リージェンツ大学・アベリストウイス大学・オスナーブリュック大学、赤羽・糸井)
- 8月21日～23日 タイ視察(チェラロンコン大学、糸井)
- 8月28日 TVシンポジウム打合せ(日本福祉大学東京オフィス、糸井)
- 8月29日 第1回地域別研究会・東京薬科大学APシンポジウム(エステック情報ビル、糸井)
- 9月3日 第1回外部評価委員会 開催
- 10月22日 NHKエデュケーショナル・セイコーエプソン打合せ(松本大学、赤羽・野田・糸井)
- 10月28日 外部評価・助言委員会 開催
- 11月5日 TVシンポジウム用VTR撮影(松本大学、Interactive English・金子ゼミ)
- 11月9日 第2回地域別研究会・公立千歳科学技術大学APシンポジウム(公立千歳科学技術大学、糸井)
- 11月11日 TVシンポジウム用VTR撮影(松本大学、サービスマーケティングI・金子ゼミ学生インタビュー)

- 12月4日 TVシンポジウム用VTR撮影(セイコーエプソン豊科工場、本学OG、松本大学、追加撮影 Interactive English)
- 12月22日 全国シンポジウム(日本福祉大学東海キャンパス、浜崎・山添・金子・川島・木下・ジャスティン・糸井・赤羽・野田・他)
- 2月5日～11日 ドイツ視察(オスナーブリュック大学、糸井)
- 2月15日 NHK Eテレで12月22日のTVシンポジウム放映
- 2月26日 第2回AP外部評価委員会 新型コロナウイルス感染拡大により中止
- 3月5日・6日 AP全体報告会(武蔵野大学有明キャンパス、新型コロナウイルス感染拡大により中止)

### 3. 地域連携部門

#### (1) 地域力創造委員会

##### (a) 委員会開催

第1回 2019年7月1日(月)15:10~16:00

〔審議事項〕

公開講座の募集について

〔報告事項〕

・地域連携活動経費予算執行状況について

第2回 2019年10月17日(木)11:20~12:10

〔審議事項〕

・次年度の企画について

・公開講座について

下記申請書が提出され、本委員会で審議した結果、承認された。

①11月29日(金)15:00~「観光地域づくりフォーラム in 信州」 申請者：中澤朋代准教授

②「スポーツ栄養学の研究と実践を健康、体力向上に活かす」 申請者：長谷川尋之専任講師(日時未定)

〔報告事項〕

・地域連携委員会報告

2019年11月11日(月) ※メール審議

〔審議依頼〕

・公開講座開催に係る審議について

観光ホスピタリティ学科の益山代利子教授より、「公開講座：ヘルスツーリズム講演会」開催に係る企画書が提出された。研究ブランディング事業の一環として開催する講演会であるが、本学の公開講座として位置付けるため、本委員会での審議を行い、承認された。

第3回 2019年11月14日(木)11:20~12:30

〔審議事項〕

・次年度の企画について

・予算申請について

〔報告事項〕

・公開講座の審議結果について

①12月10日(火)11:20~13:15

ヘルスツーリズム講演会「欧州の自転車観光開発先進事例と信州アルプス山麓の取り組み」

担当：益山代利子教授

第4回 2020年1月9日(木)

〔審議事項〕

・2020年度予算申請について

〔報告事項〕

・今年度の公開講座

予定されている公開講座について

①1月29日(水)16:00~17:00

「令和時代をハッピーに生きるためのメンタルヘルス講座」 担当：弘田量二教授

②3月8日(日)13:00~15:00

「スポーツ栄養学の研究と実践を健康・体力向上に活かす」 担当：長谷川尋之専任講師

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止された。

**(b) 事業・活動**

特になし。

**(2) 地域防災対策委員会**

本委員会は、本学における地域連携強化のために防災対策を切り口とした体制整備、防災訓練の計画と実施、また人材の育成を目的としている。自然災害を想定した体制整備は地域社会(具体的には松本市新村地区)との関係性の中から構築するもので、文字通り「地域防災」をテーマに掲げて計画するものである。

**(a) 事業・活動**

## ①防災士養成講座(日本防災士機構)3回開講

1)9月7日(土)・8日(日)

2)12月14日(土)・15日(日)

3)2月8日(土)・9日(日)

自治体によっては独自の取り組みとして養成講座に人材を派遣するなど団体、会社などへの普及が図られつつある。

## ②防災士フォローアップのための組織「長野県地域防災推進協議会」設立と研修会実施

・「長野県地域防災推進協議会」設立総会

4月20日(土)

同協議会事務局を松本大学地域連携課で担うこととなった。

・第1回「長野県地域防災推進協議会」会員向けの研修会

6月21日(金)・22日(土) 於：宮城県石巻市

・第2回「長野県地域防災推進協議会」会員向けの研修会

9月22日(日) 於：松本大学

## ③地域社会(松本市新村地区)との防災訓練の実施

7月19日(金)新村地区との合同訓練として新村保育園で行った。子どもの防災教育に関して学生が訓練を行った。

## ④台風19号による豪雨災害に伴う千曲川水害地域での復興支援活動

10月12日に発生した台風19号による長野市での大規模な豪雨災害に対して、東日本大震災の災害支援活動の経験を活かして最も被害が大きかった地区で、本学と協議会とが共同で支援活動を行った。

・災害ボランティア活動

派遣回数：10月20日～12月8日の間 計11回

派遣延べ人数：259名(学生・教職員)

※このほかに、長野県地域防災推進協議会経由の参加者14名、岐阜聖徳大学野球部参加者91名があり、合同で支援活動を行った。

・学内募金活動

**(3) 地域健康支援ステーション運営委員会**

本ステーションは、文部科学省平成21年度大学教育推進GP事業の採択を受け、本学人間健康学部健康栄養学科内に設置され、平成22年4月から管理栄養士を専任スタッフとして配置し、メニュー開発や栄養指導などの活動を本格的に開始した。その後、スポーツ健康学科の活動も含め、人間健康学部全体の学生の教育支援や地域貢献との関わりを保ちながら独自の活動を推進してきた。平成25年度には文部科学省COC事業の採択を受けたことから健康運動指導士を専任スタッフとして配置し、運動指導や体力測定などにも活動の幅が広がり、地域からの要望に応じて栄養と運動の両面からアプローチする健康づくりの支援活動を行っている。

**(a) 組織と会議**

- ①組織：運営委員長1名(健康科学研究科教授)、委員5名(スポーツ健康学科長、総合経営学科・観光ホスピタリティ学科・学校教育学科から各1名)、事務局5名
- ①運営委員会：4回 5月20日、7月17日、10月7日、12月12日

**(b) 管理栄養士による実践活動**

地域などからの依頼を受け、本ステーションの専任スタッフ(管理栄養士)が実施した活動。  
いずれも指導教員は廣田直子教授。

- ①「ハイリスク学生個別栄養指導」 4月2日・3日・5日・6日  
(依頼元：松本大学健康安全センター、対象者22名)
- ②「イスラエル健康長寿ツアー」の講師 4月14日  
(依頼元：松本コンベンションセンター、対象者22名)
- ③あかしや「食べたら動こう！」の講師 4月25日  
(依頼元：村井病院自立訓練事務所あかしや、参加者14名)
- ④「林業作業士初任者研修」の講師 9月4日(依頼元：財長野県林業労働財団、対象者34名)
- ⑤「秋の味覚を楽しもう！栄養教室」の講師 10月24日  
(依頼元：塩尻市社協床尾分会、対象者10名)
- ⑥「おでかけ保健所」ブースにおける食育コーナー実施 11月3日  
(依頼元：大町保健福祉事務所、来場者100名)
- ⑦「県民健康栄養調査」調査員業務 11月5日・6日・11日・14日・22日・27日、12月6日・18日・24日、1月7日・16日・22日・27日・30日、2月13日・19日・26日、3月25日・30日  
(依頼元：大町保健福祉事務所)
- ⑧「川上村保健補導員研修会」の講師 2月20日(依頼元：川上村保健補導員会、対象者15名)
- ⑨「糖尿病予防勉強会」の講師 2月25日(依頼元：朝日村役場、対象者33名)

**(c) 健康運動指導士による実践的活動**

地域からの依頼を受け、本ステーションの専任スタッフ(健康運動指導士)が実施した活動。  
いずれも指導教員は根本賢一教授。

**1)運動指導**

- ①「転ばんジェントルとレディーの会」の講師  
4月17日、5月15日、6月12日、7月10、31日、9月11日、10月16日、11月13日、12月11日、1月15日、2月12日  
(依頼元：朝日村社会福祉協議会えべやかたくりの里、対象者延べ237名)
- ②「健康教室」の講師  
4月9日・25日、5月14日・23日、6月11日・27日、7月9日・25日、8月6日・22日、9月10日・26日、10月8日、11月12日・28日、12月10日・26日、1月14日・23日、2月4日  
(依頼元：塩尻市社会福祉協議会床尾分会、対象者延べ145名)
- ③トレーニングマシンを用いた「健康運動教室」の講師  
4月4日・5日・11日・12日・18日・19日・25日・26日、5月9日・10日・16日・17日・23日・24日・30日・31日、6月6日・7日・13日・14日・20日・21日・27日・28日、7月4日・5日・11日・12日・18日・19日・24日・25日・26日、8月1日・2日・8日・9日・22日・23日・29日・30日、9月6日・12日・13日・19日・20日・26日・27日、10月4日・10日・11日・17日・18日・24日・25日・31日、11月1日・7日・8日・14日・15日・21日・22日・28日・29日、12月5日・6日・12日・13日・19日・20日、1月9日・10日・16日・17日・23日・24日・30日・31日、2月6日・7日・13日・14日・20日・21日  
(依頼元：塩尻市社会福祉協議会ふれあいセンター広丘、対象者延べ715名、参加学生2名)

- ④「健康サポート教室」の講師  
4月3日・10日・24日、5月8日・22日・29日、6月5日・10日・19日・26日、7月3日・17日・24日、8月7日・21日・28日、9月4日・18日・25日、10月2日・9日・23日、11月6日・20日・27日、12月4日・18日・25日、1月14日・22日、2月5日・10日  
(依頼元：甲信越エア・ウォーター(株)、対象者延べ205名)
- ⑤「高出地区 お元気づくり広場」の講師 7月6日、11月6日  
(依頼元：塩尻市社会福祉協議会地域福祉推進センター、対象者延べ110名)
- ⑥「本山地区 お元気づくり広場」の講師 11月11日  
(依頼元：塩尻市社会福祉協議会地域福祉推進センター、対象者27名)
- ⑦「フレイル予防に向けた、家庭でできる手軽な運動」の講師 9月29日  
(依頼元：長野県栄養士会、参加者140名)
- ⑧あかしや「食べたら動こう！」の講師  
4月8日、5月13日、6月6日、7月8日、8月5日、9月9日、10月7日、11月1日、12月6日、1月15日、2月5日  
(依頼元：村井病院自立訓練事務所あかしや、参加者延べ161名)
- ⑨「いきいき健康づくり教室(食生活改善推進員養成講座)」の講師 7月2日  
(依頼元：伊那保健福祉事務所、参加者25名)
- ⑩「民生児童委員協議会高齢者福祉部会研修会」の講師 7月23日  
(依頼元：塩尻市民生児童委員協議会高齢者福祉部会、参加者26名)
- ⑪「2019年度いきいき元気健康教室」の講師 8月29日  
(依頼元：下諏訪町地域包括支援センター、参加者45名)
- ⑫「川上村保健補導員研修会」の運動指導 2月20日  
(依頼元：川上村役場保健福祉課保健係、参加者15名)
- ⑬「秋のさわやかウォーキング」の講師 10月17日  
(依頼元：ペンション区保健補導部会、参加者15名)

#### (d) 学生との連携による実践的活動

地域や関係機関などからの依頼を受けて、本ステーションの管理栄養士、健康運動指導士が専門的サポートをし、学科教員の指導のもと健康栄養学科とスポーツ健康学科の学生と連携して実施した活動。

#### 1) メニュー開発・提案

- ①「松本山雅FC×松本大学コラボ スタめし新メニュー開発企画」 5商品完成  
(依頼元：株式会社 松本山雅、指導教員：廣田直子)
- a)「企画説明会・勉強会」 4月22日(参加学生9名)
- b)「販売現地見学会」 5月12日・22日(参加学生延べ11名)
- c)「アイデア提案」 5月下旬～6月下旬 (提案数17品、参加学生18名)
- d)「業者と新商品の打合せ」 7月中旬～8月下旬(採択数5品、5業者、参加学生9名)
- e)「新商品発表会」 8月27日(完成品5商品、協力4業者、参加学生9名)
- f)「スタめし販売」 8月31日、9月29日 (5商品販売、参加学生9名)
- ②「商品展示会における メニュー提案」 アイディアメニュー提案 21品  
(依頼元：三陽商事有限会社、指導教員：廣田直子、参加学生15名)
- a)「企画説明会・勉強会」 5月30日(参加学生12名)
- b)「商品展示会でのメニュー展示」 9月25日

#### 2) 地域住民の健康づくり支援

- ①「大学生ACEまち歩きワークショップ」 6月4日・11日・20日・22日・7月6日

(依頼元：松本保健福祉事務所、対象者8名、参加学生5名、指導教員：根本賢一)

②「松本地域大学生 ACE フォーラム」 8月19日

(依頼元：松本保健福祉事務所、対象者60名、参加学生3名、指導教員：根本賢一)

③「まつもと広域ものづくりフェア パッククッキングブース」 7月14日

(実施元：ものづくりフェア実行委員会、対象者16家族、参加学生5名、指導教員：沖嶋直子)

④「大学生・高校生を対象とした食育出前講座テキスト作成」事業

6月～3月 (公益社団法人長野県栄養士会 委託事業)

・ワーキンググループ会議 8月23日、10月16日、12月10日、1月20日

(参画学生3名、指導教員：廣田直子)

・試作版テキストによる食育講座の実施 2月18日(火)

(指導学生5名、参加学生4名、指導教員：廣田直子)

### (e) サポート教員

①4月19日「健康栄養学科 基礎ゼミ I」の講義 「地域健康支援ステーションの活動」

(担当教員：石原三妃、対象者：人間健康学部健康栄養学科 1年生70名)

### (f) その他の活動

①「一日限りのレストラン」運営支援 (健康栄養学科主催事業、指導教員：成瀬祐子)

a)「レストラン体験会」 5月26日

b)「学内試食会・報道発表」 8月22日(40食提供)

c)「一日限りのレストラン 実施」 9月29日(40食×2回提供)

②「信州夢街道フェスタ2019」スイーツコンテスト実施支援 (株式会社長野放送主催事業、指導教員：木藤伸夫)

a)「企画打合せ会」 4月9日(主催者および関係教員)

b)「アイデア検討」 4月下旬～5月中旬(参加学生25名)

c)「試作検討会(テレビ取材)」 5月24日(参加学生6名)

d)「スイーツコンテスト」 6月8日(7品出品、参加学生25名)

e)「商品化完成披露会」(コンテスト最優秀作品をホテル翔峰で商品化) 7月1日

③「Inbody」による体組成成分分析および運動指導 7月～3月

(依頼元：健康安全センター、対象者2名、指導教員：根本賢一)

④「松本大学研究ブランディング事業推進室」の業務支援

### (g) 広報活動

①「蒼穹」第135号、136号、137号、138号原稿執筆

②取り組みへの新聞記事取材等の対応

## (4) 地域づくり考房『ゆめ』運営委員会

### a) 考房『ゆめ』利用促進事業

(i) 考房『ゆめ』新入生へのオリエンテーション

4月3日(水)ウェルカムパーティーにて 学生プロジェクト紹介(こどもあそび隊、キッズスポーツスクール、Sign、松本BBS会、ええじゃん栄村、◎いただきます!!、すすき川花火大会プロジェクト、「ゆめ」編集、あるぷすタウン、キッズホッケー、松本大学サンタ・プロジェクト・まつもと、茶房「みずゞ屋」)

(ii) 講義内での『ゆめ』およびプロジェクトの紹介

4月9日(火)・16日(火) 「基礎ゼミナール(総合経営学部)」各ゼミナール担当教員

4月19日(金)・5月8日(水) 「基礎ゼミナール(人間健康学部)」各ゼミナール担当教員

5月20日(月)「地域社会と大学教育(人間健康学部)」住吉 廣行学長  
 5月23日(木)「地域社会と大学教育(総合経営学部)」住吉 廣行学長  
 7月3日(水)「地域社会と大学教育(教育学部)」住吉 廣行学長

(iii) 学生企画による「ゆめカフェ」開催

4月5日(金)・6日(土)、15日(月)～18日(木)

(iv) 2019年度地域連携事業利用実績

年間受入件数	年間参加件数	年間延参加人数
36件	26件	94人

※考房『ゆめ』事務局を通じて参加した件数

**b) 学生と地域との連携による社会貢献活動へのコーディネート事業**

(i) 学生の自主企画による活動

地域づくり学生チャレンジ奨励制度対象プロジェクト(8プロジェクト…具体的内容は後述の「(3)考房『ゆめ』自主事業 1)2019年度地域づくり学生チャレンジ奨励制度」参照)

(ii) 地域からの依頼事業への参加…全24件 ※詳細は学生版アニュアルレポートに記載

個人参加：延べ52名

学生プロジェクトによる参加：延べ8団体

(iii) 地域とのパートナーシップ事業(4プロジェクト)

4月～ すずき川花火大会プロジェクト

花火大会での企画立案と運用、広報活動への参画[学生、すずき川花火大会実行委員会]

4月～ 松本BBS会

少年院収容者との交流、更生支援活動への参画[学生、社会人会員、保護司会等]

4月～ 松本大学サタ・プロジェクト・まつもと

クリスマスを病院や施設で過ごす子どもたちへ本を贈る活動への参画  
 [学生、市民団体サタ・プロジェクト・まつもと]

4月～ 茶房「みすゞ屋」

新村地区内で地域住民と学生の居場所となるサロンの共同運営[学生、新村地区住民]

**c) 考房『ゆめ』自主事業**

(i) 平成30年度地域づくり学生チャレンジ奨励制度

【前期審査会】2019年3月25日(月)実施

応募プロジェクト：7 認定プロジェクト：7

①松本大学こどもあそび隊 (18,000円)

0～5歳児の親子を対象に、多くの人とふれ合える場「こども広場」を提供する。

②Sign (18,000円)

障がいを持っている方との関わりやバリアフリー調査で学んだことを地域に伝えることで、障がいへの理解を広めていく。

③ええじゃん栄村 (100,000円)

栄村の地域活性化へ協力、村民との交流を深めて魅力を広めていく。

④◎いただきます!! (100,000円)

食を通じて地域住民および子どもとの交流を行い、食について学ぶ機会を作る。

⑤すずき川花火大会プロジェクト (72,000円)

すずき川花火大会実行委員会と連携し、企画運営や広報を行う。

⑥松本大学サタ・プロジェクト・まつもと (74,000円)



クリスマスを病院や施設で過ごす子どもたちへ本を贈る。

⑦茶房「みすゞ屋」(100,000円)

新村地区内で地域住民と学生の居場所となるサロンを、地域住民と共同運営する。

【後期審査会】9月4日(水)実施

応募プロジェクト：1 認定プロジェクト：1

①「ゆめ」編集 (97,000円)

地域と学生をつなぐ情報冊子「volere!!」の製作

【報告会】新型コロナウイルスによる感染感染予防対策のため中止。各団体からの報告資料提出をもって代替措置とした。

①松本大学こどもあそび隊(交付奨励金額18,000円、収入1,500円 決算額3,771円)

・0~5歳児の親子を対象に、多くの人とふれ合える場「こども広場」を年3回開催し、工作や歌、読み聞かせなどを行った。

②Sign(交付奨励金額18,000円、収入6,500円 決算額10,007円)

・手話学習会などの継続に加えて、障がい者が関わる各種イベント参加を通じて多くの団体や個人と交流し、障がいについて幅広く学べた。

・学内バリアフリー調査を実施し、調査結果を新村文化祭で展示発表した。

③ええじゃん栄村(交付奨励金額100,000円、収入7,000円 決算額100,494円)

・栄村小滝地区を中心に年間を通じて訪問し、村内視察や年中行事での地域住民の方々との交流を通して地域の魅力を知り、地域づくりについて学びを深めた。

・第53回梓乃森祭にて栄村についての紹介展示発表予定であったが、台風の影響で開催中止となった。

④◎いただきます!!(交付奨励金額100,000円 決算額56,029円)

・新村児童センターの児童を対象とした子供料理教室や、地域の方から食文化を学ぶ講座を開催した。

・松本市環境政策課と連携し、食品ロス削減シンポジウムにて試食会を実施した。

⑤すすき川花火大会プロジェクト(交付奨励金額72,000円 決算額71,995円)

・花火大会当日に会場へ設置する灯籠を、実行委員会内の各町会長や新村児童センターに協力を得て作成し、地域住民と協力して企画を進める経験を培った。

・広報活動の一環としてオリジナルうちわを作成し、事前に松本駅前で、花火大会当日は会場で配布した。

⑥松本大学サタ・プロジェクト・まつもと(交付奨励金額74,000円 決算額47,563円)

・サタ・サミットまつもとin2019へ参加し、事例発表やグループディスカッションを通して県外での取り組みについて学んだ。

・本を届ける際に使用する贈呈箱を手作りし、本と併せて寄贈した。

⑦茶房「みすゞ屋」(交付奨励金額100,000円、収入9,600円 決算額83,643円)

・地域住民と学生が共同運営する日常的な居場所として認知度が徐々に高まり、足を運ぶ人も増え、学生と地域住民、地域住民同士の繋がりが新たに生まれた。

・先進事例視察として諏訪市「ほっとサロン心和」を訪問し、住民による居場所作りや具体的な取り組みについて伺った。

⑧「ゆめ」編集(交付奨励金額97,000円 決算額31,536円)

・茶房「みすゞ屋」を特集し、取材を通して地域住民と学生の関わりについてより深い理解を進めた。

・地域と大学の距離を近くする情報冊子となるよう、地域行事へメンバーが積極参加し、記事に反映させた。

## (d) センター組織の整備充実

### (i) 各種会議開催

・運営委員会：年5回

・リーダー会議：年3回

・応急手当・心肺蘇生講習：前半7月8日(月)・9日(火) 後半7月16日(火)・17日(水)

(ii) 研修・交流

- ・アカデミア館見学 5月24日(金)  
会場：梓川アカデミア館  
参加者：6名(学生5名、職員1名)  
内容：重度心身障害のある地域住民の作品展を見学し、重度障害者の存在や暮らしを知る。
- ・中間活動報告会 9月28日(土)  
会場：松本大学  
参加者：53名(学生49名、教職員7名)  
内容：各校地域連携活動団体による活動報告、グループディスカッション

(iii) 広報関係

①大学の発行物

- ・発行物  
ゆめ通信(第44号～第45号)、2019年度地域づくり考房『ゆめ』中間活動報告集、Volere!!vol.9(学生プロジェクト「ゆめ」編集)
- ・学内発行物  
蒼穹(第135号～第138号)
- ・ウェブサイト  
ゆめHP、学生ブログによる情報発信

②メディア関係

- ・ラジオ FMまつもと 6月～9月 すずき川花火大会宣伝CM
- ・新聞 朝日新聞 4月13日(土) ◎いただきます!!
- 信濃毎日新聞 4月4日(木) 茶房「みずゞ屋」  
4月11日(木) ◎いただきます!!  
6月2日(日) ◎いただきます!!  
6月11日(火) 茶房「みずゞ屋」  
7月10日(水) 地域連携事業 無料こどもじゅく  
8月21日(水) 松本大学サタ・プロジェクト・まつもと  
9月24日(火) 松本BBS会  
10月3日(木) 茶房「みずゞ屋」  
10月20日(日) ◎いただきます!!  
11月20日(水) 専門員 山岸 勝子  
11月28日(木) 松本大学サタ・プロジェクト・まつもと  
12月17日(火) 松本大学サタ・プロジェクト・まつもと
- MGプレス 8月28日(水) 松本大学サタ・プロジェクト・まつもと  
9月19日(木) あるぶすタウン  
12月3日(火) 松本大学サタ・プロジェクト・まつもと
- 中日新聞 4月4日(木) 茶房「みずゞ屋」  
6月13日(木) 地域連携事業 旧開智学校訓導ボランティア  
8月9日(金) すずき川花火大会プロジェクト  
11月28日(木) 松本大学サタ・プロジェクト・まつもと
- 市民タイムス 4月4日(木) 茶房「みずゞ屋」  
4月12日(金) ◎いただきます!!  
5月30日(木) すずき川花火大会プロジェクト  
6月2日(日) ◎いただきます!!  
6月11日(火) 茶房「みずゞ屋」

- 8月10日(土) ◎いただきます!!  
 10月20日(日) ◎いただきます!!  
 11月2日(土) すずき川花火大会プロジェクト  
 11月28日(木) 松本大学サンタ・プロジェクト・まつもと  
 2月20日(木) 茶房「みすゞ屋」

月刊イクジィ 4月号～2020年3月号 学生主催イベントや各学生プロジェクトの活動紹介

## (5) 高大連携推進委員会

### (a) 2019年度の委員会の運営

本年度、高大連携推進委員会を統括する上位委員会名が「地域連携戦略会議」から「地域連携委員会」へと変更となったが、本委員会の構成は例年と変わらず、総合経営、人間健康、教育、松商短大の4学部から6名の教員が委員となり、管理課に事務局を置き運営された。高大連携の取り組みは学部・学科毎に目的や方法が異なることや意思決定の迅速化の観点から、各事業は各学部・学科において委員を中心に主体的に取り組むことを前提として、事前事後において委員会全体としての情報の共有化を図っている。当年度の連携事業は、昨年度と同様、総合経営学部においては県内商業高校を中心としたデパートサミット事業と飯田OIDE長姫高校との地域人教育事業、人間健康学部スポーツ健康学科は岡谷東高校との連携事業、松商短大は穂高商業高校との連携事業への取り組みを予定した。なお、委員会としての活動は、昨年度と同様に、主として情報交換を主としたメール会議を適宜開催し、必要な場合には学部を超えた相互支援を行う体制をとった。

### (b) 2019年度の活動内容

#### i) 総合経営学部

総合経営学部では今年度、以下のとおりの取り組みを行った。

#### ①デパートサミット(マーケティング塾・デパートゆにっと)

デパートサミット事業は、長野県商業教育研究会が主催し、松本大学が共催して2013(平成25)年度より実施している県内の商業高校を中心とした高校生の人材育成事業であり、毎月1回松本大学において開催される「マーケティング塾」とその成果を検証する合同販売会の「デパートゆにっと」によって構成されている。

〈第7期 2018年12月～2019年10月〉

第7期として9回に亘りマーケティング塾を開催し、その成果の発表として、2019(平成29)年8月に井上百貨店にて、「デパートゆにっと」として3日間の合同販売会を実施し、県内の8校から高校生56名が参加した。

〈バレンタインスイーツ販売 2020年2月8日・9日〉

2日間にわたり、諏訪実業高校、穂高商業高校、長野商業高校、松商学園高校、短期大学部金子ゼミ、「ゆにまる」が参加して商品開発を行ったスイーツの販売を、アイシティ21(井上百貨店)にて行った。事前の準備として商品発表会等を行った。

#### ②地域人教育

「地域人教育」は、2012(平成24)年度から飯田長姫高校(当時)が開始した地域社会に貢献できる「人財」を育成することを目指し、高校生が地域理解を深め、地域での生き方を考え、郷土愛を育む教育プログラムであり、2012年度に飯田長姫高校、飯田市、松本大学による「地域人教育の推進に向けての3者の連携協定」を締結し実施している。

「地域人教育」は、1年次は大学教員や地域の専門家による飯田の歴史や地域資源に関する講義と街中を歩いて地域の魅力や課題を把握する「フィールドスタディ」を通じた「地域を知る」、2年次は地域のイベントへの参加や商品開発、情報発信を行なう「地域で活動する」、3年次はグループごとに地域課題について地域と連携して解決に取り組む「地域の課題解決に向けて行動する」という3年間で8単位、280時間の正課のカリキュラムによって構成されている。本年度は、総合経営学部より複数名の教員が高校で

の講義や実習指導を行ったほか、松本市内におけるフィールドワーク実習や高校生の活動を大学生が評価する交流事業などを実施した。また、地域人教育の円滑な推進のために、高校教員や飯田市職員との協議や学習会、研修などを行い、信頼関係を構築するとともに、事業の目的などの共通理解を図った。

また、本年度は、本学と諏訪実業高校、諏訪市、諏訪東京理科大学の4者協定を締結し、諏訪地方における「地域人教育」がスタートした。さらに、白馬高校においても地域と協働した高等学校改革推進事業「世界水準の参画リゾート HAKUBA の学びの循環サイクルの構築」が採択され、本学も学びのサポーターとして、実施支援組織の「白馬コンソーシアム」に参画して協力を行っている。

### ③高校生のキャリア教育支援

2019年11月28日、穂高商業高校の1年生の生徒120名を対象としてキャリア教育プログラムを実施した。今回は、高校および中小企業家同友会と計画段階から綿密に協議し、高校生を5名から15名程度の小グループに分け、午前中に20社に分散して訪問してもらい、単なる企業見学ではなく、経営者や若手社員とのディスカッションを行った。午後からは本学に集まり、大学の講義の体験もかねて模擬講義として、グループディスカッションによる体験の共有を大学生や企業の方も一緒に行い、さらに学びを深めた。

### ④県内高校生生徒の主体性を育むための「実践発表会」その他

本年度初めての取り組みとして、長野県高等学校長会の「生徒の主体性を育む専門委員会」の主催による県内高校生の日頃の生徒会や委員会の活動の「生徒による実践発表会」が12月17日に本学において開催された。県内4校による発表に加えて、本学総合経営学部授業「社会活動」からの実践発表が行われ、総勢70名の高校生・教員および本学関係者が参加した。また、2020年1月16日には、南安曇農業高校生物工学科2年生19名に対する経営シミュレーション・ゲームを本学で実施し、本学の学生がアシスタントとして参加した。

## ii) 人間健康学部

スポーツ健康学科では、2007(平成19)年度に岡谷東高校との連携についての話し合いが行われ、翌年6月には試行的に、高校生が大学の講義を受講し、同年12月に正式に人間健康学部スポーツ健康学科と岡谷東高校との連携協定が締結され、本格的な連携事業がスタートした。試行的な活動も含めれば、今年度は11年目の活動となった。具体的には、以下のとおり、高校1年生および2年生が本学に来学し、模擬講義の受講およびキャンパスライフ体験を通じて、大学での「学び」、「生活」について理解すると同時に、運動やスポーツに関する専門的内容に触れることを狙いとした。また、本学科の学生が岡谷東高校を訪問し、同校の保健体育の授業に参加し、研修を通して高校教育現場を実体験した。

### ①大学授業チャレンジ型連携(松本大学にて12講座1時限60分)

6月27日(木)

1年生26名：齋藤「スポーツ心理学入門」、中島(弘)「レクレーションを通して楽しさを考える!」、岩間「運動スキル(技術)の習得過程」

2年生48名：山本「科学的トレーニング」、上野「働くなら高卒それとも大卒?」、犬飼「人間関係コミュニケーション」

9月12日(木)

1年生26名：丸山「空気を抜いていったら?」、犬飼「人間関係コミュニケーション」、根本「効果的な運動トレーニング法」

2年生48名：河野「宇宙生理学」、新井「ジェンダーとスポーツ法」、田邊「スポーツ選手に必要な体脂肪率とVO<sub>2</sub>max」

### ②教員実務参加型プログラム(岡谷東高校にて)

実施日(参加学生数)は以下の通り。

2019年9月9日(3名)、10日(2名)、11日(2名)、12日(2名)、13日(2名)、17日(1名)、19日(2名)

2020年2月14日(3名)、17日(3名)、18日(3名)、20日(3名)、21日(3名)、25日(2名)

参加学生は合計31人となった。

## iii) 松商短期大学部

①大学授業チャレンジ型連携

高校の夏休み、春休みを利用して、本学教員の教育資源を活用した大学の経済・ビジネス系等の専門科目の受講および学食利用、教室移動等の具体的なキャンパスライフの疑似体験を通して、高校生の勉強意欲および進学意欲の高揚を図ることを狙いとした連携である。

今年度は新型コロナウイルスの影響で、夏のみの実施となり、穂高商業高校(2年生75名)、諏訪実業高校(1年生7名)との連携事業を行った。

7月23日 飯塚「経営学の基礎」、香取「会計学入門」、金子「マーケティング①」、廣瀬「UD入門」

24日 中山「心理学入門」、山添「経営分析①」、山添「経営分析②」、金子「マーケティング②」

25日 糸井「キャリアクリエイト」、藤波「金融論入門」

②高校授業グレードアップ型連携

穂高商業高校においてすでに日商2級レベルに達している3年生徒を対象として、本学教員(香取・山添)が同校に週1回出向いて日商1級レベルの「会計学」「原価計算」の講義を行う取り組みであり、高いレベルの学習への意欲促進を狙った連携である。今年度は4月15日から1月20日の間で、毎月曜日10:20~12:10に全22回実施し、参加生徒数は3年生13名であった。

## 4. 入試広報部門

### (1) 入試・広報委員会

入試・広報委員会は、大学院・総合経営学部・人間健康学部・教育学部・松商短期大学部の代表および入試広報室の職員から構成されている。2019年度は大学院代表が委員長を務めた。

入試委員会の業務は、①学生募集に関すること(オープンキャンパス、進学説明会、高校訪問など)、②入学試験に関すること(入試改革、入試問題の作成と確認、入試の運営など)、③①～②で全学的調整が必要な場合、各学部学科、または全学運営会議・全学協議会との連絡を行うこと、および④受験生・在学生・保護者・地域住民等に対して、本学で行われている教育・研究・社会貢献活動等についての情報を発信し、広報していくことである。

また、入試委員会の関連組織として、入学試験問題の作成に携わる入試問題検討会とAO入試の企画・運営に携わるAO入試運営委員会がある。

#### (a) 委員会開催

2019年4月18日(木)

##### ①2020年度入学者選抜

2020年度入学者選抜の各入試区分に対する定員は、資料の通り各学部教授会において確認されたことが報告され、本委員会としても承認した。

##### ②入試改革について

昨年度入試の各種データについて結果報告がなされた。

本年度の入試改革について、各学部学科の変更点について以下の通り確認し、承認した。

〈総合経営学部〉

- ・指定校に関する基準の見直しを行い、総合型選抜、学校推薦型選抜(公募)とのバランスを図る。また、面接項目の見直しを行う。

〈健康栄養学科〉

- ・指定校基準の見直し、群馬県等の高校への枠、基準の検討。転入学試験の導入。編入学指定校の追加、基準の見直しを行う。

〈スポーツ健康学科〉

- ・総合型選抜の中で指定競技を設ける。エントリー不要で、指定競技だけⅡ期を実施する。運動選抜はエントリーを要することで進め、5月学科会議で承認を得る。また、これまでの卒業生および在学生の状況を見て、指定校基準を見直す。

〈教育学部〉

- ・総合型選抜に特別技能、地域を設ける。この2つについては、学部内でまだ検討中であるが、特別技能は特別な技能を有している者および県内の実業高校を対象とし、地域は、県内の町村に所在している高校および分校を対象とすることで議論を進める。

〈短期大学部〉

- ・昨年度同様で実施する。

##### ③指定校基準

各学部学科における検討状況を確認した。また、5月教授会で最終決定となるよう進めることを確認した。

##### ④英語外部試験利用について

英語外部試験(英語検定、GTEC等)を入試に導入する方法について、他学の状況および入試に関する情報を見ながら、継続して検討することとした。

##### ⑤2019年オープンキャンパスの各回担当者について

現状の本年度のオープンキャンパス運営担当者およびミニ講義担当者について報告された。なお、報告資料で空欄になっている部分は担当者が未定であるため4月中に連絡することが確認された。

## ⑥年次更新について

HPと連動しているため、各教員への研究業績プロの情報更新を周知することが確認された。なお、本システムの英語表記が必要との意見が出たため、本件については担当部署に上程することとした。

## ⑦蒼穹とあづみ野FM出演者について

蒼穹135号のページ校正、制作スケジュールおよび持ち回り企画の内容および、本年度のあづみ野FMの出演者について報告された。

## ⑧その他

- ・旺文社「入試改革各大学『予告』速報」および、大学通信「大学入試改革で入試はどうか」が作成した資料を確認し、昨今の入試状況および今後の展望等についての情報を共有した。

- ・本年度の高校教員を対象とした学生募集説明会の日程が以下の通りに決定したことが報告され、協力が依頼された。

6月6日(木)会場：長野 TOiGO

6月7日(金)会場：本学大会議室

## 2019年5月23日(木)

## ①過去問題集の作成について

文部科学省からの指導により、今年度から入試問題公表の際に解答の開示も行わなければならなくなつたため、過去問題集に解答を掲載することとした。それに伴い、入試問題の事後校閲を過去問題集制作業者に依頼したいとの提案がされた。近年の一般入試の志願者増により、高等学校や予備校、学習塾など、多くの人の目に留まるようになった事などを勧告し、事後校閲を依頼することとした。

## ②沖縄・離島優遇者制度報告

今年度、2名の新生が離島優遇制度を利用し入学した。学生へのヒアリングの結果、この制度があったため受験へ至ったとのことだった。次年度入試も継続してPRしていくこととした。

## ③健康栄養学科編入学指定校報告

今年度、山梨学院短大、飯田女子短大から指定校を利用した受験があり、次年度入試に向けても会津短大からの問い合わせも来ている。次年度入試に向けて、更に栃木・群馬・富山・愛媛県の短大に対して指定校枠を検討している。

## ④学生募集説明会について

当日の日程(6/6(木)長野会場)、6/7(金)大会会場)等について説明がなされ、各学科担当者を決めるよう依頼された。

## ⑤指定校について

各学科、教授会にて指定校推薦の基準値が承認されたことが報告された。指定校推薦書の同封書類について、入試広報室より説明された。

## ⑥人間健康学部編・転入学選抜について

次年度入試より、人間健康学部において2・3年次転入学試験を導入することと、その詳細が報告された。

## ⑦大学案内について

6月上旬に納品されることが報告された。

## ⑧入試問題検討会

9/28(土)に、外部の問題作題者及び、学内担当教員による入試問題検討会を開催する旨が報告された。

## ⑨Webキャリア図鑑

現在、学科ごとの偏りが見られるため、積極的に協力いただけるよう依頼された。

## ⑩一般A選抜入試での高崎会場について

会場決定が報告された。

## 2019年6月20日(木)

## ①総合型選抜(指定競技)について

総合型選抜(指定競技)における未確定部分について、総合経営学部およびスポーツ健康学科において

の検討結果の説明がなされ、本委員会としても以下の通り承認した。

- ・強化部、重点部：総合経営学部およびスポーツ健康学科ともに、合同練習、セレクション等を経て、各部長が推薦することで出願可能とする。
- ・その他の競技：総合経営学部は学部長が推薦することで出願可能とする。人間健康学部は学部長およびスポーツ健康学科長との面談の上、学部長が推薦することで出願可能とする。

また、「強化選手」および「強化指定選手」の定義については、以下の通りとする。

- ・「強化選手」：強化部、重点部、その他の競技で総合型選抜(指定競技)にて合格し、入学した者。
- ・「強化指定選手」：国際レベルの競技成績があり、大学としてその学生のサポートを行う者。

加えて、教育学部の総合型選抜における英語の優遇措置について、対象となる場合の目安を示すよう依頼された。

#### ②大学案内・短大ナビゲーション完成報告

新たな大学案内および短大ナビゲーションが完成し、配付を開始している。また、現在の作成業者との契約がこれで満了となるため、今後検討を進めていくことが報告された。

#### ③他大学の大学案内について

他大学の新しい大学案内を確認すると、写真が多い傾向が見られた。複数大学の大学案内が入試・広報室にあるので確認いただきたい旨の依頼があった。

#### ④学生募集説明会報告

高校教員対象の学生募集説明会のアンケート結果をもとに報告がなされた。昨年に比べ参加校数および参加教員数ともに増加し、昨今の大学全体の状況が影響している結果となった。

#### ⑤会場ガイダンス傾向報告

6月に開催された松本(ブエナビスタ)および長野(ビッグハット)の会場ガイダンス着席者数を集計し、昨年の結果との比較について報告された。

#### ⑥募集要項について

本年度の募集要項は、本委員会で承認された部分を反映し、6月21日(金)午前中に公開する予定である。そのため、今後のオープンキャンパスにおける総合型選抜説明会は、HP上の募集要項にて実施するよう依頼された。

#### ⑦松商高校との指定校打合せについて

松商学園高校の指定校推薦について、進路指導主事の森先生、山田委員長および坂内室長で打合せの結果、資料の通りとなった旨が報告された。

#### ⑧松商高校との懇談会について

松商学園高校の進路指導教員および3学年担任と入試に関する懇談会を実施し、信頼関係を築けるよう両校の状況について意見交換を行う。なお、次年度は5月に機会を設けることで進める旨の説明があった。

#### ⑨その他(依頼事項等)

- ・6月23日(日)のオープンキャンパスは、高校の中間試験と重なる時期ではあるが、短大の一日体験もあり例年参加者もあるので改めて協力してもらいたい。
- ・今週および来週以降に指定校推薦基準について各高校を訪問する予定である。また、その際に各校の様子をヒアリングするため、何かあれば相談してもらいたい。
- ・英語外部試験の運用について12月には公表しなければならないため、可能であれば9月中旬に方向性を出していきたいが、他大学の状況を見無視するわけにはいかないため、引き続き他大学(特に競合私立大学)の動向を見ていく。

### 2019年7月25日(木)

#### ①蒼穹9月号について

蒼穹9月号は9月20日に発行予定である。今回の特集および新たに「地域連携の取り組み」を掲載することについて承認された。加えて、各学科の担当となる企画部分について協力が依頼された。

#### ②2021年度入学者選抜日程



新入試制度となる2021年度の入学者選抜日程案を審議した。オープンキャンパスは東京オリンピック開催の影響を考慮して、6、7、8月の開催日を今後検討することとした。入試については、総合型選抜および学校推薦型選抜前期の時期が変更になること、一般選抜Aの実施日が後ろになること、および短大特待生推薦の実施方法が変更になることについて説明がなされた。本案を若干修正したものを各学科において検討することとした。

③教育学部の総合型選抜における英語科目について

学内での目安となる英語外部試験等の基準が報告された。

④総合型選抜、転編入選抜

総合型選抜および転編入選抜の出願が始まるため、必要事項を各学科再度確認してもらい、何かあれば、入試広報室に連絡することを確認した。

⑤会場ガイダンス傾向報告

過去3年間のデータに基づき、受験生の動向を検討した。

⑥指定校訪問での傾向報告

6月下旬から7月中旬にかけて指定校訪問を行ったため、担当者から各地区の傾向について報告がなされた。指定校基準の変更について大きな意見がなかったこと、指定校推薦を使用する高校が増加する可能性があること等を確認した。

⑦7月21日 OC 報告等

7月21日に実施したオープンキャンパスの来場者数について報告された。加えて、過去3年分の7月までの来場者数状況、来場者の志願率・入学率、および入学者の来場率のデータを確認し、受験生の動向を検討した。

⑧2019過去問題集について

過去問題集は8月25日のオープンキャンパスで配付できるように進めている。

⑨Web 動画2次募集について

Web動画は編集を終え、7月26日に公開する予定である。また、8月末から9月初めに撮影ができるように、Web動画の2次募集として各学科に依頼がなされた。

⑩国際バカロレア教育への対応について

国際バカロレア教育を本学の入試に導入することについて、2021年入学者選抜への導入方法を各学科で検討していくことを確認した。

## 2019年9月12日(木)

①入学者の追跡調査による選抜方法の妥当性について

各種データ(GPA、退学・除籍者分析、卒業率・退学率・留年率、新入生プレースメントテスト、学修行動調査等)をふまえた、入試の妥当性について各学部学科において検討していくこととした。

②2021年度入学者選抜日程

7月の本委員会案をもとに各教授会で議論となった点を共有した。いずれの点も一長一短であるため、原案通り進めることとした。

③8月4日・25日 OC 報告

8月25日までのオープンキャンパス来場者について報告された。これまで例年並みに推移しているが、リピーターの減少、バス予約の減少、および高校数の増加が傾向として見られる。9月28日が最後のオープンキャンパスとなるが、来場者の傾向等を判断し、次年度の内容等を検討していく。

④総合型選抜(指定競技)の受験予定者

硬式野球部、女子ソフトボール部、男子サッカー部、陸上競技部およびその他の競技における、総合型選抜(指定競技)の受験予定者を確認した。また、この選抜区分の小論文は同一の内容で実施することを確認した。

⑤Web 動画2次募集について

最初に撮影を行ったWeb動画を公開し、この間約2ヵ月で450ユーザーが閲覧していることが報告され

た。今後、追加のWeb動画を作成するため各学科にて担当者を選出し、入試広報室まで連絡してもらいたい。なお、撮影から公開までは約1ヵ月半程度を予定している。

#### ⑥2019過去問題集について

新しい過去問題集が8月23日に納品され、8月25日のオープンキャンパスおよび問い合わせに対応して配付が始まっていることが報告された。

#### ⑦その他

- ・英語外部試験の導入について、文部科学省から全国の大学に9月中に公表するように通達がなされたが、全国校長会の動向および他大学の動向を引き続き注視して対応していくことが確認された。
- ・8月のメール審議にて大学案内の作成業者が決定されたが、その業者がデザイン会社の入札を行うため、各デザイン案が示された。
- ・進研アドから7月記述模試の結果が報告され、情報を共有した。
- ・7月本委員会の議事録について、報告事項1および8の内容を訂正した。なお、国際バカロレアの導入については12月中に結論づけることを確認した。

### 2019年10月10日(木)

#### ①蒼穹12月号について

12月発行の蒼穹の内容を確認した。しかし、大学祭の中止に伴い内容の変更が必要となるため、原稿依頼等について協力、および今回の学びの風景は観光ホスピタリティ学科が担当のため、対象教員を入試広報室に連絡するよう依頼された。

#### ②2021年度入学者選抜について

2021年度の入学者選抜より導入予定の英語外部試験について、現在公表している内容をより詳細にした原案をもとに検討した。原案は「一般選抜、大学入学共通テスト利用型選抜において、CEFR対照表の「A1」以上を出願条件とする」とし、多くの受験生が出願できるようにした。なお、本内容については大学全体として統一する必要があるため、そのことを踏まえた上で、各学科会議にて検討することとした。また、調査書の活用方法については、各選抜区分に応じた活用をすることとし、Japan e-Portfolio等は選抜資料とせず、入学後の諸活動の参考資料として使用することを原案とし、各学科会議にて検討することとした。

#### ③大学入学共通テストおよび一般選抜の国語に対する考え方について

国語の得点の変更点について確認し、記述式問題の得点は点数化が困難であることから記述式の得点は含めないことを原案とし、各学科会議にて検討することとした。

#### ④9月28日OC報告

OCの状況が集計資料をもとに報告された。集計結果によると、過去3年間の来場者数等の数字が安定してきており、来場者の動向が把握できてきているため、これまでの数値を分析し、今後の広報活動に反映していくことを確認した。また、今年の傾向として、高校数の増加(県内外幅広い高校から参加がある)がみられた。

#### ⑤入試問題検討会報告

9月28日に入試問題検討会が行われ、現在の状況が報告された。

#### ⑥総合型選抜進捗状況

大学の総合型選抜は1次選抜が終了し、短大はⅡ期が始まっている。ここまでの実施状況を振り返り、次年度に向けて各学科の課題が改善できるように確認をした。

#### ⑦今後の入試について

今後のスケジュールや実施内容について確認した。また、高校訪問等の状況から本年度の入試の展望等について共有した。

#### ⑧Web動画2次募集について

2次募集の結果、現在3名の収録について進めていることが報告された。

#### ⑨2021大学案内制作について

10月16日に業者と打合せを行い、本格的に制作を進めていくことが報告された。撮影やページ校正等への協力が依頼された。

#### ⑩その他

高等教育の修学支援制度に関する説明会が行われ、現状について報告された。詳細は未定とのことであるが、支援内容等は情報を共有した。これを受け、今後、本委員会では必要な情報が確定され次第、合格発表後の学費徴収および特待生制度等について検討していくことを確認した。

### 2019年10月31日(木)

#### ①被災学生への支援について

現行の松本大学被災学生支援規程と、被災した受験生の実情およびWeb出願の方法に齟齬が生じていることから、本規程の改定について議論し、本案を、各教授会、全学運営会議、全学協議会および理事会へ上程することとした。なお、入学検定料は、入試の可否に関わらず後日返還することとした。

#### ②改革総合支援事業への次年度に向けた対応について

本年度の改革総合支援事業の基準に対応できなかった点が募集要項にあったため、次年度に向けて内容を検討し、準備を進めることとした。検討結果は1月の本委員会で検討および承認することとし、各教授会で意見を聴取して3月中に決定することを目指す。

#### ③大学案内および募集要項に伴う今後の審議事項について

次年度の大学案内および募集要項に明示する以下の内容については、3月中に決定することを目指して議論を進めることとした。

##### 【大学案内】→4月末校了予定

- ・2021年度の各選抜区分における定員割振り
- ・学校推薦型(公募)の評定基準値
- ・各選抜区分における具体的な選抜方法(5月のオープンキャンパスでは総合型選抜説明会あり)

##### 【募集要項】→5月末までの情報にて作業開始→6月中下旬公開予定

- ・各選抜区分における具体的な選抜方法の割合等の詳細な内容

#### ④次年度の指定校基準について

次年度の指定校基準については、4月教授会に原案提出、5月教授会にて最終承認、6月中下旬に高校訪問をする予定で進めることとした。

#### ⑤各学部学科での検討状況の共有について

英語外部試験導入方法、大学入学共通テストの国語の取り扱い、調査書の活用について、今後各学部学科で検討することを確認した。なお、英語外部試験および大学入学共通テストについては、文部科学省および大学入試センターより早々に回答を求められたため、原案どおり回答をしている状況であることから、原案から何か変更があった際には入試広報室に連絡することとした。

#### ⑥次年度の大学案内について

次年度の大学案内を作成するにあたり、ページ校正案および制作スケジュールを確認した。掲載対象となる教員および学生を各学科において選出いただくよう依頼された。なお、掲載対象の内容については、後日各学科別に連絡することとした。

#### ⑦蒼穹12月号について

最終的なコンテンツの確認をした。大学祭が中止になった事の明示および台風19号の被災地支援等の内容を盛り込む予定である。

#### ⑧総合型選抜について

大学および短大の総合型選抜(短大はⅡ期)の状況を報告した。

#### ⑨短大特待生推薦選抜について

短大の特待生推薦選抜の状況を報告した。

#### ⑩学校推薦型選抜(前期)について

学校推薦型選抜(前期)を、大学が11月16日(土)、短大は11月17日(日)に実施する予定であり、現在の

Web出願状況を報告した。

①文章理解、国語の採点について

学校推薦型選抜(前期、後期)における「文章理解」および一般選抜における「国語」については受験者が多数になり、採点作業に時間を要することから、入試委員で採点補助を実施いただくよう協力が依頼された。

②今後の入試について

今後の入試に関わる日程について確認した。一般選抜Aおよびセンター試験利用選抜I期の判定会議は2月5日(水)に各学部の時間をずらして実施する予定である。

2019年11月28日(木)

①新入試制度について

現在ホームページにて公表している新入生制度の取り扱いについて、現状を踏まえた改訂版について審議し、承認がなされた。

- ・英語外部試験の導入見送りに伴い、本学では取り扱いをしないこととする。
- ・大学入学共通テスト国語の記述は採点に含めない(現行どおり)。
- ・調査書の活用は、総合型選抜および学校推薦型では参考資料とし、一般選抜および共通テスト利用選抜では入学前・入学後教育の参考資料とする(現行どおり)。

なお、改訂版は改訂日を明記し、11月末の国立大学の公表内容を確認した上で公表することとした。修正等が発生した場合は、メールにて審議を行うことを確認した。

その他、共通テスト国語の記述式問題の扱いについては、今後の推移を見ながら検討していく。また、調査書の活用方法についても引き続き検討していくこととした。

②今後の審議事項について

今後の審議事項について審議の時期等について確認した。また、制作物関係については引き続き協力が依頼された。

③高校ランクの見直しについて

現在本学のシステムで利用している各高校のランクおよび高校の学科等について見直しを図ることとした。まずは、偏差値に基づいたリストを入試広報室において作成する。なお、私立高校および実業高校については特性があるため、見直しの際に留意することを確認した。

④外国人留学生選抜の方向性について

外国人留学生選抜の現在の出願条件は厳しく設定していることから、本学として留学生をどのように位置づけるのか検討する必要があることを確認した。今後、全学運営会議等に上程することを確認した。

⑤被災学生への支援について

被災学生支援規程の改定については、学生委員会より全学協議会に上程され、必要な部分の変更がなされていることが報告された。

⑥入試の振り返りについて

これまで実施した入試の振り返りを行った。総合経営学科と観光ホスピタリティ学科の受験者において、両学科の特徴を理解した上で学科の選択をしていないことがある点が挙げられた。

⑦12月7日・8日入試について

12月7日・8日に実施する以下の入試について確認した。詳細な日程等は、出願を締め切り次第、メールにて配信する。

- ・大学：12/8(日)学校推薦型(後期)、編・転入学Ⅱ期、留学生前期
- ・短大：12/7(土)学校推薦型(後期)、自己推薦型、留学生前期

⑧10月高校模試結果報告について

進研アドから10月高校模試の結果報告がなされたため、情報を共有した。次年度の入試においては、既卒者が減少することから入試に影響が出ることが示唆されている。

⑨新年の信濃毎日新聞広告コンペについて

信濃毎日新聞に見開き(30段)で掲載する広告について、12月2日にコンペを行うように進めている。な

お、広告掲載日は1月6日を予定していることが報告された。

⑩次年度OCコンペについて

次年度のオープンキャンパスを広報する印刷物のコンペは、1月以降に行う予定である。なお、オープンキャンパスの内容については4月以降に決定していくことを確認した。

⑪その他

- ・ホームページに公開している「Web体験授業動画」の2次撮影を進めている。1次撮影で作成した動画の閲覧数が伸びていることから、今後も動画の種類を増やしていきたいため、引き続き協力が依頼された。
- ・昨年より高校からの依頼で、大学見学および出前講義が増加している。本学に対する信頼度の表れでもあることから、引き続き協力が依頼された。

2019年12月23日(月)

①新入試制度について

これまでの文部科学省の内容変更の発表等を受け、2021年度新入試制度の本学における取り扱いの公表内容について、原案に基づいて議論し、原案のとおり大学ホームページにて公表することとした。

大学入学共通テスト「外国語(英語)」の扱いとして、本学は、リーディング(100点満点)およびリスニング(100点満点)の得点を4:1の比率で100点満点に換算して取り扱うこととし、各教授会に上程することとした。これは、外部試験が導入されることを前提とした1:1の配点を、センター入試と同様の配点に戻すことおよびリスニングの配点が増加したことに伴う受験生への公平性の確保を目的としたものである。

②高校ランクの見直しについて

長野県内の高校ランクの一覧について資料を基に現状を確認した。今後、本資料のエクセルデータを各委員に配信し、各学部学科において各高校のランクを検討した上で、次回本委員会において変更を希望する高校について協議をすることとした。

③一般選抜Aについて

一般選抜A(1日目、2月1日)の地方会場(東京、名古屋、甲府、新潟、高崎)担当者を各学科1名選出し、1月中旬までに入試広報室に連絡することとした。

④入試の振り返りについて

大学:推薦後期、留学生、編転入、短大:推薦後期、自己推薦、留学生の入試について振り返りを行った。

⑤蒼穹12月号について

蒼穹12月号が完成したため、先週配付をした。次回蒼穹3月号は1月から作成に入るため、引き続きの協力依頼があった。

2020年1月21日(火)

①高校ランクの見直しについて

各学部学科で検討した高校ランクを集約し、本学としての統一基準を次回委員会にて提案することとした。しかしながら、学部学科ごとに判断を要する事項については各学部学科の高校ランクを使用していくこととした。

②改革総合支援事業への次年度に向けた対応について

各学部学科で検討した結果を共有した。本検討結果を次年度の募集要項に反映させることとした。

③不合格通知について

一般選抜A、センター利用選抜I期の総合経営学部を受験する者が多数いることから、本学部の不合格者に対して不合格通知(他学部を含めた今後の入試内容等を説明した内容を加える)を送付することとした。

④オープンキャンパスのコンペについて

例年オープンキャンパスのパンフレットおよびポスター等の広報物を作成するにあたり、3社以上のコンペを実施していたが、近年はコンペの辞退が相次ぎ、3社以上でのコンペが成立しないことが多くなっている。また、オープンキャンパスの内容も大幅な変更がないことから、コンペを実施しないこととした。

## ⑤蒼穹3月号について

蒼穹3月号の内容およびスケジュール等を確認し、協力が依頼された。また、研究室紹介が健康栄養学科の担当となるため、対象教員を決定し、1月中に入試広報室に連絡することとした。

## ⑥一般選抜A・センターI期について

現在までの出願状況を共有した。また、2月5日(水)の判定会議について確認した。学部ごとの開始時間は受験者の出願学科の状況によるため、締切日以降に連絡することを確認した。

## ⑦新年の信濃毎日新聞広告について

1月6日(月)に掲載されたことが報告された。

## ⑧次年度大学案内について

次年度の大学案内の進捗状況が報告された。また、今後の校正依頼に加え、内部のデザインについて意見交換をした。

## ⑨春のオープンキャンパスについて

春のオープンキャンパスを3月7日(土)に実施する。例年は春分の日に実施していたが、今年は3連休で集客が落ちること、さらに一般選抜C、センター利用選抜Ⅲ期の受験者に対する入試相談も兼ねられることから、開催日を早めて実施する。

## ⑩外国人留学生選抜の出願条件について

今後、本学として外国人留学生の入試をどのような位置付けにするのかを含めて検討していくことについて、現状の規程にある日本に居住していること、住民票の提出、日本留学試験の受験(点数による基準はない)等、全体的な文言の修正について見直しが必要となるため、次回委員会にて検討することを確認した。

## ⑪その他

- ・募集要項のサイトが現在のスマートフォンやタブレット端末に対応しにくくなっていることから、現在更新を進めていることが報告された。

## 2020年2月25日(火)

## ①高校ランクの見直しについて

高校ランクの改定案を提示した。本案を学内基準としてメソフィアに登録するが、各学部学科の特性に応じて運用していくこととした。

## ②外国人留学生選抜について

本件については、国際交流センター運営委員会において検討がなされているため、今後はその結果を確認し、本委員会で該当する部分を検討する。

## ③本年度入試の課題

本年度入試の課題から、次年度への変更点として以下の点を審議した。

- ・大学の一般選抜Aの地方会場における、1日目および2日目の試験の設定(どの地方会場で実施するのかは未定)。
- ・大学のWeb出願割引(3,000円引き)を廃止(短大は現行通り)。
- ・大学の学力特待生資格試験の受験料を15,000円とする(短大は現行通り)。

以上3点を本委員会の原案として各学部学科で検討し、次回の委員会において検討することとした。

## ④次年度入試問題検討委員について

次年度、国語の作題担当者が変更の予定であることが確認された。また、学内の検討担当者についても今後検討していくことを確認した。

## ⑤新型コロナウイルスへの対応

新型コロナウイルスの流行に伴い、3月7日に予定していた春のオープンキャンパスを中止することとし、事前申込者および全高校にその旨を連絡した。また、大学全体としての行事等だけでなく、個別の案件でHPから情報を発信したいものがあれば入試広報室に相談することを確認した。

## ⑥判定方法の変更について

一般選抜Aおよびセンター試験利用選抜I期の判定方法が変更されたことについて状況を報告した。また、補欠合格の考え方については今後検討が必要である。

2020年3月24日(火)

①地方会場での両日受験について

審議の結果、入試状況の変化があることおよび、本年度の地方入試合格者の手続者数等のデータから次年度においてはこれまで通りとする。しかしながら、2年後の導入をにらみ受験者の動向を見ることとした。

②大学のWeb出願割引(3,000円引き)の廃止について

審議の結果、原案通りWeb出願割引は廃止することとし、全学協議会に上程することとした。ただし、短大は現行通りとする。また、2年後には一般A・B・Cの複数回受験者に対する段階的な割引制度が設定できるようにシステム面からも検討することとした。

③大学の学力特待生資格試験の受験料の増額

審議の結果、原案通り受験料を15,000円に変更することとし、全学協議会に上程することとした。なお、短大は現行通りとする。

④次年度に向けての課題について

本年度の各選抜入試が終了し、振り返りおよび今後の改革案等について意見交換をした。また、現時点において各学部学科で決定している変更点についても情報を共有し、これを承認した。

⑤Web学校ガイダンス動画について

新型コロナウイルスの拡大に伴い、高校生対象のガイダンスおよびオープンキャンパスが中止となっており、春期の広報の機会がまったくない状況である。この状況の対応策として、Webを用いた学科説明のガイダンス動画を作成し、大学HPに掲載することが提案され、動画の作成について承認がなされた。今後、早々に動画作成に入れるよう協力依頼がなされ、詳細を各委員に後日連絡することとした。なお、本動画は、各ガイダンスおよびオープンキャンパス等に不参加で受験する受験生(特に一般選抜およびセンター利用選抜)への訴求も期待される。

⑥次年度入試問題外部作題者・学内担当者について

国語の外部作題者として、新たに山田耕司氏に依頼することとした。なお、学内の担当者は選出を進めていく。

⑦オープンキャンパス運営内容について

新型コロナウイルスの拡大に伴い、従来のオープンキャンパスの内容では実施が困難であることから、短縮版(食事提供なし、半日のみの実施)の運営内容を提案し、承認がなされた。この短縮版でのオープンキャンパスを新型コロナウイルス感染症対策本部会議に上程することとした。

⑧入学式での新入生代表選出について

新型コロナウイルスの拡大に伴い、入学式の内容を縮小して実施することとなり、各学科1名の新入生代表の選出が必要となったことから、学長および入試広報室で選出した新入生を報告した。なお、新入生代表挨拶は、観光ホスピタリティ学科の代表が行う。

## (b) 事業・活動

①オープンキャンパスの実施

高校生を対象にしたオープンキャンパスを実施し、大学ならびに各学部学科の魅力をアピールするとともに、様々な相談に対応して受験者の獲得に努めた。なお、日程ならびに動員数等の詳細については、入試広報室の項を参照されたい。

②学外での模擬授業・模擬面接の実施

学外、多くは高等学校内で実施される模擬授業ならびに模擬面接に参加した。なお、具体的な日時や回数および動員数等については、高等学校での出前講義および入試広報室の項を参照されたい。

③学外での説明会参加

学外で実施された大学・学部・学科の説明会に参加した。なお、具体的な日時や回数および動員数等については、入試広報室の項を参照されたい。

## 1) 入試問題検討

### (a) 担当者会議開催

2019年9月28日(土)大会議室

- ①学長より挨拶。現在の入試動向および作題にあたっての注意点が報告された。
- ②全学入試委員長より挨拶。
- ③2019年度入学試験の結果が報告された。併せて今年度実施した、過去問題集制作時の試験問題事後校閲についても経緯が説明され、作題担当者との意見交換が行われた。
- ④各教科、初稿原稿をもとに学内担当者および作題担当者による試験内容の確認および修正が話し合われた。

### (b) 事業・活動

#### ①作題案の確認と修正

アドミッションポリシーや大学教員からの希望をもとに、作題者が作問した。その後、各担当教員との間で、その内容に関する意見交換等を電話、E-mail、手紙等で行い、必要に応じて修正後各担当教員の了承を得た上で、最終作題案とした。

#### ②最終作題案のチェック

最終作題案に対し、担当教員や複数の事務職員による確認作業を行った。いくつかの修正を経た上で試験問題の作成が完了した。

## (2) AO入試運営委員会

### (a) 委員会開催

2019年9月11日(水)第4会議室

#### ①総合型選抜の内容について

本年度の総合型選抜を実施するにあたり、各学部学科の実施内容について募集要項をもとに以下の通り確認した。

〈総合経営学部〉

- ・新たに指定競技を行う。各強化部・重点部からのリストは全学入試委員会より提出される予定である。
- ・1次選抜および2次選抜両方において面談を実施するため、面談内容を差別化する。
- ・2次選抜の小論文の出題をキーワード形式にする。

〈健康栄養学科〉

- ・昨年同様(変更点なし)

〈スポーツ健康学科〉

- ・総合型選抜(運動)の実施方法を確認した。

〈教育学部〉

- ・特別技能による英語の基準を確認した。次年度もふまえ、本基準を募集要項等において公表するかどうか検討する。

〈短期大学部〉

- ・昨年同様(変更点なし)

〈総合経営学部・スポーツ健康学科〉

- ・指定競技における小論文の出題は、同一の内容とする。

あわせて、10月5日(土)に模擬授業を実施する学部学科は、模擬授業担当者を入試広報室に連絡するよう依頼があった。



**(b) 事業・活動**

①本学としての総合型選抜のあり方について、数年先を見据えて検討を続けていくことを確認した。

**(3) センター入試委員会**

センター入試委員会は、本学を令和2年度大学入試センター試験の会場として実施するための準備と運営、大学入試センターや他試験場との調整を主な業務として活動した。当年度は教員8名、職員8名の委員構成となった。

今年度は試験室数が10教室となった。割当数は617名であった。「地歴・公民と理科②の受験パターン別の受入れに関するグループ化」により、2日目に受験者がいなくなる教室と、理科②の時間帯における空き教室もできたが、すべての教員に原則3コマを担当していただき、2日間の出勤をお願いした。当日は追試験申込者や別室試験者は発生することなく無事に業務を遂行することができた。

**(a) 委員会開催**

- ①第1回令和2年度大学入試センター試験長野県地区連絡会議
  - ・令和元年6月27日(木)遠隔会議システムにて
  - ・令和2年度センター試験について
- ②令和2年度大学入試センター試験長野県地区連絡会議(中信地域担当者会議)
  - ・令和元年7月18日(木)松本大学大会議室にて
  - ・参加大学：信州大学、松本歯科大学、松本大学
  - ・以下の3項目において議論がなされた。
    - i)各試験場の志願者収容人数について  
本学から机間距離の確保と予備席確保による収容人数の削減について要望した。
    - ii)試験場のグループ化について
    - iii)障害等のある志願者の受け入れについて
- ③第1回大学入試センター試験入試担当者連絡協議会
  - ・令和元年8月19日(水)メルパルク東京
  - ・大学入試センターより令和2年度試験実施内容および大学入学共通テストの解説
- ④第1回センター入試委員会
 

令和元年11月14日(月)

学外での参加会議の報告と当年度試験の変更点の確認

本学試験会場の試験室、控室、救護室の確認

監督者等の配置基準の確認

監督者会議およびリスニング予行演習に向けた各委員の役割分担

監督者会議およびリスニング予行演習の進行と説明内容の確認
- ⑤第1回監督者会議
 

令和元年12月4日(水)

監督者に向けた業務内容の概説
- ⑥第2回大学入試センター試験入試担当者連絡協議会
 

令和元年12月2日(月)メルパルク東京

大学入試センターより試験当日の留意点、問題訂正等の解説

文部科学省より新大学入試制度に関する進捗状況報告
- ⑦第1回リスニング試験予行演習
 

令和元年12月10日(火)

リスニング試験担当の監督者に向けたリスニング試験実施方法の解説
- ⑧第2回リスニング試験予行演習

令和元年12月17日(火)

リスニング試験担当の監督者に向けたリスニング試験の事故対応解説

⑨試験問題の受取・仕分作業

令和2年1月9日(木)

問題冊子と解答用紙の仕分けと保管

⑩センター入試スタッフ会議

令和2年1月10日(金)

センター入試に向けて、職員間における作業内容の確認

⑪第2回監督者会議

令和2年1月17日(金)

監督者に向けた業務内容の詳説

⑫試験会場設営準備作業

令和2年1月17日(金)

各試験室の設営と検査

⑬センター入試業務の実施

令和2年1月18日(土)・19日(日)

試験業務の実施

解答用紙のチェックと保管

⑭答案用紙等の引渡

令和2年1月20日(月)

運送業者への答案用紙等の引き渡し作業

## 5. 管理部門

### A：大学管理運営

#### (1) 全学協議会（構成員：教員14名・事務局3名 合計17名）

学長、副学長、研究科長、各学部長・学科長、事務局長、事務局次長、学生センター長を構成委員とする全学協議会は、最高意志決定権者である学長の下に置かれ、全学的・学部横断的な課題・事項に関する審議・決定と、報告事項の適切かつ適確な周知による各種情報の全学的共有化と、本学における教学マネジメントの統括を主要な任務としている。

2019年度もまた、上記の主旨を踏まえ、事前に開催された学長、副学長、研究科長、各学部長、事務局長、事務局次長を構成員とする全学運営会議において確認、整理された協議事項について慎重に審議し決定することおよび、報告事項についても確認の上全学的に周知することについて、それぞれ遅滞なく努めた。また、教学マネジメントに関しては、例えば、各種アンケートの実施状況と分析結果を管理・総括し授業改善並びに教学改革に結び付けるべく、全学教務委員会と連携して取り組んだ。

以下、「(a)委員会開催」として、年間を通じた各回の会議において審議・承認された事項および主たる報告事項を、さらに「(b)事業・活動」として、(1)全学的組織の改廃および学部横断の人事に関する審議と決定、(2)学則および各種規程の審議・承認、(3)教学マネジメントに関する事項、(4)入試に関連する諸事項の検討・決定、(5)各種申請の調整・支援と遂行、(6)各種連携協定の審議・承認と締結、(7)その他、の7点にまとめ今年度の活動状況を概述する。

#### (a) 委員会開催

第1回 2019年4月24日(水) 17:00～19:00 欠席なし

〔審議事項〕

- (1)2022年度認証評価受審に向けて(住吉学長) 審議・承認
  - 1)短期大学の受審機関について
  - 2)IRの一環としてのPDCAによる改善成功例の提示について
- (2)教員データベースへの業績等の入力について(住吉学長) 審議・承認
- (3)全科目を対象とした授業アンケートの実施について(住吉FD・SD委員長) 審議・承認
- (4)長野県と本学との包括連携協定締結(5/20)について(柴田事務局長) 審議・承認
- (5)松本市との連携協議会の設置について(柴田事務局長) 審議・承認
- (6)今年度の書籍出版計画について(木藤研究推進委員長) 審議・承認
- (7)特許権(高知大学、弘田教授)の委譲について(木藤研究推進委員長) 審議・承認
- (8)地域防災推進協議会の設立に伴う本学の対応について(住吉学長) 審議・承認

〔報告事項〕

- (1)2019年度全学委員会構成について(住吉学長)
- (2)人権委員会ハラスメント防止部会の相談員委嘱について(住吉学長)
- (3)次年度以降の私立大学の入試状況について(山田全学入試委員長)
- (4)大学院設置に係る準備状況について(住吉学長)

他5件

第2回 2019年5月29日(水) 17:00～19:10 欠席なし

〔審議事項〕

- (1)松本大学学外における情報資産保護内規(案)について(浜崎情報センター運営委員長) 審議・承認
- (2)東新大学とのMOU締結について(増尾副学長) 審議・承認
- (3)社会教育主事養成課程の設置について(住吉学長) 審議・承認
- (4)今年度のSD研修会開催計画について(住吉FD・SD委員長) 審議・承認
- (5)認証評価に向けたIRのテーマ募集について(住吉学長) 審議・承認

- (6) 入試問題と解答例の公表について(山田全学入試委員長)審議・承認
- (7) 大塚製薬株式会社との連携協定締結について(等々力研究ブランディング事業推進委員長)審議・承認
- (8) 信州グレイブ・ウォリアーズとの連携継続と支援について(等々力副学長)審議・承認
- (9) 村瀬組からの松本大学サッカー部への申し入れについて(等々力副学長)審議・承認
- (10) 基礎教育センター専門員の学外業務について(住吉学長)審議・承認

## 〔報告事項〕

- (1) 各学部の将来構想について(住吉学長)
- (2) 各種委員の変更について(住吉学長)
- (3) 研究推進委員会報告(木藤研究推進委員長)

他8件

**第3回 2019年6月26日(水) 17:15~19:35 欠席なし**

## 〔審議事項〕

- (1) 松本大学文献複写規程の一部改正について(柴田事務局長)審議・承認
- (2) 長野県教育委員会との覚書中の連携事業案について(岸田学校教育学科長)審議・承認
- (3) 松本国際高校からのIB対応に関する要請について(住吉学長)審議・承認
- (4) 全国学生調査(試行実施)について(住吉学長、柴田事務局長)審議・承認
- (5) 健康増進法の一部改正に伴う大学敷地内全面禁煙措置について(柴田事務局長)審議・承認
- (6) 専門員の学外業務に関する申し合わせ案について(等々力副学長)審議・承認
- (7) 教室貸出・使用料金に関するルールづくりについて(柴田事務局長)審議・承認
- (8) 日本バイオフィードバック学会と日本カウンセリング学会共催による研究会の開催(2020年6月6日(土)・7日(日))について(岸田教育学科長)審議・承認
- (9) ライオンズ・クラブへの入会について(住吉学長、柴田事務局長)審議・承認

## 〔報告事項〕

- (1) 韓国東新大学とのMOU締結のスケジュールについて(柴田事務局長)
- (2) 台湾醒吾科技大学(台北)の訪問について(糸井国際交流センター運営委員会担当)
- (3) 木村教授に対するチェコ・パルドビツェ大学からの招聘について(住吉学長)

他9件

**第4回 2019年7月31日(水) 17:10~18:30 欠席(川島、松尾)**

## 〔審議事項〕

- (1) 教職センターの組織体制の確認と人事について(住吉学長)審議・承認
- (2) 長野県教育委員会との協定内容について(岸田学校教育学科長、柴田事務局長)審議・承認
- (3) 中国嶺南師範学院と短期大学部との覚書交換について(糸井短期大学部長)審議・承認
- (4) 情報科教育学会の本学での開催について(室谷総合経営学科長)審議・承認

## 〔報告事項〕

- (1) 常任理事会(7/16)、理事会(7/23)報告(住吉学長、柴田事務局長)
- (2) 教育サポート・スタッフ研修会の開催(8/28 13:30~)について(柴田事務局長)
- (3) 経常費補助金・競争的補助金の推移について(柴田事務局長)
- (4) 外部評価委員会の開催について(柴田事務局長)

他9件

**第5回 2019年9月25日(水) 17:00~20:30 欠席(糸井、赤羽)**

## 〔審議事項〕

- (1) 松本大学教育職員評価に関する内規案および教員評価シートについて(等々力副学長、増尾副学長、柴田事務局長)審議・承認
- (2) 松本大学授業アンケート実施内規案について(等々力全学教務委員会担当)審議・承認
- (3) 授業アンケートの実施状況と結果の取扱いについて(等々力全学教務委員会担当、各担当者)審議・承認
- (4) 学生ポータルサイトの成績管理システムを活用した学生へのフィードバックと授業への活用について(等々力全学教務委員会担当)審議・承認
- (5) 2019年度前期の成績評価結果について(等々力全学教務委員会担当)審議・承認

- (6) 卒業予定者アンケートの結果と分析の公表について(等々力副学長)審議・文言修正の上承認
- (7) 過年度卒業生並びに就職先企業に対するアンケートの実施と公表について(等々力副学長、柴田事務局長)審議・承認
- (8) 2021年度3ポリシーの作成(見直し)について(浜崎全学教務委員長)審議・差戻
- (9) 明星大学との教育連携による高校(地理歴史)免許取得支援プログラム(川島全学教職センター運営委員会担当)審議・承認
- (10) 70歳を超えて任用する非常勤講師について(等々力全学教務委員会担当)審議・承認
- (11) SD研修会の開催(10/30(水))について(住吉学長)審議・承認
- (12) 長野県議会と本学との包括連携協定について(柴田事務局長)審議・承認

[報告事項]

- (1) 採用人事の進捗状況について(住吉学長、各担当者)
- (2) 「令和元年度 私立大学等改革総合支援事業」の設問の主要な変更点等について(柴田事務局長)
- (3) 2019年度私立大学等経常費補助金の配分方法の変更点について(柴田事務局長) 他14件

第6回 2019年10月23日(水)17:00~20:30 欠席なし

[審議事項]

- (1) 総経・人間教職センターの採用人事について(住吉学長)審議・承認
- (2) 「国の教育費負担軽減制度」運用内規について(柴田事務局長)審議・条件付き承認
- (3) 2021年度以降の3ポリシーについて(再提案)(浜崎全学教務委員長)継続審議
- (4) 松本大学ガバナンス・コード制定に向けて(柴田事務局長)審議・承認
- (5) 留学生就職促進コンソーシアムへの入会について(糸井全学就職委員会担当)審議・承認
- (6) 文部科学省「全国学生調査」(試行実施)について(柴田事務局長)審議・承認

[報告事項]

- (1) 各大学院設置計画の進捗状況について(山田研究科長、増尾総合経営学部長)
- (2) 台風19号の被災状況と今後の対応について(住吉学長、増尾副学長、山田全学入試委員長)
- (3) 社会教育主事養成課程の設置・届け出の進捗状況について(住吉学長、増尾総合経営学部長) 他7件

第7回 2019年11月27日(水)17:00~19:35 欠席(山添)

[審議事項]

- (1) 各種規程の整備・改正について(山田研究科長、柴田事務局長)審議・承認
  - 1) 松本大学大学院学則改正案
  - 2) 松本大学学位規程(案)
  - 3) 松本大学大学院履修規程改正案
  - 4) 松本大学大学院研究科委員会規程改正案
  - 5) 松本大学被災学生支援規程改正案
- (2) 嘱託専任教育職員の採用と勤務に関する確認事項について(等々力副学長)審議・承認
- (3) 2020年度(補助金終了)以降のブランディング事業について(等々力研究ブランディング事業推進委員長)審議・承認
- (4) 考房『ゆめ』の専門員の採用について(柴田事務局長)審議・承認

[報告事項]

- (1) 「学長選考委員会」委員について(各学部長)
- (2) 公益通報の処理に関して(住吉学長)
- (3) 学科毎の所属教員数について(住吉学長) 他12件

第8回 2019年12月25日(水)15:00~17:20 欠席(山添、川島、岸田)

[審議事項]

- (1) 学則変更(届出)について(柴田事務局長)審議・承認
  - 1) 松本大学大学院学則

- 2) 松本大学学則  
3) 松本大学松商短期大学部学則
- (2) 台風19号で被災した本学学生への支援金支出および関連規程の改正について(増尾全学学生委員会担当、柴田事務局長) 審議・付帯事項を付して承認  
(3) 教授会議事録への学長承認署名欄の設定について(柴田事務局) 審議・承認  
(4) 2020年度公務員試験対策講座の実施について(等々力公務員試験対策講座運営委員会担当) 審議・承認  
(5) 日本臨床心理身体運動学会第23回大会の日程変更について(住吉学長) 審議・承認  
(6) JTRCの夜間講習会への会場貸出(継続)について(住吉学長) 審議・承認  
(7) 次期学長選考委員会の開催状況および今後の対応について(増尾選考委員) 審議・了承  
〔報告事項〕  
(1) 年内の入試結果と今後の動向予測について(住吉学長、山田全学入試委員長)  
(2) 第2次中期計画の見直しについて(柴田事務局長) 他10件
- 第9回 2020年1月29日(水) 17:00~20:40 欠席(川島、山田、松尾)  
〔審議事項〕  
(1) 新型コロナウイルスへの緊急対応について(脇本保健師) 審議・承認  
(2) 硬式野球部のコーチ採用について(増尾全学学生委員会担当、柴田事務局長) 審議・承認  
(3) 「専門員の学外業務および本学における非常勤講師に関する申し合わせ(案)」について(等々力副学長) 審議・承認  
(4) 大学および短期大学部の「2019年度学習行動調査」および「2019年度卒業生アンケート(就職先企業、卒業生)」の結果と分析について(等々力副学長、浜崎商学科長) 審議・承認  
(5) 今年度の入試志願状況と他学科併願傾向への対策について(住吉学長、赤羽学生センター長) 審議・取り下げ  
(6) 第2次中期目標・計画の見直し案について(柴田事務局長) 審議・承認  
(7) 3ポリシーとアセスメント・ポリシーの見直しおよび全学共通教養教育検討部会(後日、部会をワーキンググループに名称変更)の設置について(等々力全学教務委員会担当・浜崎全学教務委員長) 審議・承認  
(8) 来年度SD研修会(第5週目の水曜日2回分)のテーマ設定について(住吉学長) 審議・承認  
(9) 2020年度開催予定学会等について(住吉学長) 審議・承認  
(10) 2020年度年間予定表(案)について(柴田事務局長) 審議・承認  
(11) 学長選考に関する大学側の意見集約について(尻無浜観光ホスピタリティ学科長) 了承  
〔報告事項〕  
(1) 各種人事案件の進捗状況について(各担当者)  
(2) 2020年1月現在の学生数について(柴田事務局長)  
(3) 2020年度専門員の本学における非常勤講師について(等々力副学長)  
(4) 2020年度「私立大学関係政府予算案」について(柴田事務局長) 他3件
- 第10回 2020年2月26日(水) 17:10~19:25 欠席なし  
〔審議事項〕  
(1) 来年度の委員会構成について(住吉学長) 審議・承認  
(2) 「第2次中期目標・計画(2018.4-2023.3)(見直し案)」について(柴田事務局長) 審議・承認  
(3) 「2020年度事業計画(案)」について(柴田事務局長) 審議・承認  
(4) 「松本大学災害被災学生支援規程(改正案)」について(増尾全学学生委員会担当) 審議・承認  
(5) 基礎教育センター専門員(国語、英語)の採用について(等々力副学長) 審議・承認  
(6) 「専門員の学外業務及び本学における非常勤講師に関する申し合わせ(案)」について(再提案)(等々力副学長) 審議・承認  
(7) 教員ポータルシステム(メソフィア)への学外からのアクセスについて(等々力全学教務委員会担当) 審

議・承認

〔報告事項〕

- (1) 新型コロナウイルス感染拡大への対応について(住吉学長)
- (2) 今年度の学長賞について(住吉学長)
- (3) 現役教員の内地留学希望受け入れについて(岸田教育学科長)
- (4) 短期大学の将来構想検討委員会の立ち上げについて(糸井短期大学部長)

他12件

第11回 2020年3月25日(水)15:00~17:30 欠席(根本)

冒頭：次期学長候補者の推薦について：青島法人事務局長

〔審議事項〕

- (1) 来年度の委員会構成について(最終確認)(住吉学長)審議・承認
- (2) 教育組織・システムのあり方について(住吉学長、等々力副学長)審議・承認
- (3) LMS(Learning Management System)の導入について(浜崎全学教務委員長、赤羽教務課長)
- (4) 教務予算に関するチェック体制とルールについて(等々力全学教務委員会担当)審議・承認
- (5) IRのテーマ募集と今後の進め方について(住吉IR委員長)審議・承認
- (6) 研究ブランディング事業推進室並びに地域健康支援ステーション所属専門員の退職と補充について(等々力研究ブランディング推進委員長、柴田事務局長)審議・承認

〔報告事項〕

- (1) 新型コロナウイルス感染拡大に伴う対応について(住吉対策本部長、柴田対策副本部長)
- (2) 2020年度名誉教授について(柴田事務局長)
- (3) 2020年度の教職員体制について(柴田事務局長)
- (4) 新たな学科の設置について(住吉学長)
- (5) 2020年度入試の実施状況並びに結果について(山田全学入試委員長)

他7件

**(b) 事業・活動**

(1) 全学的組織の改廃および学部横断的人事に関する審議と決定

- ・ 専門員の学外業務に関する申し合わせの作成
- ・ 総経・人間教職センターの採用人事の推進
- ・ 嘱託専任教育職員の採用と勤務に関する確認事項の作成
- ・ 考房『ゆめ』専門員の採用
- ・ 専門員の学外業務および本学における非常勤講師に関する申し合わせの作成
- ・ 研究ブランディング事業推進室並びに地域健康支援ステーション所属専門員の補充推進

(2) 学則および各種規程の審議・承認

- ・ 「大学学外における情報資産保護内規」の制定
- ・ 「松本大学文献複写規程」の一部改正
- ・ 「松本大学教育職員評価に関する内規」の制定
- ・ 「松本大学授業アンケート実施内規」の制定
- ・ 「国の教育費負担軽減制度運用内規」の制定
- ・ 「松本大学大学院学則」の改正
- ・ 「松本大学学則」の改正
- ・ 「本大学松商短期大学部学則」の改正
- ・ 「松本大学学位規程」の制定
- ・ 「松本大学大学院履修規程」の改正
- ・ 「松本大学大学院研究科委員会規程」の改正
- ・ 「松本大学被災学生支援規程」の改正

(3) 教学マネジメントに関する事項

- ・社会教育主事養成課程の設置申請決定
  - ・全科目を対象とした授業アンケートの実施決定
  - ・松本大学授業アンケート実施内規の制定
  - ・授業アンケートの実施状況と結果取扱いの決定
  - ・学生ポータルサイトの成績管理システムを活用した学生へのフィードバックと授業への活用に関する決定
  - ・卒業予定者アンケートの結果と分析の公表の決定
  - ・過年度卒業生並びに就職先企業に対するアンケートの実施と公表の決定
  - ・大学及び短期大学の「2019年度学習行動調査」および「2019年度卒業生アンケート(就職先、企業、卒業生)」の結果と分析報告並びに公表の決定
  - ・3ポリシーとアセスメント・ポリシーの見直しおよび全学共通教養教育検討部会の設置決定
  - ・LMS(Learning Management System)の導入決定
  - ・教務予算に関するチェック体制とルールの決定
  - ・IRのテーマ募集と今後の進め方の決定
  - ・教員ポータルシステム(メソフィア)への学外からのアクセス承認
- (4) 各種連携協定の審議・承認と締結
- ・長野県と本学との包括連携協定締結
  - ・長野県議会と本学との包括連携協定締結
  - ・松本市との連携協議会の設置決定
  - ・東新大学とのMOU締結
  - ・信州ブレイブ・ウォリアーズとの連携継続と支援決定
  - ・大塚製薬株式会社との連携協定締結
  - ・中国嶺南師範学院と短期大学部との覚書交換
- (5) その他
- ・大学院設置準備
  - ・健康増進法の一部改正に伴う大学敷地内全面禁煙措置決定
  - ・松本大学ガバナンス・コード制定確認
  - ・2020年度(補助金終了)以降のブランディング事業了承
  - ・新型コロナウイルスへの緊急対応の決定
  - ・本学における学会等の開催確認と支援(施設貸し出し)  
日本バイオフィードバック学会と日本カウンセリング学会共催による研究会／日本臨床心理身体運動学会第23回大会／JTRCの夜間講習会

## (2) 全学運営会議

日常的な大学運営を司るために、基本的に週1回会議を開いた。構成員は学長、副学長、研究科長、学部長、事務局長、事務局次長である。議長は学長であり、各構成員は、委員会組織において担当する部門を持っており、各委員会との連携を強め、必要に応じて担当する部門において感じている問題意識を全学運営会議に反映させることになっている。2019年度は通常は火曜日5限に、長期休み中は会議の開始時刻を柔軟に設定し、計43回の会議を持った。これ以外に、「私立大学等改革総合支援事業」の補助金交付をめぐる対応を目的として、臨時的な会議をお盆期間中に3日連続で開催した。これに関してはその甲斐あって、松本大学はタイプ1及びタイプ3、短大部はタイプ1に採択された。

## (3) 内部質保証室

2022年度に受審する認証評価に備え、内部質保証に関連する3つの委員会を併合した「内部質保証室」を新しく設置し、学長が室長としてマネジメントすることになった。



## 1) 自己点検・評価委員会

「内部質保証室」の下に置かれた最初の委員会として、自己点検・評価委員会がある。2019年度も、「コンプライアンスの推進」および「認証評価の準備」に関する部会を従えての活動を行った。委員会自体としては2018年度(2018.4~2019.3)の「アニュアル・レポート」「自己点検・評価報告書」「学生版アニュアル・レポート」の作成および発行に責任を負っており、発行時期は遅れたが3つの報告書とも、年度内に発行することができた。

今年度は「教員の質」評価に対しての取組が必要だとの認識達し、年度末に教員各個人が自分自身を点検・評価する機会を設けた。これを各学部長が二次評価し、学長が三次評価するという形式を採用し、今年度初めて実施した。この中の一項目に、アニュアル・レポートの提出など、大学管理運営に対する機敏な協力ができているかどうかを問う項目も設定した。

### i) 認証評価準備部会

2022年度に本学としては3度目の認証評価を、大学・短大部共に「大学基準協会」を通して受審することを決めている。そのため特に2019、2020、2021年度の3カ年の活動が評価対象になるとの認識で、体制の整備を進めてきた。中でも、「教学関係」と「大学マネジメント関係」の整備を意識して、重点的に取り組んだ。これらは「私立大学等改革総合支援事業」のポイント向上にも反映している。

本学が推薦した評価員による他大学に対する認証評価活動の経験は、本学での準備を進める上でも大いに参考になると考えられる。実際に新しく設置された「内部質保証室」は、この部会からの提言により、本年度から実現したものである。

### ii) コンプライアンス推進部会

2019年4月1日開催の合同教授会において、議題として「コンプライアンスについて」を挙げ、全員に「学校法人コンプライアンス推進規程」「学校法人松商学園コンプライアンス行動規範」を再配付し、学長から説明を加え、コンプライアンスに対する意識を啓発した。

また、「研究活動における不正行為への対応に関する規程」、「公的研究費の管理・監査のガイドライン」も再配付し、本規程と本ガイドラインを遵守する旨の誓約書を全教員から管理課に提出してもらった。これは定例化しているが、形式だけに陥らないよう実質的にもe-learningの実施や書籍の配布など、内容の充実に努めた。

コンプライアンス遵守を先導するために法人が設定した内部監査室は、本学における公益通報の窓口にもなっている。内部監査室の調査報告を受け、大学内に懲罰委員会を設けて協力した結果、今年度は懸案の課題が解決し、一区切りをつけた。

2020年1月22日、「スポーツとハラスメント」をテーマとし、全教職員を対象にハラスメント防止研修会を開催した。講師には、日本スポーツとジェンダー学会会長で、京橋法律事務所の弁護士である白井久明氏を招聘した。大学スポーツにおけるハラスメントの現状と課題について理解を深める機会となった。

## 2) FD・SD委員会

2018年度から管理職を主な委員とする委員会に変わった。しかし、「学生による授業評価アンケートの実施」など、実務面での対応が弱いため、委員会の下にFD・SD実施部会を置いて支援を仰いだ。しかし、2019年度中には事務職の主導でアンケート実施ができるようになり、実務面での課題は解消した。

当委員会は、FD・SDの企画立案とその実施や学部学科を基盤とした教育改革に資する「教育企画推進」を担当することになっている。「教育企画」については今年度も12件の申請があり、費用面での査定もなされ実行に移された(下表参照)。

2019年度 教育企画申請一覧

学科名等	申請テーマ	予算執行率	責任者
総経・観光	防災士の育成	92.6%	増尾
総合経営	学部初年次教育へのe-learning systemの導入改善の試み	103.6%	室谷

	総経学科学生の地域活動支援	0.0%	室谷
観光ホスピタリティ	総合旅行取扱・社会福祉士の資格取得強化策の取組	85.4%	尻無浜
	ブランディング事業に付随したヘルス・ツーリズム関連研究	100%	尻無浜
健康栄養	管理栄養士国家試験受験支援	73.5%	高木
	講演会開催	31.6%	山田
	健康栄養学科3年生授業関連企画「おいでよ♪松大健康教室」の開催	99.8%	廣田
スポーツ健康	大学入門ゼミナールでの学習手法の習得と学習時間の獲得	87.3%	根本
学校教育	国内・国外留学の推進(留学への動機づけと、海外留学)	100%	和田
	教員採用試験対策	91.1%	増田
短期大学部	オリジナルテキスト作成	100%	糸井
全体	12件	88.6%	

FD・SDについては、今年度は3度の研修会が持たれ(次表参照)、その出欠については厳格にチェックされ、教員の自己評価にも生かされた。

#### 2019年度 FD・SD研修会一覧

実施日	種 類	研修テーマ	講 師	参加数
7.9	FD・SD	各種調査結果から見える本学学生の特徴—成績状況、学修行動調査、プレイスメントテスト—	上條直哉(教務課)	71名
8.2	SD	ポスト「生活必需品」大学を考える—全国の中小規模私立大学の取組から—	小林功英(私大協)	65名
10.30	SD	IR活用	上條直哉(キャリアC)	106名
	FD	成績評価、ICT活用、シラバス作成	小澤拓也(教務課)	

2019年度は、新たに学部・学科横断型の教育システムの構築を目指し、そのアイデアを募集するという地点まで到達したが、その成否は次年度へと引き継がれている。

### 3) IR委員会

現在、松本大学を一般入試やセンター入試を利用して受験する学生数が大きく伸びているだけでなく、受験者層も大きく変化してきている。こうした状況にフィットする学生募集方法、入学者の層の変化にともなう学修スタイルの創造など新たな対応が求められている。どの学科でも、試験時の成績や入学後の成績、或いは卒業後の進路など、大学生活の全てのステージを通じた分析が必要であり、その理解を深めるためのIRの重要性を認識している。まだ具体的なりサーチには至っていないが、その前段階としてのデータ収集などに取り組み始めている。

松本大学が取り組んでいるIRについての取材を、Between誌から受けた。これは2019 9-10月号No.287、pp.32-33に「IRでまわす！PDCAサイクル 第6回松本大学」として掲載された。この中では本学が考えるIRとは何か、その考え方と教職協働で挙げた具体的成果について披露している。取材者からは、「松本大学が、IRの根本理念にまで遡って考えている」ことに刺激を受けたとの反応をいただいた。しかし、この記事が出たため、本学はかなり先進的にIRを実施している大学として認識されるようになったと思われる。

## B：保健・衛生

### (1) 健康安全センター運営委員会

#### (a) 学生の健康管理

##### ①学生健康診断

2019年4月2日・3日・5日・6日：学生定期健康診断 2,080名  
2019年4月15日～23日：学生定期健康診断 尿再検査 126名  
2019年4月25日～：胸部レントゲン検査 要精密検査該当学生保健指導(1名)  
医師診察・尿検査 要精密検査該当学生保健指導(9名)

②学校感染症抗体検査

2019年4月2日・3日・5日・6日：645名  
結果返却・事後指導

③保健師対応

2019年4月1日～2020年3月31日 学生利用 実人数284名／延べ人数534名  
急病・外傷などの応急手当、感染症発生対応、心身の健康相談など  
医療機関移送 9件(健康安全センター)

※保護者相談対応 実人数31名／延べ人数23名

※来学者(入試・キャンパス見学会など)対応 実人数3名／述べ人数3名

④カウンセラー対応

2019年4月1日～2020年3月31日 学生利用 実人数14名／延べ人数21名

(b) 学生への健康教育

2019年5月13日 人間健康学部1年生 地域社会と大学教育「タバコ ～それでも吸いますか」  
2019年5月16日 総合経営学部1年生 地域社会と大学教育「タバコ ～それでも吸いますか」  
2019年6月7日 健康栄養学科1年生 基礎ゼミナール「大学生のメンタルヘルス」  
2019年7月3日 学校教育学科1年生 地域社会と大学教育「タバコ ～それでも吸いますか」「外傷の応急手当」  
2019年7月8日・9日 地域づくり考房ゆめ 「熱中症と外傷の応急手当」  
2019年11月22日 防災総論「災害医療について」  
2019年12月3日 総合経営学部1年生 基礎ゼミナール「知っておきたい外傷の応急手当」「感染症について」  
2019年12月13日 健康栄養学科1年生 基礎ゼミナール「医療機関における他職種連携」  
2019年12月16日・17日、2020年1月29日・30日 学校教育学科・総合経営学部・人間健康学部 海外研修「留学中の健康管理について」  
2020年2月21日 硬式野球部 「春季キャンプ中の健康管理と感染症予防について」  
2020年2月25日 女子ソフトボール部 「寮生活の感染症予防について」  
※心肺蘇生講習については(g)に記載。

(c) 救護対応

オープンキャンパス(5/26、6/23、7/21、8/4、8/25、9/28)  
2019年10月5日 総合型選抜  
2019年11月2日 学校推薦・特待生選抜  
2019年11月7日 総合型選抜  
2019年11月16日・17日 推薦前期入試  
2019年12月7日・8日 推薦・編入他入試  
2020年1月18日・19日 大学入試センター試験  
2020年2月1日・2日 一般A入試  
2020年2月21日 一般B入試  
2020年2月28日 一般B入試  
2020年3月12日 一般C入試  
2020年3月19日 一般C入試

**(d) 安全な学習・就業環境の整備**

- ① AED(自動体外式徐細動器)の整備
  - i) 日常点検の徹底
  - ii) 消耗品等適宜整備
- ② 救急箱の整備・貸し出し  
2019年4月1日～2020年3月31日 貸し出し実績 11件
- ③ アナフィラキシーショック時の緊急対応(エピペン<sup>®</sup> 使用)講習会の開催  
2020年4月22日・23日・24日、5月10日・21日(計5回)

**(e) 感染症対応**

- ① インフルエンザ
  - i) 学内感染者の把握・情報収集  
2019年4月1日～2020年3月31日 インフルエンザ感染報告・登校および出勤禁止措置  
学生31件・教職員 3件
  - ii) 感染拡大防止対策
    - ① 発症者からの連絡に基づき、濃厚接触者への注意喚起。
    - ② インフルエンザ予防接種の実施  
2019年11月20日 教職員115名・学生71名(強化部)
  - iii) 広報活動  
感染拡大時に教職員一斉メールにて状況を周知、注意喚起。
- ② 新型コロナウイルス感染症対応  
2020年2月20日 新型コロナウイルス感染症対応会議開催  
2020年2月25日 新型コロナウイルス感染症対策本部立ち上げ  
対策本部会議への出席、各種対応マニュアルの作成、他大学との連絡・連携、学生・教職員への感染防止に関する通知等を行った。

**(f) 学生寮の衛生管理**

- ① 松球寮(硬式野球部)、あずさ寮(女子ソフトボール部)の厨房における食中毒原因菌のテスト結果管理。
- ② あずさ寮調理員の検便管理
- ③ 松球寮、あずさ寮の寮食メニューのチェックおよびアドバイス

**(g) 心肺蘇生法啓蒙活動**

- 学生対象 心肺蘇生法講習会
- 2019年7月16日・17日 地域づくり考房「ゆめ」
- 2019年7月21日 男子サッカー部
- 2019年9月19日 学校教育学科 1年生
- 2019年12月10日 総合経営学科 1年生
- 2019年12月17日 観光ホスピタリティ学科 1年生

**(h) 学会・研修**

- 2019年8月29日・30日 第57回全国大学保健管理協会 関東甲信越地方部会研究集会(北里大学相模原キャンパス)  
「大学教職員と保健管理の有機的な連携を目指して」シンポジスト(脇本)
- 2019年9月3日 長野県大学学生相談情報交換会(信州大学)

### (i) 全国大学保健管理協会

2013年4月1日～ 全国大学保健管理協会 関東甲信越地方部会保健看護分科会運営委員に保健師が就任。シンポジウム企画担当。

2019年8月29日 運営委員会(北里大学)

2019年9月18日 運営委員会(東京女子大学)

2020年1月23日 運営委員会(慶應義塾大学)

### (j) 会議

長野県内の大学保健管理施設を担当する保健師・看護師の情報交換・知識技術の向上・研修等を連携して行うことを目的に「長野県大学保健管理施設担当学会議」を設立した。

2019年9月6日 第4回担当学会議(於：松本大学)

2020年2月14日 第5回担当学会議(於：松本大学)

### (k) 地域貢献

2020年2月3日 ブライトまつもと(障害者就労移行支援事業所：松本市島立)  
感染予防対策セミナー

## (2) 衛生委員会

2019年度においては、主として次のような取り組みを行った。

### (a) ストレスチェックの実施について

実施者：松本大学 産業医・保健師

実施期間：2019年10月7日～10月18日

対象者：201名

受検者：194名(受検率 96.5%)

実施の結果、高ストレスと判定された教職員について、保健師面談・臨床心理士カウンセリング・産業医面談勧奨等のフォローを実施した。

### (b) 教職員の健康管理

#### ①健康診断

2019年6月5日 教職員定期健康診断(松本大学)81名

個別受診対応(松本市医師会医療センター)6名

2019年5月22日 教職員胃検診(松本大学)21名

2019年4月～ 教職員人間ドック(各健診機関)87名

2019年6月 教職員定期健康診断・胃検診 保健指導81名

#### ②学校感染症抗体検査

2019年4月2日・3日・5日・6日 19名

#### ③保健師対応

2019年4月1日～2020年3月31日 実人数107名／延べ人数40名

急病・外傷などの応急手当、心身の健康相談、学生対応に関する相談など

#### ④カウンセラー対応

2020年4月1日～2020年3月31日 実人数2名／延べ人数2名

### (c) インフルエンザ予防接種

学内で接種を受ける教職員に対し、1,500円(50%)の補助を実施。

2019年11月20日 115名

#### (d) 健康セミナーの実施

2020年2月20日 更年期セミナー「ゆらぎ世代を生き生きと」開催  
 講師：丸の内病院 産婦人科医師 吉田順子氏  
 参加者：本学教職員および教職員の家族・友人 20名

#### (e) 禁煙サポート

2019年6月：教職員対象に禁煙サポートを開始  
 教職員一斉メールにて周知。  
 希望者にニコチネルパッチ<sup>®</sup>を配布し、8週間のプログラムを実施。  
 1週間ごとに喫煙の状況を確認。  
 希望者：9名  
 プログラム終了者：7名  
 2020年3月時点 禁煙継続者：7名

#### (f) 健康運動指導

健康運動指導士・健康運動実践指導者の有資格者である職員3名に実施を依頼  
 2019年6月5日 教職員定期健康診断時にInbody(体成分分析装置)にて体組成を測定。  
 健康運動指導士の資格を持つ職員が分析結果を説明し、日常に取り入れやすい運動を指導。  
 実施者：30名  
 2019年6月 継続的な指導について教職員一斉メールにて周知。  
 希望者：4名 1~3ヶ月に1回のペースで継続指導中。

#### (g) 療養を要する教職員のサポート

医師の診断により、療養が必要とされた教職員に対し、療養中のサポート、医療機関との連携、復帰にあたってのプログラム作成、復帰後の面談等サポートを行った。

### (3) 人権委員会

人権委員会は、ハラスメント防止部会および個人情報保護部会の2部会で構成されており、委員は各学部学科からの教員8名、職員は事務局長を含む7名によって構成されている。人権委員の中から、ハラスメントの相談者から相談を受ける相談員7名が選出されている。

#### 1) ハラスメント防止部会

2019年6月5日、人権委員会・ハラスメント防止部会の相談員会議を開催した。関係規程を確認し、相談業務の流れについて情報共有した。また、相談業務を適切に遂行できるよう、相談員としての注意点について、他大学の資料を参照しながら確認した。

教職員の意識向上を目的として2020年1月22日、スポーツ法学会名誉理事・日本スポーツとジェンダー学会会長の白井久明氏を迎え、研修会を実施した。演題は「スポーツとハラスメント」で、スポーツ活動のオフシーズンとなる時期に開催し、スポーツに直接かかわる教職員のみならず、全学部学科、事務局から合わせて69名の参加があった。

## 2) 個人情報保護部会

文部科学省令和元年5月24日通知「大学等におけるサイバーセキュリティ対策等の強化について」により、  
 ①サイバーセキュリティ対策推進のための組織・体制の整備、②サイバーセキュリティ対策基本計画の策定、  
 ③情報セキュリティポリシーおよび手順の策定が求められ、松商学園の規程の変更に準じて、松本大学個人  
 情報保護規程の一部を変更する手続きを進めた。

## C：施設管理

### (1) 施設管理センター運営委員会

2019年度の主な施設設備整備事業は次のものであった。

#### ①野球場防球ネットの張替え工事

野球場を整備して以来15年を経過しており、防球ネットの老朽化が著しく進行し、打球がネットを突き破る可能性のある状況を改善した。

補修工事費用 9,000千円

#### ②職員駐車場ゲートの更新工事

危機管理上のゲートがオープンになったままの状態を改善するため、新たな機械に更新した。

更新工事費用 3,800千円

#### ③駐輪場の一部撤去工事

重油の地下タンクの地上部分に、駐輪場の一部が掛かっていたため、該当部分を撤去し、関連法令に適合する形態とした。

撤去工事費 1,100千円

#### ④正門・南門の自立型サインの改修工事

大学入口の自立型サインの日射による色褪せと老朽化が進んだため改修した。

改修工事費 700千円

#### ⑤マイクロバスの修理

マイクロバスの運行の安全確保のため、一部の部品の入れ替えを行った。

修理費用 900千円

#### ⑥光熱水費の予算内での支出

2020年4月から新たに9号館の使用がスタートした。太陽光発電やLED照明の効果があり、予算内での支出で対応することができた。

### (2) 危機管理委員会

現在社会において大学に求められるリスクマネジメントの対象になる事象は、大規模災害への対処、インターネット社会における情報セキュリティの確保、研究倫理の定着とコンプライアンス意識の啓発、キャンパスの安全管理とハラスメント対策など非常に広範囲にわたるものである。これらの課題に対する具体的な取組みについて、本委員会では環境保全部会と防犯・防災対策の2事項で進めており、主として次の活動を行った。

## 1) 環境保全

### (a) 活動実績

- ①古紙・段ボール等の資源回収は障がい者就労支援事業所の第2コムハウスと契約して発生量に合わせて回収している。また、エコ・キャップは常時学内で回収する専用の箱を設置している。
- ②学内の行事の際、資源回収、環境保護の観点に留意するように働きかけている。
- ③大学全体の1年間の電気使用料は照明のLED化などにより予算内での支出で対応することができた。

## 2) 防犯・防災対策

### (a) 活動実績

#### ①消防・防災訓練の実施

2019年8月28日(水)、「富士防災」の指導により、消火器の使用方法、消火栓の取り扱い方法について確認した。

#### ②自衛消防組織編成表の作成

消防署への提出が義務付けられている、「自衛消防組織編成表」を作成し、2019年12月末に松本広域消防局へ提出した。

#### ③5号館、8号館、9号館の避難経路図の作成、掲示

#### ④火災受信機の取り扱い説明の実施

2020年3月9日(月)および3月10日(火)、富士防災設備㈱から、消防用設備点検の日程に併せて1号館、4号館(8号館含む)の火災受信機の取り扱い説明を受けた。